

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

名和昆蟲研究所報告

第貳號

法財團 名和昆蟲研究所

始



14-5-11



名和昆蟲研究所報告

第貳號



序

名和昆蟲研究所報告第貳號ニ於テハ技師長野菊次郎氏  
ノ日本枯葉蛾科竝ニ鈎翅蛾科ノ研究ヲ登載ス  
本號ノ出版費ハ全ク故久原フミ子夫人ノ厚意ニ出ヅ悲  
シイ哉夫人ハ之ガ成ルニ先チテ他界セラレタリ故ニ今  
ヤ此書ヲ其靈ニ捧ゲテ感謝ノ意ヲ表スルヨリ外ナシ遺  
憾ニ堪ヘズ

大正六年十二月

財團法人名和昆蟲研究所長

名和 靖



六	タケヒメカレハ	<i>C. laeta</i> , Walk.	三六頁
五	ヒメカレハ屬	<i>Epicnaptera</i> , Bambur.	三九頁
七	ヒメカレハ	<i>C. ilicifolia japonica</i> , Leech.	四〇頁
六	ミヤケカレハ屬	Takanae, g. n.	四三頁
八	ミヤケカレハ	<i>T. miyakei</i> , Wilentz.	四四頁
七	カレハ屬	<i>Gastropacha</i> , Ochsensh.	四五頁
九	カレハガ	<i>G. quercifolia</i> , L.	四六頁
十	ホシカレハ	<i>G. populifolia</i> , Esper.	五一頁
八	リンゴカレハ屬	<i>Odonestis</i> , Germar.	五三頁
十一	アカカレハ	<i>O. pruni</i> , L.	五五頁
十二	マツカレハ	<i>O. brevivennis</i> , Butl.	五七頁
十三	ツガカレハ	<i>Dendrolinus</i> , Germar.	五九頁
十四	ムデカレハ	<i>D. spectabilis</i> , Butl.	六四頁
十五	クヌギカレハ	<i>D. superans</i> , Butl.	七〇頁
十六	イワサキカレハ	<i>D. ochroleucus</i> , s. n.	七四頁
十七	ヤマダカレハ屬	<i>D. undans excellens</i> , Butl.	七五頁
		<i>D. iwasakii</i> , s. n.	七七頁
		<i>Kunugia</i> , g. n.	七八頁

大	ヤマダカレハ	<i>K. yamadai</i> , s. n.	八〇頁
カギバ科		<i>Drepanidae</i> .	八四頁
一	オホカギバ屬	<i>Euehera</i> , Hübn.	八九頁
	一 オホカギバ	<i>E. capitata</i> , Walk.	八九頁
二	ギンスチカギバ屬	<i>Mimozethes</i> , Warr.	九一頁
	二 ギンスチカギバ	<i>M. argentinivaria</i> , Leech.	九一頁
三	ウスギヌカギバ屬	<i>Macrotilix</i> , Butl.	九二頁
	三 ウスギヌカギバ	<i>M. mysticata</i> , Walk.	九三頁
四	モンウスギカギバ	<i>M. maia</i> , Leech.	九四頁
四	スカシカギバ屬	<i>Macrauzata</i> , Butl.	九五頁
	四 スカシカギバ	<i>M. fenestraria</i> , Moor.	九六頁
五	ヒトツメカギバ屬	<i>Auzata</i> , Walk.	九八頁
	五 ヒトツメカギバ	<i>A. superba</i> , Butl.	九九頁
六	マダラカギバ屬	<i>Calliclix</i> , Butler.	一〇一頁
	六 マダラカギバ	<i>C. abraxata</i> , Butl.	一〇一頁
七	フタテンシロカギバ屬	<i>Leucodrepanilla</i> , n. g. (nec Strand)	一〇二頁
	七 フタテンシロカギバ	<i>L. sacra</i> , Butl.	一〇四頁
八	シロカギバ	<i>L. virgo</i> , Butl.	一〇五頁

八 ヨスチシロカギバ属	<i>Leucodrepana</i> , Hamp.	一〇六頁
十 ヨスチジロカギバ	<i>L. quinqueineta</i> , Leech.	一〇六頁
ウスオビカギバ属 <i>Drepana</i> ノ分割		一〇七頁
九 オビカギバ属	<i>Farcaria</i> , Haw.	一〇九頁
十二 オビカギバ	<i>F. curvatula</i> , Borkh.	一一〇頁
一〇 ウスオビカギバ属	<i>Drepana</i> , Schrank.	一一一頁
十三 ウスオビカギバ	<i>D. harpagula</i> , Esp.	一一二頁
一一 ギンモンカギバ属	<i>Callidrepana</i> , Feld.	一一三頁
十三 ギンモンカギバ	<i>C. argenteola</i> , Moor.	一一四頁
十四 ウスイロカギバ	<i>C. pallesolus</i> , Motsch.	一一五頁
十五 ヤマトカギバ	<i>C. japonica</i> , Moor.	一一六頁
一二 マヘキカギバ属	<i>Albara</i> , Walk.	一一九頁
十六 マヘキカギバ	<i>A. scabiosa</i> , Butl.	一一九頁
十七 ヒメハヒイロカギバ	<i>A. parvula</i> , Leech.	一二二頁
十八 マンレーカギバ	<i>A. manleyi</i> , Leech.	一二二頁
一三 ウコンカギバ属	<i>Konjikia</i> , g. n.	一二二頁
十九 ウコンカギバ	<i>K. crocea</i> , Leech.	一二三頁
一四 ウスボシベツカフ属	<i>Deroea</i> , Walk.	一二五頁

二十 ウスボシヘツカフ	<i>D. inaeclusa</i> , Walk.	一二六頁
二十一 ホシベツカフ	<i>D. phasna</i> , Butl.	一二七頁
一五 インドカギバ属	<i>Oreta</i> , Walk.	一二八頁
二十二 インドカギバ	<i>O. extensa</i> , Walk.	一二九頁
二十三 アシベニカギバ	<i>O. pulchripes</i> , Butl.	一三〇頁
二十四 アカカギバ	<i>O. auripes</i> , Butl.	一三三頁
二十五 ハヒイロカギバ	<i>O. trypis</i> , Butl.	一三四頁
二十六 クロスヂカギバ	<i>O. calida</i> , Butl.	一三四頁
一六 アカウラカギバ属	<i>Hypsonadius</i> , Butl.	一三七頁
二十七 アカウラカギバ	<i>H. insignis</i> , Butl.	一三八頁

圖 版

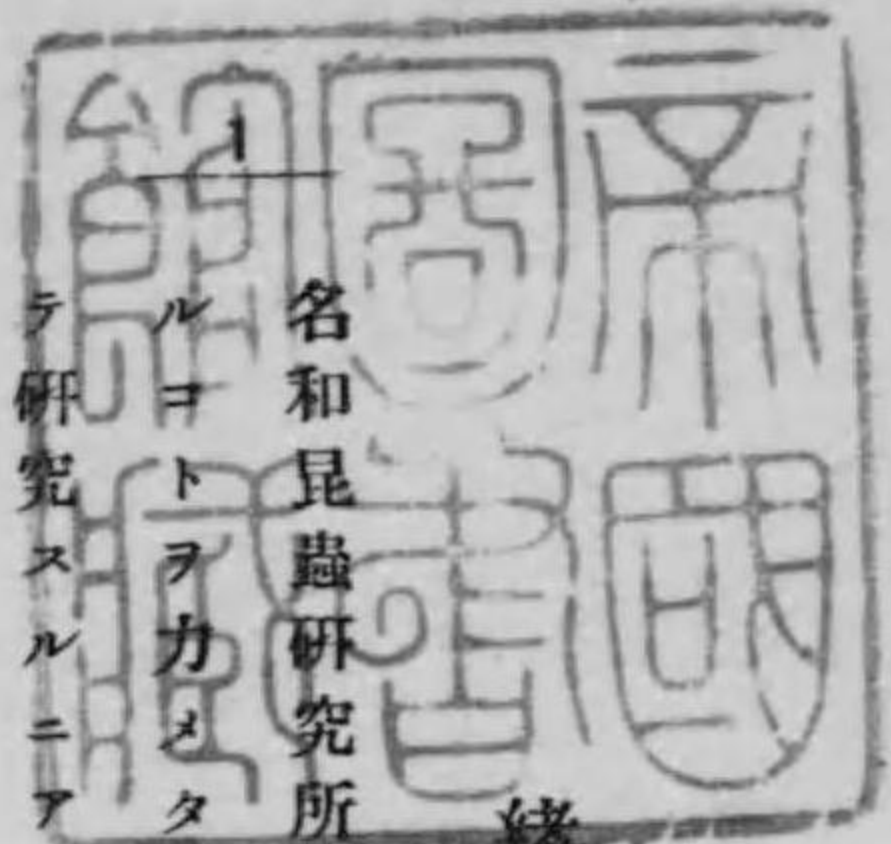
目 次 終

# 名和昆蟲研究所報告 第二號

日本枯葉蛾科並ニ鈎翅蛾科ノ研究

技師 長野 菊次郎

緒論



名和昆蟲研究所報告第壹號ニ於テ余ハ日本鱗翅類ノ生活史ヲ出來得ル限リ屬ニヨリテ一括スルコトヲ力メタリ、余ハ前號ニ於テ述ヘタルカ如ク鱗翅類ノ眞ノ分類ハ之カ生涯ノ各期ヲ通シテ研究スルニアラサレハ確定スヘキモノニアラサルコトヲ信スルヲ以テ實ハ少クモ幼蟲ノ研究ヲ濟マシタルモノヲ發表センコト余ノ素志ナリ、然リト雖モ本邦蛾類ニツキテハ成蟲ノミニヨリテスラ其全體ノ纏メラレタルモノハ今日僅カ數科アルニ過キサレテ以テ成蟲ニヨリテ一科ノ屬種ヲ一括スルコトモ亦不必要ニアラス、故ニ本號ニ於テハ前號ト其趣ヲ異ニシ枯葉蛾科ト鈎翅蛾科トニツキ舊日本産トシテ今日マテニ知ラレタルモノ、全體ヲ纏ムルコト、シ其中幾分ニテモ生活史ノ知ラレタルモノハ余ノ研究ナルト他人ノ研究ナルトヲ問ハス余カ知レル範圍ニ於テ或ハ詳細ニ或ハ簡單ニ之ヲ加フルコト、シタリ。

成蟲ノミニヨリテ鱗翅類ヲ分類スルニ當リ如何ニセハ自然的ナラシムルコトヲ得ヘキカハ

一大問題ナリ。分類學者ノ最後ノ目的カ自然ノ系統ヲ明ニスルニアルコト無論ナレトモ今日マテノ分類ノ區々タルコトヲ思考スルトキハ未タ動カス可カラサル根柢ノ上ニ立タサルコトヲ證スルニ足ル完全ナル方法カ到底今日ニ望ム可カラストセハ如何ニシテ比較的自然分類ニ近ツカシムヘキカ、次ニ起ルヘキ問題ニシテコレ大ニ攻究ニ値スルモノナリ、而シテ第一ニ決スヘキハ種及ヒ屬ヲ如何ニ取扱フヘキカニアリ。

種 Species トハ何ソヤトノ問ニ對シ絶對的ノ定義ヲ與フルコトハ到底不可能ナリ、コレ種ハ一定不變ノモノニアラスシテ古來變遷シ來レルコト進化論ノ示ス所ナレハナリ、然レトモ一般ニ之ヲ論スル時ハ種トハ個體間ニ於ケル重要形質ノ差異ノ少キ抽象的一群ニシテ多數ノ分類學者カ分類ノ單位トセルモノナリトイフヲ得ヘシ。定義ハ假ニ右ノ如シトスルモ差異ノ多少ハ程度問題ニ屬スルヲ以テ實際ニ之ヲ適用センニハ其間ニ多少ノ困難ヲ生セザルヲ得ス、今個體ノ變異ニツキテ之ヲ論センニ同シ親ヨリ生シタル子カ皆親ト同種ナルコトハ無論ナレトモ生物ハ皆變異性ヲ有スルニヨリ兄弟ニテモ全ク同様ニアラス、昆蟲類ハ比較的小形ノ動物ナルニヨリ其差ヲ見ルコト容易ナラスト雖モ其細ヲ發キ其微ヲ檢スルトキハ全ク同一ニアラサルコト恰モ吾人ノ顔面カ千人千様ナルト其趣ヲ一ニセンコト殆ント疑ナカルヘシ、兄弟ニテモ差異アリトスレハ從兄弟ニ從兄弟ト漸次血族關係ノ遠サカルニ從ヒ次第ニ其差異ノ度ヲ増加スヘキハ明ニシテ之カ又發生ノ時季ヲ異ニスルカ又ハ產地ヲ異ニスレハ更ニ其差ヲ大ニスルコトアルヘキモ亦論スルニ及ハス、故ニ同種中ニテモ其差異ノ程度如何ニヨリ變形亞種等ヲ區別スル必要ヲ生スルコトアリ、今此等ノ區分ニツキロスチャイルド、及ヒジョーダン *Rothschild*、

Jordan ノ規定セル所ヲ舉クレハ左ノ如シ。

#### 1. 個體變種 Individual variety.

1. 異形 aberratio (略字 ab.) 個體變化ノ普通ノ範圍ヲ脱セルモノ。
2. 變形 forma (略字 f.) 二形或ハ多形ノ場合ヲ指スモノニシテ若シ一形カ稀ニ現ハレ、時ハ之ニ f. ab. ノ略字ヲ附シ是ニ對シテ普通ノモノニ f. norm. ノ略字ヲ附ス。
3. 雌變形 f. ♀ 或ハ雄變形 f. ♂ 變形カ雌雄ノ一方ノミニ限レル場合。
4. 偏異形 forma alienus loci (略字 f. loc.) 多形ノ場合ニ於テ一形カ各自ノ變種或ハ種ノ區域ノ一部分ニ限リテ現ハル、モノ。

#### 2. 世代變種 Generatory variety. 發生季節ニヨリ其形ヲ異ニスルモノ。

#### 5. 季節變種 f. s. = forma tempestatis.

3. 地方種或ハ亞種 Geographical variety or subspecies. 變種中最モ程度ノ高キモノナリ、變種トイヘハ前ニ舉ケタルモノヲ含ムニヨリ此等ヨリ區別スルニハ var. geogr. 或ハ subspp. ノ略字ヲ加フル必要アリ、然レトモ種名ノ後ニ直ニ變種名ノ續キタルモノハ常ニ亞種ヲ示スモノト常識的ニ判斷スルコトニセハ特ニ略字ヲ附スル必要ナシ。

#### 6. 亞種 種名ノ後ニ直ニ亞種名ヲ記シテ其間ニ略字ヲ置カス、是術語ヲ簡單ニスル爲ナリ。

一種ニ對スル區分ハ或ハ右ニテ其要ヲ悉スカモ知ラサレトモ今未知ノ蝶蛾ヲ捕ヘテ之カ類縁ヲ定メントスルニ當リ假ニ之カ既知ノ一種ニ類似セル時ハ之ヲ其種ノ異形ニスヘキカ又ハ變形或ハ亞種トスヘキカ將又別種ニスヘキカニツキ大ナル困難ニ遭遇スル場合少カラス、假令



既知ノ種ニツキテモ未タ十分ノ研鑽ヲ經サルモノハ必シモ從來學者ノ定メタル所ニ從フ可カラサルモノアリ且又雌雄異形ノ場合ニ於テ其一方カ未タ知ラレサルカ又ハ多形ヲ有スル種類ナルトキハ例令其モノ、形狀カ既知ノモノト大ナル差ヲ有スルニモセヨ直ニ別種ト判定スヘカラサル場合モ亦少カラス幸ニ交尾セルモノヲ採集スル時ハ此等ノ疑問ヲ決スルニ一大便利ヲ得ルコトアルモ都テノ場合ニ於テ之ヲ望ムヘキニアラサルヲ以テ最後ノ解決ハ少クトモ幼蟲ニ遡ラサル可カラサルニ至ル然シ今茲ニ論スルハ唯成蟲ノミヲ知レル場合ナルヲ以テ幼蟲ハ暫ク之ヲ論外トシテ他ニ比較的正確ナル方法ヲ執ラサル可カラサルニ至ルソレニツキテハ成ルヘク多數ノ標本ニツキ比較研究スルヨリ外ナシ。即チ同一或ハ不同ノ時季ニ同一地方ニテ採集セラレタルモノ、或ハ同一或ハ不同ノ時季ニ各地方ニテ採集セラレタルモノ、多數ノ個體ヲ精密ニ比較シテ多數ニ共通スル一定ノ構造紋理等ヲ發見スルト共ニ其等ノ變移ノ狀態等ヲ精査シテ之カ別種ナルカ將變種或ハ亞種ナルカ等ヲ判斷スルニアリ尤モ此際ニ動物地理上ノ觀念ヲ念頭ニ置クヘキハ勿論ナリ。

過去ニ於ケル鱗翅類分類ノ變遷ヲ顧ミルニ一時ハ個體變化ヲ深ク眼中ニ置カサリシ關係ヨリ少シク紋理ノ異レルモノヲ殆ント悉ク別種トシタルコトアリ從テ後ノ學者カ多數ノ標本ニツキテ此等ヲ再檢シタル結果從來別種トセラレタル若干カ一種ニ統一セラレタルモノ少カラス然ルニ過キタルハ猶及ハサルカ如ク時ニハ酷似セル眞ノ別種カ一種ニ併合セラレタル場合モ亦少カラス故ニ現今ノ學者カ最近ニ發表シタル分類ニテモ悉ク正確ナルモノトシテ之ヲ信スヘキニアラス要スルニ成蟲ノミニヨリテ種ヲ斷定セント欲セハ今日ノ場合ニ於テ多數ノ標

本ニツキ精細ニ比較研究シタル結果ヲ以テ假ニ正鵠ニ近キモノトスルヨリ外ナシ。

屬 Genus ニツキテモ亦絕對的ノ定義ヲ與フヘキニアラス唯若干種ニ共通スル形質ヲ抽象的ニ規定シタル一群ナリトイフニ過キス(尤モ一種ノ場合モアリ)但シ之ヲ狹義ニ解スルカ或ハ廣義ニスルカハ學者ニヨリ意見ヲ異ニセルニヨリ其範圍ニツキテハ決シテ同一ニアラス即チ甲學者ハ比較的差異ノ些少ナル種ヲ一括シテ一屬ヲ規定シ乙學者ハ比較的差異ノ大ナル種ヲモ總括シテ一屬ヲ規定セリ故ニ甲カ採用セル ABC ノ三屬ヲ乙ハ唯 A ノ一屬ニ包括セシムル場合少カラス時ニハ乙カ A 屬中更ニ abc ノ亞屬ヲ設クルコトアリ此ノ如キ場合ニ於テハ甲ノ屬カ乙ノ亞屬ニ當ルヲ以テ唯名義上ノ問題ニ過キサカ如シト雖モ此名義ハ單ニ學者ノ意見トシテ輕々ニ附スヘキモノニアラス屬トハ前ニ述ヘタル如ク共通ノ形質ヲ有スル若干種ノ一群ナルニヨリロスチャイルド並ニジヨードンカ言ヘルカ如ク種ノ上ニ立ツヘキハ則チ屬タルヘキモノニシテ更ニ亞屬ノ介在ヲ許スヘキニアラス故ニ亞屬トイヘハ既ニ屬ノ性質タルヘキナリ。二名法 binomial ニ據ル學名ノ記載式ハ屬ト種ニシテ三名法 trinomial ニ據ル學名ノ記載式モ亦屬種變種ノ順序ニナレル點ヨリ論シテモ種ノ上ニ立ツヘキモノハ當然屬ナラサル可カラサルナリ。

從來ノ鱗翅類ノ分類ヲ見ルニ往々人爲的ニ傾ケルモノアリ即チ狹義的屬ト廣義的屬トノ混淆セルコト是ナリ唯一見の形狀即チ翅及ヒ腹部等ノ外形ニ重キヲ置キテ廣義的ニ大屬ヲ設ケ其内ニ亞屬的ノ區分ヲ設ケタル如キハ其一ニシテ此等ハ種ヲ檢索スル場合ニハ多少ノ便アルモ之カ爲メニ各屬ノ内容ニ輕重ヲ生セルハ看過ス可カラサルコトナリ。

右ノ次第ニヨリ余ハ亞屬設置論者ニ左袒スルコト能ハサルト共ニ屬ノ範圍ハ廣義ニスルヨリモ寧ロ狹義ニ解スルヲ適當ト信スルモノナリ余ハ不幸ニシテ未タ屬ノ範圍ノ狹廣孰レカ眞理ナルカ否ヤヲ詳論セル論文ヲ見タルコトナキモ余カ從來ノ幼蟲ト成蟲トノ並行的研究ノ結果ニヨレハ差異ノ大ナル種ヲ一屬ニ編スルヨリモ差異ノ少キ種ヲ一屬ニスルコトノ安全ナルヲ見ルモノナリ故ニ余ハ屬ノ範圍ニ關スル余ノ意見ヲ次ニ論述スヘシ。

鱗翅類ノ成蟲ニツキ同一種中ニ於ケル個體ノ變化ヲ檢スルニ雌雄ニ於ケル相違ハ別トシテ變化ノ極メテ少キ部分ト比較的變化シ易キ部分トヲ區別スルコトヲ得觸角、唇鬚、生殖器等ハ即チ變化ノ少キ部分ニシテ翅ハ比較的變化アル部分タリ或種ニテハ其雌ノ翅カ殆ント發育セサルコトアリ或ハ之カ不完全ナルコトアリ此ノ如キ場合ニ於テ翅ノ發育及ヒ不發育カ種ヲ左右スルニ足ラサルコトハ無論屬ノ特徵ニモ格別ノ影響ヲ及ホサ、ルハ明ナリ又其脈絡カ同種中ノ個體ニヨリテ多少ノ差ヲ現ハスコトモ少カラスコレ翅脈ハ蛹期ニ漸次變化スルモノナルニヨリ發育ノ程度如何ニヨリ或ハ脈トハ脈トカ幾分癒合スルコトアリ或ハ離ル、カ如キハ當然アリ得ヘキコトナリ然レハ脈絡ノ些少ノ差ハ種ヲ區別スルニモ當ラサルコトアルニヨリ之ヲ以テ直ニ屬ヲ云々スルカ如キハ大ニ考フヘキコトニ屬ス是ニ反シ觸角、唇鬚、生殖器等ノ構造ハ此等カ畸形ニアラサル限り殆ント一定セルモノニシテ強ヒテイヘハ其ノ差異ノ甚タ少キモノナリ。然ルニ從來ノ分類學者ハ翅ノ如キ變化シ易キ部分ニ却テ重キヲ置キ其大小形狀等カ殆ント屬ノ全體ヲ支配スルコト、ナリ觸角、唇鬚等ノ如キ變化少キ部分ヲ却テ第二ニ置キタル場合ナキニアラス、從テ往々幼蟲ノ闡明セラレタルモノニシテ明ニ其等ノ形態ノ異ナレ

ル若干種カ同屬ニ編セラレタルコト少カラサルカ如シ。然リ而シテ此等ノ學者カ何故ニ觸角、唇鬚等ノ構造ヲ異ニセルモノヲ同屬ニ編シタルカニツキテ何等ノ理由ヲ附セサルハ寧ロ異シムヘシトス。

前述ノ如ク蝶蛾ノ體ニ變化シ易キ部分ト變化シ難キ部分トアルニ當リ孰レヲ根據トシテ屬ノ範圍ヲ規定スヘキカトイハ、無論不變ノ部分ニ重キヲ置クヘキハ余ノ喋々ヲ要セサルヘシ故ニ余ハ翅脈ノ些少ノ差等ニヨリテ屬ヲ云々スルコトハ不條理ナル場合アリトスルモ觸角、唇鬚等ノ構造ノ異レルモノヲ同屬ニ編スルコトハ甚タ其當ヲ得サルモノトセサルヲ得ス畢竟屬ノ範圍ハ之ヲ廣クスルヨリモ寧ロ狹クスルヲ以テ自然分類ノ要旨ニ叶ヘルモノナルコトヲ確信スルモノナリ。

今茲ニ記スル枯葉蛾科及ヒ鈎翅蛾科ニツキ之ヲ應用的方面ヨリ見レハ枯葉蛾科中ニハ森林及ヒ果樹ヲ害スルモノ甚タ多シマツカレハカ松樹ニオビカレハカ梅、桃其他ノ果樹ニ大害ヲ及ホスコトハ一般ニ人ノ知所ナリ今回新名ヲ附シタルヤマダカレハノ如キモ亦一地方ニ於テ森林ニ大害ヲ與ヘタルコトアリ其他孰レモ多少ノ害ヲ及ホスモノナルニヨリ大ニ注意スヘキ必要アリ。鈎翅蛾科ニ屬スルモノニツキテハ幸ニ今日マテ大害蟲ト目セラル、モノ無シ從テ從來ノカ生活史ノ研究セラレタルモノ亦少シ然レトモ加害ノ程度ハ時ト場合ニヨリテ異ルニヨリ今日ノ安心ハ決シテ永久ノ安心ニアラサルコトヲ考慮セサル可カラズ此等ニ對スル防除ノ一般的方法ハ前號ニ示ス所ノ如シ。

本報告ニ用キタル術語其他ハ前號ニ準ス。科及ヒ屬ノ特徴ニツキテハ歐米諸學者ノ記セル

所ヲ參酌シテ之ヲ邦産種ニ適用シタリト雖モ或屬ノ特徴ニツキテハ其模範種ヲ檢スルニアラサレハ眞偽俄ニ決シ難キモノアリ然レトモ今日此等ノ模範種ヲ手ニセンコトハ到底余ノ力ノ及ハサル所ナルヲ以テ此等ハ全ク外人ノ記載ニ準據シタリ。

種ニシテ余ノ未タ手ニセサルモノハ止ムヲ得ス其原記載及ヒ他ノ學者ノ記述其他附圖等ヲ引用シタリ。

學者其他必要人物ノ名ヲ記スルニ當リ古人ニ敬稱ヲ附セサルハ一般ノ習慣ナルニ係ハラス從來必シモ一定セルニアラス現在ノ人ニツキテハ親疎ニヨリテ或ハ敬稱ヲ附シ或ハ之ヲ附セサルコトアリ余ハ嚴格ナル論文中ニ親疎ヲ區別スルハ不當ト信スルニヨリ緒論或ハ附記等ヲ除クノ外本論中ニテハ全ク敬稱ヲ附セサルコトニシタリ。

英文ノ部ニ於ケル參考書ノ條ニハ成ルヘク本邦學者ノ著書ヲ引用センコトヲ試ミタリ然レトモ如何ニセン其記載及ヒ附圖等ノ簡ニ失シテ要領ヲ得サル或ハ其學名ノ當ヲ失セルモノ多ク且又著者ノ研究ナルカ或ハ他ノ研究ヲ引用セルカヲ判スヘカラサルモノモ亦少カラザルヲ從テ悉ク此等ヲ羅列スルハ唯繁ヲ加フルニ過キササルニヨリ適宜ニ取捨シタリ。

附圖ハヤマダカレハノ繭及ヒ蛹トスカシカギバノ繭トヲ山田保治氏ノ原圖ヨリ轉寫シタル外皆余ノ原圖ニシテ悉ク自ラ筆ヲ下シタルモノナリ。本文中ノ挿圖ハ多ク他ヨリ引用セルモノナルニヨリ其出所ヲ明ニセリ。

發生ノ季節ハ引用セルモノ或ハ特ニ其場所ヲ示セルモノ、外皆岐阜ヲ中心トス、經過表ニ用キタル記號ハ「●」卵、「○」幼蟲、「◎」蛹、「+」成蟲、ニシテ尙「■」ヲ以テ加害期ヲ示ス。

本研究ノ結果ヲ發表スルニ當リ余ハ所長名和靖技師名和梅吉兩氏及ヒ棚橋技手棚橋助手ヨリ得タル厚意竝ニ理學博士飯島魁同佐々木忠次郎同松村松年同谷津直秀同三宅恒方マスタ、オア、アーツ桑名伊之吉、文學士中川芳太郎、農學士岡本半次郎、理學士竹下政之助、大塚源太郎、高橋悌吉其他ノ諸氏カ參考書或ハ標本ニツキ便宜ヲ與ヘラレタル厚意ヲ謝ス特ニ理學士矢野宗幹氏カ種々ノ點ニツキ特別ノ便益ヲ與ヘラレタル山田保治氏カ研究上ニ多大ノ助力セラレタルトハ余ノ一層深ク感謝スル所ナリ。

カレハガ科 (枯葉蛾科) LASICAMPIDAE.

成蟲 多數ハ大形ナリ。頭部ハ比較的小ニシテ前頭ニハ毛ヲ密生ス。單眼ヲ有セス。複眼ハ小ニシテ甚シク突出シ往々深ク頭部ノ絨毛ノ下ニ隠ル。一部或ハ全部毛ヲ生スルコトアリ。觸角ハ兩櫛齒狀ヲナシ雌ノ櫛齒ハ雄ノヨリ短シ。稀ニ櫛齒甚タ長クシテ羽毛狀ヲナスコトアリ。唇鬚ハ其長サ種々ニシテ形狀モ同一ナラス。吻ハ短クシテ柔軟ナルカ或ハ全ク萎縮ス。胸部ニハ軟毛ヲ密生シ雌ニテハ構造特ニ鞏固ナリ。脚ハ短クシテ鞏固ナリ毛ヲ密生ス。中後脚ノ脛節ニハ一對ノ小キ後距ヲ有ス。跗節ノ外側ニハ針列ヲ有ス。雌ノ腹部ハ肥大ニシテ末端ハ多少圓ク雄ニテハ多少圓錐狀ニ尖リテ多クハ末端ニ束毛ヲ有ス。兩翅共ニ中室ノ面積甚タ狭シ。後翅ニ翅刺ヲ有セス。前翅ノ第一ハ脈ハ第一ト脈ト又狀ヲナス時ニハ第一C脈ヲ存ス。第六及ヒ第七脈ハ中室角ヨリ出テ第九脈ト第十脈トハ常ニ柄ヲ有シテ中室前角ノ前ヨリ出ツ。第十一脈ハ未方大部分前縁ニ密接ス。後翅ハ圓形或ハ卵形ヲナシ前縁部ハ著シク展張セルコト多シ。第一ハ脈及ヒ第一ト脈ヲ有シ第六、七脈ハ甚シク基部ニ接近シテ發ス。第八脈ハ彎曲シテ一部分第七脈ト結ル、カ或ハ短條ニヨリテ之ト連接シ基室ヲ形成ス。基室ヨリハ第二次的小脈即チ副脈ヲ前縁ニ向ケ發スルコトアリ。

卵 短橢圓狀或ハ鵝卵狀ニシテ上面ハ較扁壓セラレ精孔軸ハ水平ニ在リ。通常此軸ハ他ノ軸ヨ

リ長シ即チ自然ノ位置ニ於テ橫軸長クシテ縱軸短シ。一般ニ陶器様光澤ヲ有ス。表面ハ平滑ニ見ユルモ鏡檢スレハ微細ナル蜂窠狀彫刻ヲ有シ各角ノ一點ニ么微ノ突起ヲ有スルコト多シ。塊狀平面狀或ハ枝椏ヲ圍ミテ指環狀ニ産附セラル、コトアリ。指環狀ノ場合ハ一見卵カ直立ノ位置ニ在ルカ如シト雖モ其實最初一列ノ卵カ枝椏ヲ圍ミテ水平ニ産附セラレ爾後其卵ノ上ニ新ナル卵ヲ重ネ此等ヲ附着セシムルニ膠質ヲ以テスルニヨリ各卵ハ互ニ横ニ附着スルモ枝椏ニハ特別ニ膠着セス故ニ枝椏ニ對シテハ直立ナルモ産下ハ横ノ位置ニセラレタルヲ知ルヘシ。

幼蟲 圓柱狀或ハ底部扁平ノ圓柱狀ニシテ腹脚ハ悉ク發育ス。體ニハ軟毛或ハ剛毛ヲ多少密生ス。第一胸節ノ側部顆瘤ヨリハ長毛ヲ頭部ノ兩側ニ射生ス。胸節ノ第二第三或ハ第二ニハ往々横ニ深キ皺褶アリテ刺毛ヲ簇生シ飾斑 Show spot, Prachtfleck. ヲナス飾斑ハ時ニ裸出スルコトアリ。胴部ノ側下方ニハ指狀ヲナセル耳片 Eilage ヲ有スルモノアリ。稀ニ胴部ニ鱗ヲ密布ス。

繭 紡錘狀或ハ橢圓狀ニシテ其厚薄ハ一定セサルモ比較的密ニシテ蛹ヲ透視スルコト鮮シ。往々幼蟲ノ體毛ヲ混ス。

蛹 鞏固ナル外皮ヲ有シ雌雄共ニ腹部ノ第五、六節ハ動クコトヲ得。頭背ニ壘起アリ。腹部ハ通常腹面ノ方ニ曲リ末端ハ圓クシテ尖ラス。多クハ短剛毛或ハ短鈎毛ヲ密生シ稀ニ此等ヲ缺ク。小頭鬚ヲ存セサルモ唇鬚ハ殆ント常ニ存ス。翅端ニ次クニ觸角ヲ以テシ中前脚、小頭及ヒ下唇鬚ト漸次其長サヲ減ス。後脚ハ通常翅ノ下ニ隠レテ現ハレサルモ其末端ノミヲ現ハスコトアリ。脚ニハ廻轉節及ヒ腿節ヲ見ルコト無シ。體ニハ短毛ヲ列生ス。

習性 蛾ハ趨光性ヲ有シ雄ハ活潑ニ飛翔スルモ雌ハ飛翔スルコト稀ナリ。日中飛翔スルモノアリ。

レトモ本邦産ノモノハ多ク夜行性ナリ、蛾ノ色彩ハ枯葉或ハ樹皮ニ擬スルモノ多キヲ以テ一般ニ静止ノ場所モ亦是ニ準ス、雄ハ羽化後雌ヲ求メテ飛翔シ時ニ一回以上交尾スルコトアルモ其後直ニ死ス、雌ハ多數ノ卵ヲ産スル爲メニ多少長ク生存スルモ要スルニ成蟲期ハ短シ。卵ハ露出シ母體ノ絨毛等ニテ被ハル、コトナシ。幼蟲ノ習性ハ一ナラサルモ多ク木本類ヲ食フ、其生長ハ格別迅速ナラサルモ暴食性ナルニヨリ往々果樹園及ヒ森林等ニ大害ヲ及ホスコトアリ胸部ニ飾斑刺毛群ヲ有スルモノハ他物ニ脅迫セラル、場合ニ胸部ヲ屈シテ紫藍色ノ刺毛ヲ起立セシメ防禦ノ態度ヲ取ル、幼蟲十分成長スレハ繭ヲ地面上ニ績ク枝椏間或ハ葉ヲ綴リテ營ムコト多シ。一年一回又ハ二回ノ發生ヲナス、蓋シ此科ノモノハ發育不整齊ナルニヨリ速ニ發育スヘキ性質ヲ有スル種ハ其年ニ化蛹發蛾シテ産卵孵化相次クニヨリ結局二回ノ發生ヲナスコト、ナリ發育ノ遅緩ナルモノハ一回ノ發生ニ止マリテ卵ニテ越冬スルニ至ル又發育不同ノ結果同種ニテ一年一回發生ノ場合ト二回ノ場合トヲ生スルコトアリ是ニツキテハマツカレハノ條下ニ論スヘシ、要スルニ此科ノモノハ蛹期及ヒ蛾ノ生存期間甚タ短ク幼蟲期ハ比較的長キニヨリ幼蟲又ハ卵ニテ越冬スルコト常ニテ蛹ニテ越冬スルコト甚タ稀ナリ、蛹期ハ大略二週乃至五週間ナリ。蛾ノ羽化スルハ日中又ハ夜間ニ關係ナキモ或種ニテハ一定ノ時刻ニ限ラル、モノアリ。

附説 此科ノモノ、幼蟲ニ刺毛ヲ有スルハ鳥及ヒ爬蟲類等ニ對スル一ノ防禦ト見ルヘシ但シ鳥ノ中ニテ杜鵑ノ類ハ其胃ノ内面毳狀ヲナセルニヨリ多分此等ノ毛蟲ヲ餌食トスルヲ得ヘシ幼蟲ノ刺毛人ノ皮膚ニ達スル時ハ疼痛ヲ與ヘテ通常焮衝ヲ發セシム但シ其焮衝ハ毒蛾ノ場合

ニ於ケルカ如ク激烈ナラス多分器械的刺戟ノ結果ナラン、刺毛ヲ除クニハ廓大鏡ニテ疼痛ヲ感スル部分ヲ檢シ銳利ナル鑷子ニテ此等ヲ拔キ取ルヲ要ス又「コロチウム」ヲ其部分ニ塗ル時ハ毛ハ「コロチウム」ニ附着スルニヨリ靜ニ其「コロチウム」ノ膜ヲ剝キ去レハ毛ハ其膜ト共ニ除去セラレ、トイヘリ、焮衝ヲ和クニハ「アンモニア」水或ハ石鹼水等ニテ其部分ヲ洗滌スレハ可ナリトイフ。

分布 此科ハ他科ヨリモ廣ク世界ニ分布ス、温帶ニ多ク産シテ他ノ蛾ノ如ク熱帶ニ多カラズ、寒帶ニモ亦少シ。

種屬 此科ニ屬スルモノハ大略八百種ナルカ個體ニ變化多キヲ以テ多數ノ亞種ヲ有ス、西半球ニ産スルモノ約三百五十種ニシテ東半球ニ産スルモノ約四百廿種ヲ算ス。舊日本(即チ臺灣、朝鮮、樺太ヲ除ク)産トシテ知ラレタルモノ從來八屬十五種アリシカ今又二新屬二新種ヲ加ヘテ十屬十七種トナル(外ニ本報告ニテ琉球産ノ一新種ヲ發表ス)他日更ニ二三種ヲ加フル時アルヘシ。成蟲 ニヨレル舊日本産屬ノ檢索左ノ如シ。

但シスカシカレハ屬 *Manastria* ニツキテハ疑アルニヨリ之ヲ省ク。

A 後翅ノ第八脈ハ基點ヲ少シク離レテ第六、七脈ノ柄部(此等兩脈ノ分岐點ノ内方)ト連続ル、後翅ノ中室横脈ハ其前方ノ部分不明ナリ。

オビカレハ屬 *Malacosoma*.

B 後翅ノ第八脈ハ第七脈第六、七脈ノ分岐點ノ外方ニテト連続ル、カ又ハ横脈ニヨリテ連続ス、後翅ノ中室横脈ハ分明ナリ。

a 後翅ノ基室ハ小ニシテ中室ヨリ遙ニ短シ。  
a<sup>1</sup> 前翅ノ第九十脈ハ長柄ヲ有ス。

ギンモンカレハ屬 *Eriogaster*.

b<sup>1</sup> 前翅ノ等九十脈ハ短柄ヲ有ス。

a<sup>2</sup> 後翅ノ外縁ハ著シク波狀ヲナス。

ミヤケカレハ屬 *Takaneta*, g. n.

b<sup>2</sup> 後翅ノ外縁ハ僅ニ波狀ヲナス。

a<sup>3</sup> 後翅ノ前縁ハ少シク彎入シ跗節ノ基部外方ニ毛ヲ生ス。

リンゴカレハ屬 *Odonostis*.

b<sup>3</sup> 後翅ノ前縁ハ殆ント眞直ニシテ跗節ノ基部ニハ毛ヲ生セス。

a<sup>4</sup> 唇鬚ノ外貌ハ末方多少尖リ第三節ハ比較的長シ翅ハ厚ク鱗ニテ被ハル。

マツカレハ屬 *Dendrolimus*.

b<sup>4</sup> 唇鬚ノ外貌ハ末方膨大シテ截形ヲナシ第三節ハ比較的短シ翅ハ比較的薄ク鱗ニテ被ハル特ニ雌ニ於テ著シ。

ヤマダカレハ屬 *Kunugia*, g. n.

b 後翅ノ基室ハ大且廣クシテ中室長或ハソレ以上又ハ僅ニ短シ長キ横脈ニテ限ラル。

a<sup>1</sup> 前翅ノ第九脈ハ翅頂ニ至ル後翅ノ第八脈ハ第七脈ト横脈ニテ連接ス。

a<sup>2</sup> 後翅ノ前縁ハ前方ニ弧出シ前翅ノ第九十脈ノ柄ハ遊離部ヨリ短シ。

### 幼蟲

ノ知ラレタルモノニツキ日本産屬ノ檢索ヲ示スコト左ノ如シ。

A、幼蟲ハ各節同様ニ毛ヲ生シ又同一ノ紋理ヲ有ス。

a 毛ハ皆同様ニシテ體ノ表面ニ散布シ密ニ簇生セル毛群ヲ有セス胴部ニ美麗ナル縦線ヲ有ス。

オビカレハ屬 *Malacosoma*.

b 毛ハ色ヲ異ニシ且又其長サヲモ異ニシテ特別ニ群生シ或ハ特別ノ部分ヲ被ヒ各節ノ

背部ニハ短毛ヨリナレル二個ノ小群或ハ毛束ヲ有ス。

ギンモンカレハ屬 *Eriogaster*.

B、幼蟲ノ或節ハ毛ノ生ヘ方ニ於テ或ハ飾斑ヲ有スルコトニヨリテ他節ト異ル。

a 全節或ハ少クトモ腹節ノ第三乃至第七ノ腹面側部ニ壓迫セラレタル絹絲狀絨毛叢ヲ有ス。

a<sup>1</sup> 胸部第二節及ヒ腹部第八節ニ筆狀束毛ヲ有シ少クトモ腹部第一乃至第七節ノ亞背線列ニ各三乃至五個ノ短キ毛塊ヲ有ス。

タケカレハ屬 *Cosmotriche*.

b<sup>2</sup> 後翅ノ前縁ハ第八脈ノ終ル内方ニテ深ク凹ム第九十脈ノ柄ハ遊離部ヨリ長シ。

ヒメカレハ屬 *Epicnaptera*.

b<sup>1</sup> 前翅ノ第九脈ハ外縁ニ終ル後翅ノ第一脈ハ横脈ニヨリ第六七脈ノ柄ト連續ス。

カレハガ屬 *Gastropacha*.

タケカレハ屬 *Cosmotriche*.

b<sup>1</sup> 體ハ扁平ニシテ背部ニ束毛ヲ有セス胸部第二三節ニ各飾斑ヲ有シ各節側部ニ脚狀ノ耳片ヲ有ス。

a<sup>2</sup> 飾斑ハ全ク裸出ス。

ヒメカレハ屬 *Epicnaptera*

b<sup>2</sup> 飾斑ハ深キ皺褶内ニ存ス。

カレハ屬 *Gastropacha*

b 體ニ絹絲狀絨毛叢ヲ有セズ。

a<sup>1</sup> 胸節ノ背部ニハ飾斑ヲ有セス。

ヤマダカレハ屬 *Kunugia*

b<sup>1</sup> 胸節ノ背部ニ飾斑ヲ有ス。

a<sup>2</sup> 胸部ノ第二節ニノミ飾斑ヲ有ス。

リンゴカレハ屬 *Odonestis*

b<sup>2</sup> 胸部ノ第二三節ニ各飾斑ヲ有ス。

マツカレハ屬 *Dendrolinus*.

一 オビカレハ屬 *Malacosoma*, *Hübner*.

成蟲 眼ハ裸出スルカ或ハ毛ヲ有ス、觸角ハ兩橢齒狀ニシテ雄ノ橢齒ハ長ク雌ノ橢齒ハ中庸ナ

ルカ或ハ短シ唇鬚ハ中庸ナルカ或ハ小ニシテ斜出シ毛ヲ密生ス。脚ハ腿節及ヒ脛節ニ長毛ヲ生シ跗節ニハ扁平鱗ヲ有シ或ハ第一小節ノ外側ニ毛ヲ生ス、中、後脚ノ脛節ニハ一對ノ小サキ後距ヲ有ス。前翅ノ前縁ハ殆ント翅頂マテ一直線ヲナシ外縁ハ著シク弧狀ヲナシ後縁ハ少シク弧狀ヲナス、前縁ハ基部肥厚シ中室ハ閉鎖ス、十二脈ヲ有シ第六脈ト第七脈トハ短柄或ハ長柄ヲ有シ第九脈ト第十脈トハ長柄ヲ有ス、第八脈ハ游離シテ中室ヨリ發スルカ或ハ第九、十脈ノ柄ヨリ發ス、第四脈ト第五脈トハ往々柄ヲ有ス。後翅ノ前縁ハ殆ント真ナルカ或ハ少シク彎曲シテ基部ハ膨大ス、外縁ハ弧形ヲナス、第八脈ハ基部ヲ離レテ中室ト纏レ小サキ基室ヲ形成ス、此脈ハ前縁ニ向ヒ一本或ハ二本ノ強キ副脈ヲ發ス、第四脈ト第五脈トハ柄ヲ有ス。

卵 橢圓狀ニシテ枝椏ヲ圍ミテ指環狀ニ産附セラレ。

幼蟲 圓柱狀ニシテ柔軟ナル毛ヲ生シ著シキ顆疣ヲ有セス、體ハ灰青色ニシテ橙色黄色黑色等ノ縦線ヲ有ス、此等ハ直線ナルコトアリ又ハ波狀ヲナスコトアリ、連続スルコトアリ或ハ切斷セラル、コトアリ。

蛹 比較的柔軟ニシテ短キ軟毛ヲ生シ肥厚セル鈍圓錐狀ノ尾端ヲ有ス。黄粉ヲ裝ヘル薄キ柔軟ナル繭中ニ存ス。

習性 幼蟲ハ若齡ノ際群集スル性ヲ有シ食ヲ求ムル時ニ散ス多クハ共同的ノ絹網ヲ績ク蛾ハ趨光性ヲ有ス。

分布 舊北洲及ヒ新北洲ニ分布スルモノニシテ其他ニ産スルコト極メテ少シ。

種類 舊日本ニ産スルモノトシテ從來知ラレタルハ唯一種ナリ但シ *M. Castrensis* ニ酷似ノモノ

一 オビカレハ

オビカレハ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一同續日本千蟲圖解第一同大日本害蟲全書。

テンマケケムシ 松村松年 日本昆蟲學。

ウメケムシノガ 名和昆蟲研究所第一回昆蟲展覽會出品目錄。

モモケムシテフ 佐々木忠次郎 果樹害蟲篇。

ウメケムシ 松村松年 日本害蟲篇。小貫信太郎 實用昆蟲學。梁田根

作物害蟲篇。深谷徹 實用園藝植物害蟲驅除法。高橋獎 果樹ノ害蟲。

ヒロオビウハバ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。

學名 *Malacosoma neustria testacea*, Motschulsky.

第一圖版 第一、二圖。第四圖版 第四乃至第七圖。第六圖版 第一乃至第八圖。

モツツルスキー *Motschulsky* ハ日本種ヲ歐洲産種ノ *neustria* ト同一視セスシテ *testacea* トセリ、リーチ *Leech* ハ此等ヲ全ク同種ト斷セリ然ルニ *ダイアー* *Dyar* ハ邦産種ノ幼蟲カ歐産ノモノ、幼蟲ト判然異レルニヨリ變種トスルヲ適當トイヘリ、故ニ余ハ是ニ從フ。

成蟲 雄 色彩紋理ニ多少ノ變化アルモ全體黃褐色又ハ淡黃褐色ヲ呈スルモノ多シ。眼ハ黒

褐色ナリ、觸角ハ黃褐色、唇鬚ハ赭褐色ナリ。脚ハ黃褐色ニ赭褐色ノ毛ヲ生ス、跗節ニハ褐色ノ針列ヲ有ス。前翅ノ内横線ト外横線トハ赭褐色ヲ呈シ多少彎曲或ハ直線ニ小波狀ヲナシ略平行スルモ前者ハ比較的曲レリ、往々此等兩線間ノ地色ハ濃厚ニシテ廣帶狀ヲナス、縁毛ハ地色ト赭褐色トヲ交互ス。後翅ハ前翅ト同色ニシテ外縁部ハ多少赭褐色ヲ帶フ、全ク無紋ナルコトアリ或ハ赭褐色ノ外横線ヲ見ルコトアリ、縁毛ハ赭褐色ナルモ往々白色ヲ混ス。裏面ハ表面ヨリモ多少淡色ニシテ兩翅共ニ彎曲セル赭褐色ノ外横線ヲ有シ前翅ノ基部及ヒ外縁ニ沿ヘル部ハ多少赭褐色ヲ呈ス。體長、五六分。翅張、一寸一二分。

雌 全體淡赭褐色ヲ呈ス、前翅ニ鈍白或ハ黃白色ノ弧形ヲナセル内横條ト外横條トヲ有シ此等兩條間ノ地色ハ赭褐色ヲ呈シテ廣帶狀ヲナス、往々廣帶ノミニシテ内外横條ヲ缺クコトアリ、縁毛ハ地色ニ白色ヲ交互ス。後翅ニハ鈍波狀ノ外横線アリ其内方ハ赭褐色ヲ呈ス、縁毛ハ地色ト均シキカ或ハ多少白色ヲ混ス。裏面ハ淡赭褐色ニシテ基部ヨリ外横線ニ至ル部分ハ赭褐色ヲ呈ス、縁毛ハ表面ニ同シ。體長、五分五厘乃至七分。翅張、一寸三分乃至一寸五分。

卵 灰白色ニシテ橢圓狀ヲナシ一端ハ隆起シテ其中央少シク窪ミ暗褐色ヲ印ス、蓋シ精孔ノ存スル所ナリ、卵ハ此部ヲ外方ニシテ枝極ヲ中心トシテ横ノ位置ニ螺旋狀ニ産附セラル、ニヨリ精孔軸ハ横ノ位置ヲ保ツ、卵ト卵トハ暗色ノ膠質物ニヨリテ短軸ノ方向ニ互ニ相膠着スルヲ以テ一卵塊ハ指環狀ヲナスモ枝極ニハ膠着スルコトナシ、故ニ其枝極ヲ折ル時ハ容易ニ其卵塊ヲ取リ外スコトヲ得一卵ノ長徑ハ四厘短徑ハ貳厘五毛許ナリ一卵塊ノ粒數ニハ不同アルモ二百四五十乃至三百内外ナリ。



幼蟲 色彩條理ニ多少ノ變化アリ。十分成長シタルモノハ頭部青灰色ニシテ淡黃褐色ヲ生シ左右顛頂片ニ各一個ノ黒斑ヲ印シ全面ニ小黒點ヲ散布ス單眼ハ漆黑色觸角ハ灰黃色ニシテ黒環ヲ有ス上口片ハ淡黃褐色上唇ハ黒褐色ニシテ末端ハ褐色ナリ大顎ハ黒褐色小顎ハ灰色ニ黒環ヲ有ス唇鬚ハ褐色ニ灰色環ヲ有ス。胴部ノ兩氣門線間ニ當ル背側部ハ青灰色ニシテ其下方即チ側部ハ灰黃色ヲ呈シ腹面ハ暗青灰色ヲ呈シテ皆小暗點ヲ散布ス亞背線ハ橙色或ハ黃色ニシテ其上下ニ黒線ヲ伴ヒ上方ノモノ幅廣シ故ニ背部ハ地色ノ背線ヲ形成ス但シ此背線ハ往々青白色ヲ呈スルコトアリ側線モ橙色ニシテ其上下ヲ限ルニ黒線ヲ以テスルモ亞背線ニ比スレハ其幅狭クシテ連續セサルコト多ク或ハ全ク之ヲ缺クコトアリ氣門上線ハ黃色又ハ淡黃色ニシテ其上下ニ暗線ヲ伴フ氣門ハ黒色ナリ首板ニハ黒褐斑ヲ印シ第二三胸節ノ側部ニモ黒斑ヲ印ス腹部第八節ノ背部ニハ著シキ黒斑ヲ有シ其側方ニモ亦黒斑ヲ有ス其他ノ各節ニハ亞背線ト氣門上線トノ間ニ黒斑或ハ黒點ヲ印ス其等ノ形狀ハ一定セス全體ニ軟毛ヲ生スルモ特ニ亞背線列ノ扁平顆粒及ヒ第一節ノ氣門上線列ノ顆粒ヨリ射生スル毛ハ黒褐色ニシテ長ク氣門ノ兩側及ヒ下方ヨリ生スル毛モ長クシテ淡黃褐色ナリ腹面ニハ黒斑列ヲ見ルコトアリ。胸脚ハ暗黒色腹脚尾脚ハ暗青色ニシテ末端ハ鈍白色ヲ呈シ鈎環ハ褐色ナリ成熟スレハ體長一寸八分乃至二寸ニ及フ。

繭 橢圓狀ニシテ黃白色ニ黃粉ヲ裝フ長徑八九分短徑三四分ナリ外方ニ薄キ白色ノ絹絲網ヲ有スルニヨリ内外二重ヲナス黃粉ハ微小ナル結晶體ヨリ成レルモノニシテマルビギー氏管ヨリ分泌セラレ幼蟲ノ肛門ヨリ排出シタルモノナリ。

蛹 鈍頭紡錘狀ニシテ黒褐色ヲ呈シ全體ニ淡褐色ノ短キ絨毛ヲ密生ス多少灰白粉ヲ裝ヒ尾端ニハ短剛毛ヲ密生ス。長徑七分三厘内外短徑二分五厘内外。

習性經過 一年一回ノ發生ニシテ越冬シタル卵ハ早キハ三月中旬ニ普通ハ三月下旬ニ孵化ス。孵化期ハ通常梅ノ發芽期ト殆ント一致スルヲ以テ幼蟲ハ直ニ食物ヲ得ル便アルモ氣候ノ關係ニテ未タ梅芽ノ萌發セサル時ニ孵化スレハ一時梅花ヲ食フ幼蟲ノ幼時ハ群集の性質ヲ有シ多クハ一卵塊ノモノ一群トナリ共同ノ絹網ヲ績キテ其内外ニ群居シ嫩葉未タ十分伸ヒスシテ食

Diagram showing the life-cycle of *Malacosoma neustria testacea*.

Year	Month											
	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May.	June.	July.	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.
第一年 First Y.					+	+	+	+	+	+	+	+
第二年 Second Y.					+	+	+	+	+	+	+	+

經過表

物少キ時ハ食物ノ缺乏ト共ニ順次他へ移行ス成長スルニ從ヒ漸次大ナル絹網ヲ績キ多クハ夜間散シテ食物ヲ取り晝間ハ一所ニ集ル第四齡ノ頃マテハ殆ント群居性ヲ失ハス終齡ニ至レハ全ク網ヲ去リテ單獨トナル梅ノ外桃李杏等ノ葉ヲ食ヒテ五月上中旬頃ニ十分成長スレハ其等植物ノ葉ヲ綴ルカ或ハ其附近ノ植物枝葉上時ニハ牆壁檐端等ニ繭ヲ績キテ化蛹ス蛹期ハ十日乃至二週間ニシテ五月下旬ヨリ六月中旬ニ互リ羽化ス蛾ハ趨光性ヲ有ス雌蛾ハ始メ卵ヲ枝極

上ニ殆ント水平ノ位置ニ産附シ爾後膠腺ヨリ分泌スル膠質液ト共ニ卵ヲ産シテ之ヲ卵ノ上ニ  
 榮積的ニ産附ス故ニ卵ト卵ト相膠着スルコト前ニ述ヘタルカ如シ、五六月ニ産下セラレタル卵  
 ハ越冬シ翌年ニ至リテ孵化ス。

分布「本種歐羅巴。西部亞細亞。」亞種東部西比利亞、黑龍江省、ウラジオストツク。支那。朝鮮。  
 日本北海道、本州、四國、九州。

### ニギンモンカレハ屬 *Eriogaster*, Germar.

成蟲 眼ハ有毛、觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ雄ノ櫛齒ハ甚タ長ク雌ニテハ甚タ短キカ或ハ齒狀ヲナ  
 ス、唇鬚ハ短クシテ密毛ノ下ニ隠ル。胸部ニハ長キ絨毛ヲ密生シ雌ハ廣キ尾總ヲ有ス。脚ハ長  
 キ絨毛ヲ密生ス。翅ハ比較的短クシテ廣ク、全縁ニシテ外縁ハ弧形ヲナス比較的薄ク鱗ヲ布キ  
 縁毛ハ短シ中室ハ閉鎖ス。前翅ハ十二脈ヲ有シ、第九脈ト第十脈トハ長柄ヲ有シ第十脈ハ翅頂  
 ニ至ル第六、七、八脈ハ中室ノ前角ヨリ遊離シテ發スルカ或ハ第六脈ト第七脈ト柄ヲ有シ更ニ第  
 七脈ト第八脈トカ柄ヲ有スルコトアリ、第二脈乃至第九脈ハ外縁ニ終ル。後翅ハ八脈ヲ有シ、第  
 八脈ハ基部ヨリ中室ト若干距離間接合スルカ或ハ第七脈ノ基部ト連ル、第六脈ハ中室ノ前角ヨ  
 リ發ス、基部ハ小ニシテ之ヨリ前縁ニ一本或ハ二本ノ單一ナルカ或ハ枝ヲ有セル副脈ヲ發ス。  
 幼蟲 長キ圓柱狀ニシテ各節ニハ大或ハ小ナル背點ヲ有シ橙色ノ毳毛ヲ生ス。  
 蛹 甚タ短クシテ鞏固ニ尾端ハ廣クシテ圓ミヲ帶フ。堅クシテ羊皮紙狀ヲナシ其形儲實ニ似  
 テ空氣孔及ヒ蓋ヲ有スル繭内ニ存ス。

習性 通常午後ニ羽化シ雄ハ羽化スルヤ否ヤ直ニ飛翔ス。  
 分布 舊北洲。

### ニギンモンカレハ (新稱)

學名 *Eriogaster argentoannulata*, Bartel.?

第一圖版 第四圖。第六圖版 第九乃至第十一圖。

余ハ不幸ニシテバルテル Bartel ノ原記載ヲ手ニセサルニヨリ今爰ニ記スルモノカ果シテ此  
 學名ノモノナルヤ否ヤヲ判斷スルコト能ハス然レトモ余カ知レル範圍ニ於テハ舊日本産ノ  
 此屬ノモノハ唯一種ノミニシテ然モ種名ノ意味カ此モノニ該當スル點ヨリ見レハ多分此モ  
 ノナラント推定シ得ヘキ理由アリ故ニ假ニ此學名ヲ充ツルコトニシタリ。

成蟲 頭胸部共ニ黃褐色ヲ呈ス。脚ハ灰褐色ニシテ短毛ヲ生ス。腹部ハ黃褐色ノ絨毛ニテ被  
 ハル。前翅ノ基部ニ近キ内半ハ黃褐色ヲ呈シ内横線、中横線ト共ニ褐色ヲ呈ス、此兩線間ノ中室  
 内ニ卵形ノ著シキ銀白紋アリ周圍ハ多少濃褐色線ニテ限ラル、中横線ノ外方ハ淡黃褐色ヲ呈シ  
 外横線ハ地色ヨリ少シク暗色ナリ、縁毛ハ茶褐色ナリ。後翅ハ淡褐色ニシテ濃色ノ中横條ヲ有  
 ス、縁毛ハ茶褐色ナリ。裏面ハ兩翅共ニ暗灰黃色ニシテ共ニ濃色ノ中横條ヲ有シ表面ノ銀紋ハ  
 鈍白色ヲ呈ス。體長、四五分。翅張一寸一分。

習性經過 成蟲ハ七月ニ出現ス。

分布 日本(本州「日光(七月十二日)」。北海道「蕁菜沼(七月二十七日)」)。

### 三 スカシカレハ屬 *Metanastria*, Hübler.

余ハ未タ本邦産ノスカシカレハ *subpurpurea* ヲ手ニセサルニヨリ此種カ果シテ此屬ニ該當セルヤ否ヤヲ判定スルコト能ハス。此屬ハ千八百十八年ニヒューブナー(Hübner)ニヨリ創立セラレタルモノニシテ之カ模範種ハ印度産ノヒルタカ *Hyracca* ナリ。然ルニ異シムヘキハグルーネルベルヒ *Grimbergi* カサイツ世界大形鱗翅類篇ニ擧ケタル此屬ノ特徴ハヒルタカニ當ラサル點アルコト是ナリ。彼ハ本邦種ノスカシカレハラ印度産ノルアラ *Rubra*, Hampson ト同種トセルカ個ハ既ニスタウチンゲル *Zandinger* カ示セル所ナリ。而シテハンブソン *Hampson* ハルアラヲメタナスツリア *Metanastria* ニ編セルニヨリ此等ノ點ヨリ見レハスカシカレハラメタナスツリアニ編スヘキコトハ多數學者ノ意見ノ一致セル所ト見ルヘシ。故ニ余モ亦是ニ從フト雖モ屬ノ特徴ニツキテハ諸學者ノ擧クル所一致セスハンブソンハ此屬ノ模範トシテ明ニヒルタカヲ擧ケナカラ此屬中ニクヌギカレハ *Indans* ヲ編セルカ如キ大ニ異論ヲ挟ムヘキ點アリ。此ノ如キ状態ナルニヨリ此屬ノ定義ニツキテハ尙研究ノ餘地アリ。從テ次ニハンブソン及ヒグルーネルベルヒノ記セル所ヲ擧ケン。

成蟲 唇鬚ハ長クシテ廣シ。觸角ハ其櫛齒カ雄ニテハ末端ニ至ルニ從ヒ漸次ニ其長サヲ減シ雌ニテハ全體ニ短シ。中後脚ノ脛節ニハ一對ノ小サキ後距ヲ有ス。前翅ハ廣クシテ第一〇脈ヲ存ス。第六及ヒ第七脈或ハ第六七八脈ハ柄ヲ有ス。第九十脈ノ柄ハ長シ。後翅ハ第四五脈カ有柄ナルカ或ハ中室ヨリ發ス。第八ハ殆ント第七脈ニ接ス。弱キ前縁副脈ヲ有ス(ハンブソン)。

成蟲 雄ノ觸角ハ可ナリ長キ櫛齒ヲ有シ雌ニテハ短シ。唇鬚ハ長クシテ前出シ直立セル長毛ヲ生シテ末節ハ長圓柱狀ヲナス。眼ハ裸出ス。前頭ハ平滑ナリ。翅ハ全縁ニシテ前翅ハ廣ク翅頂ハ鋭ク直角ヲナシ前縁ハ甚シク外縁ハ少シク彎曲ス。後縁ハ殆ント真直ナリ。後翅ハ大ニシテ廣ク圓キ翅頂ヲ有ス。前縁ハ殆ント真直ニシテ外縁ハ甚シク彎曲ス。前翅ハ十二脈ヲ有ス。第二乃至第四脈ハ同一ノ間隔ヲ以テ中室ヨリ發ス。第五脈ハ中室ノ後角ヨリ發シ明ニ第四脈ヨリ離ル。第六脈ト第七脈トハ柄ヲ有シテ中室ノ前角ヨリ出テ第八脈ハ第九脈第十脈トノ短柄ヨリ發ス。第二乃至第八脈ハ外縁ニ終リ第九脈ハ翅頂ニ至ル。後翅ニテハ第二脈カ中室ノ中央ヨリ發シ第三乃至第五脈ハ中室ノ後角及ヒ其附近ヨリ發シテ同一距離ヲ保ツ。第八脈ハ第六脈ノ基點ヲ遙ニ過キテ夫ト小距離間接合ス。基室ハ可ナリ大ニシテ長シ。副脈ヲ缺ク。中室ハ兩翅共ニ閉鎖ス。横脈ハ前翅ニテハ彎曲シ後翅ニテハ著ク角ヲナシテ前方ノ直ナル部分ハ後方ノ彎曲部ノ半ニ過キス。一ノ退化セル脈ハ其角ヨリ内方ニ走ル。胸部ハ粗ニ毛ヲ以テ被ハル。腹部ハ一層平滑ニ毛ニテ被ハル。脚ハ可ナリ長ク脛節ハ甚タ長キ毛ヲ有シ跗節ハ平滑ニ鱗ニテ被ハレ第一小節ハ他ヲ合スルヨリ著シク短シ。前脚脛節ハ附屬物ヲ有セス。中後脚脛節ハ甚タ短キ後距ヲ有シ長毛中ニ隠ル(グルーネルベルヒ)。

分布 東部亞細亞、東洋洲(印度)。

### 三 スカシカレハ

スカシカレハ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。

學名 *Metanastria subpurpurea*, Butler.  
前述ノ如ク余ハ此種ノ實物ヲ見サルニヨリ先輩ノ記スル所ヲ引用セン。此種ハ千八百八十一年ニバツトラー Butler カフエントン Fenton ニヨリ東京ニテ採集セラレタル雌一頭ノ標本ニヨリテビーキロカンバサフブルブリー Poecilocampa subpurpurea ト命シテ之ヲ記載シタルモノナリ其原文次ノ如シ。

雌 前翅ノ表面ハ紅紫黑色 purplish piceous. 基方三分ノ一ノ所ヲ横キル不規則ナル黃褐色ヲ幽ニ見ル又翅頂ニ近キ三分ノ一ノ所ニ波狀ニシテ少シク彎曲セル第二ノ條ヲ有ス、白ミヲ帶ヒテ傾斜セル不明點 Luna ヲ翅頂ニ近キ前縁ニ有ス。後翅ハ暗赤褐色 luteo brown 體ハ鈍黃褐色 testaceous 裏面ハ一様ニ灰色ヲ帶ヒタルチヨコレート色ニシテ絹絲光澤ヲ有ス。翅張ニインチ十二ライ

雌 東京フエントン採集

此珍種ノ翅ハ半透明ナリ、唯一頭ノ少シク破損セル標本ヲ得タルニ過キス(バツトラー)。

其後スタウチンゲルハ此種ヲメタナスツリヤニ移シ最近グルンベルヒモ亦此屬ヲ用キタリ、グルンベルヒノ記スル所ハ次ノ如シ。

成蟲 觸角ハ淡褐色、前頭及ヒ胸背頸板ハ黃色、肩板、胸部側方及ヒ腹部ハ暗褐色。前翅ハ栗色ニシテ灰色鱗ヲ粉布シ中央ヨリ前後ニ二條ノ狭クシテ少シク波狀ヲナセル黃色横帶アリ前縁部ニテハ大斑ヲナス、黑色ノ室端點ハ甚タ不明ナリ、後翅ハ基部ヨリ外横帶ノ終ル淡キ點ニ至ルマテ黃色ノ長毛ヲ以テ密ニ被ハル。裏面ハ帶紅褐色、兩翅共ニ灰黃色ノ横條ヲ有スルモ前翅ニテ

第一圖 カシカスハレ  
(原圖ヒルマン-ルグ)



Fig. 1. *Metanastria subpurpurea*.  
After Grunberg

ハ唯第四脈ニ達スルニ過キス、兩翅トモ横條ノ内側ハ密ニ灰色鱗ニテ被ハル、雌ハ雄ニ均シキモ少シク淡色ニシテ一層薄ク鱗ニテ被ハル。黒龍江省地方、日本。蛾ハ七月ニ出ツ。卵ハ帶赤黃色。幼蟲ハ圓柱狀ニシテ兩端ニ細マル、長キ側毛ヲ有セス、頭ハ小ニシテ暗黒色ヲナス、胴部ハ黃毛ニテ被ハレ第四乃至第十節(即チ腹部第一節乃至第七節)ノ背部ニハ二分セル天鷲絨樣黑點列ヲ有セルヲ以テ暗灰色ヲ呈シ此等黑點ノ側部ハ淡色ノ鎌狀斑ニテ限ラル、腹面ハ赤黃色ナリ。灰白色ノ絹絲網ヲ續キテ其内ニ群居シ唯夜間ノミ出テ、食ヲ取ル、幼蟲ニテ越冬シ翌年ノ六月或ハ七月マテ取食ス、繭ハ甚タ鞏固ニシテ羊皮紙狀ヲナス。往々一繭内ニ二乃至四ノ蛹ヲ見ルカ此蛹ニテ今一度越冬スルコトアリ(註ニ曰ク幼蟲ニテ越冬シ又蛹ニテ越冬スレハ結局二年一回ノ發生ニ當ル)然シ南部黒龍江省、ウラジオストクニテハ此種ハ唯一回越冬スルノミ。分布 東部西比利亞、黒龍江省、ウラジオストク。日本(本州)。

四 タケカレハ屬 *Cosmotriche*, Hübner.

成蟲 前頭ハ少シク凸出シテ平滑ナリ眼ハ薄ク毛ヲ有ス、觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ雄ノ櫛齒ハ甚タ長ク雌ニテハ短シ、唇鬚ハ長クシテ前出シ第三節ハ圓柱狀ニシテ長シ。胴部ハ毛ヲ密生ス。脚ノ腿脛節ニハ長毛ヲ密生シ中、後脚ノ脛節ニハ長キ後距ヲ有ス。翅ハ共ニ外縁少シク波狀ヲ

ナシ中室ハ閉鎖ス。前翅ハ廣クシテ前縁ハ其外半弧形ヲナシ、外縁ハ可ナリ彎曲シ後縁ハ少シク彎曲スルカ或ハ殆ント一直線ナリ。十二脈ヲ有シ第二脈ハ基部ニ近ク發ス、第五脈ハ中室ノ後角ヨリ發シ第六脈ト第七脈ト及ヒ第九脈ト第十脈トハ共ニ短柄ヲ有ス、第八脈ハ中室ノ前角ヨリ單獨ニ出ツ、第二乃至第八脈ハ外縁ニ終リ第九脈ハ翅頂ニ至ル横脈ハ中央ニテ角ヲナス。後翅モ廣クシテ圓ク外縁ハ著シク彎曲ス、第四脈ト第五脈トハ一點ヨリ發スルカ或ハ短柄ヲ有ス、第八脈ハ基部ニテ甚シク彎曲シ中室ノ半ヲ過キ長キ斜横線ニテ第七脈ト連接シ廣大ナル基部ヲ形成ス、此基部ヨリ四本乃至五本ノ副脈ヲ發シ外方ノ長キモノハ第八脈ノ遊離部ト平行ス。

卵 球狀ニ近キ短橢圓狀ヲナス。  
幼蟲 圓柱狀ニシテ長短毛ヲ生シ第二胸節及ヒ第八腹節背ニ長キ筆毛ヲ生ス第三胸節或ハ第一腹部ヨリ第八乃至第九腹節ニ至ル亞背線列ニハ各節三四或ハ五個ノ短毛塊ヲ有ス。  
蛹 橢圓狀ニシテ尾端ハ圓シ、紡錘狀黃色ノ繭内ニ存シ繭ノ表面ニハ幼蟲時代ノ毛塊ヲ附着ス。習性 幼蟲ハ多ク禾本科又ハ莎草科植物ヲ食フ、晝間ハ静止シ夜間活動スルコト常ナリ、蛾ハ趨光性ヲ有ス。

分布 舊北洲。東洋洲。

種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ三種アリ其檢索左ノ如シ。

A 外横線ハ翅頂ヨリ發ス。

外横線ハ殆ント斜ニ一直線ヲナスカ或ハ僅ニ波狀或ハ弧狀ヲナシ時ニ第二脈上ニ於テ少シク角ヲナス、前翅ノ銀白紋ハ判然セサルコト多シ。

ヨシカレハ *C. potatoria*.

b 外横線ハ波狀或ハ弧形ヲナシ第二脈ノ後方ニテ前者ヨリモ著シク角ヲナス。銀白紋ハ常ニ顯著ナリ。

タケカレハ *C. albomaculata*.

B 外横線ハ翅頂ノ内方ヨリ發ス。

タケヒメカレハ *C. laeta*.

### 四 タケカレハ

タケカレハ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一、同續日本千蟲圖解第一。

タケケムシテフ 佐々木忠次郎 日本樹木害蟲篇。

シロヨツボシガ 名和昆蟲研究所第一回全國昆蟲展覽會出品目錄。

フタホシカレハ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。

學名 *Cosmocriche albomaculata*, Bremer.

第一圖版 第五圖。第五圖版 第十乃至第十三圖。第六圖版 第十五乃至第二十一圖。

此種ハ一二ノ學者ニヨリ次ニ記スルヨシカレハ *C. potatoria* ト同種トセラレタルコトアルモ其幼蟲ノ異レル點ハ明ニ別種タルコトヲ證明シタリ、從テ從來タケカレハノ和名ハボタトリアニ當テラレタルモ普通竹ノ害蟲ト目セラル、ハ此種ニシテホタトリアニアラザルニヨリタ

ケカレハノ和名ヲ此種ニ當テホタトリアニ對シテハ新ニヨシカレハノ和名ヲ命スルコト、セリ。

成蟲 雌雄共ニ彩色ニハ多少濃淡アリ從テ紋理ノ判然セルモノト判然セナルモノトアリ又前翅ノ中央ニ在ルニ銀紋ノ如キハ其大小一定セス。

雄 頭部赭褐色ニシテ眼ハ黑褐色ヲ呈シ唇鬚ハ外側暗褐色ヲ呈ス、觸角ハ黃褐色ニシテ軸ハ多少茶褐色ヲ帶フルコトアリ或ハ灰色ヲ呈スルコトアリ。胸部ハ黃褐色或ハ茶褐色又ハ灰黃色ヲ呈シテ前方ハ一層濃厚ナリ、其腹面ハ茶褐色或ハ暗灰黃色ヲ呈ス。脚ハ赭褐色或ハ暗灰黃色ナリ。腹部ハ茶褐色又ハ灰黃色ニシテ腹面ハ多少濃色ナリ、末端ニ同色ノ絨毛ヲ叢生ス。前翅ハ赭褐色或ハ暗灰黃色ニシテ多少鉛色光澤ヲ有スル鱗毛ヲ混ス、亞基線ハ弧形ニシテ濃赭褐色又ハ鼠色ヲ呈シ前緣ヨリ亞中褶ニ至ル前橫線モ略同様ニシテ後緣ニ達ス、中室端ニ銀白或ハ淡黃色ノ腎紋アリ中心ニ茶褐色或ハ灰黃色ヲ點ス又其前方ニ同色ノ一點アリ此等二紋ノ大小形狀ハ個體ニヨリテ著シキ差異アリ、翅頂ヨリ斜ニ外方ニ弧形ヲナシテ内方ニ曳ケル濃赭褐色又ハ暗灰色ノ外橫線アリ第一脈ニ至リテ鈍角ヲ形成シ殆ント直線ヲナシテ後緣ノ略中央ニ終ル此直線ノ部分ヨリ基部ニ至ル後緣部ハ黃褐色又ハ灰黃色ヲ帶フ、又此外橫線ハ外方ニ鉛色光澤ヲ有スル灰色綠ヲ伴ヒ其外方一帶ハ灰白色ヲ呈シテ多少光澤ヲ有ス、亞外緣線ハ茶褐色又ハ暗灰色ニシテ齒狀ヲ呈ス、翅脈ハ外緣部ニ於テ多少黃褐色ヲ現ハス、緣毛ハ地色ヨリ淡シ。後翅ハ赭褐色又ハ灰黃色ニシテ殆ント翅頂ヨリ内方ニ弧形ヲナシテ臀角ニ近キ後緣ニ至ル濃赭褐色線或ハ暗灰色線アリ其外方ノ地色ハ濃クシテ鉛白色鱗ヲ混ス、緣毛ハ地色ニ同シ。裏面ハ淡

赭褐色或ハ灰黃色ニシテ多少暗色ヲ混シ兩翅共ニ暗色ノ弧形ヲナセル外橫線ヲ有ス、緣毛ハ地色ヨリ淡シ。體長八分内外。翅張一寸五分乃至一寸六分。

雌 彩色ハ雄ト大同小異ナルモ形ハ大ナリ。前翅ノ後緣部基方ノ着色ハ雄ノ如ク著シカラス、中央ニ在ルニ二紋ハ多ク銀白色ヲ呈シテ比較的大ナリ又翅頂ヨリ斜ニ曳ケル弧線ハ多少波狀ヲナス。體長八分五厘乃至九分五厘。翅張一寸六分乃至二寸四分。

卵 球狀ニシテ上下扁平ナリ淡綠色ヲ呈シ上面ト下面トニ白色環紋アリ、側面ニ白帶アリテ其兩端ハ環狀ヲナシ相觸接セス一見カレハガノ卵ニ似タレトモ綠色ハ夫ニ比シテ淡シ、橫徑五厘内外、高サ四厘内外。

幼蟲 頭部ハ圓ク黃褐色ニシテ褐色ノ小點ヲ滿布シ多少縱線狀紋理ヲ現ハシ淡黃褐色及ヒ黑色ノ毛ヲ生ス、單眼ハ黑色ナリ、觸角ハ餘色ニシテ末方少シク褐色ヲ帶フ、上口片及ヒ上唇ハ淡黃褐色ヲ呈ス、大顎ハ黑褐色ナリ、小顎及ヒ下唇ハ淡黃白色ニ褐色ヲ混シ黑褐線ヲ有ス。胸部ハ黃金色ニシテ各節多クハ五條ノ橫皺ヲ有シ首板及ヒ尾板ハ黃褐色ヲ呈ス、第二胸節背ニ暗斑アリ亞背條及ヒ側條ハ暗灰色蓋シ微小ノ暗點ヲ滿布ニヨルニシテ後方ヨリモ前方濃色ナリ、腹部第一節ヨリ第九節ニ至ル亞背條ニハ多ク黑褐色ノ短毛塊四個稀ニ五個(第九節ニテハ一個)ヲ有ス、氣門ハ淡黃白色ニシテ黑圈ヲ有ス、氣門ノ前後ニハ黃色ノ短斜條ヲ竝列セシム、腹面ハ黃白色ニシテ多少青色ヲ帶フ、胸脚腹脚ハ共ニ帶青黃白色ニシテ爪及ヒ鈎環ハ褐色ナリ。全體ニ淡黃褐色ヲ生シ多少黑毛ヲ混ス、背部ノ毛ハ比較的長クシテ特ニ第二胸節及ヒ第八腹節ヨリハ黑色ノ筆毛ヲ生ス、氣門ノ前方及ヒ下方ノ顆疣ヨリハ多少放射的ニ長毛ヲ生ス、基線列ニハ前後兩節ノ

界及ヒ各節ノ前方ニ光澤アル黃褐色ノ絨毛叢ヲ有シ腹部第二乃至第七節ニテハ多少黒毛ヲ混  
 ス十分成長スレハ體長二寸六七分ニ及フ。  
 繭 紡錘狀ニシテ附着面ハ扁平ナリ淡黃褐色淡茶褐色或ハ灰白色ニシテ各所ニ黑色ノ毛塊ヲ  
 附着シ斑狀ヲ呈ス長徑一寸七八分短徑四五分。  
 蛹 橢圓狀ニシテ赤褐色ヲ呈シ背部ハ暗褐乃至紫褐色ヲ帶フ腹部ノ背方ニハ么微ノ凹點ヲ布

Diagram showing the life-cycles of *Cosmotriche albomaculata*.

Year	Month											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
第一年 First Y.						+	+	+	+	+	+	+
第二年 Second Y.												

表 過 經

ク特ニ前方ニ著シ又第三乃至第七節ノ背部ニハ其前方ニ横線狀ノ低キ壘起ヲ有ス末節端ハ圓  
 クシテ黃褐色ノ短毛ヲ密生ス長徑一寸内外短徑三分六七厘。  
 習性經過 一年二回ノ發生ニシテ越冬シタル幼蟲ハ四月頃ヨリ活動シテタケ、ス、キ其他ノ禾  
 本科植物ノ葉ヲ食フ五月下旬乃至六月上旬ニ至リ十分成長スレハ其等ノ植物ノ稈上ニ繭ヲ營  
 ミ十日内外ヲ經テ化蛹シ六月中旬下旬ニ羽化ス蛹期ハ十日内外ナリ羽化後三四日ニシテ嗜食植

物ノ葉上ニ産卵ス此卵ハ七月上旬ニ孵化ス第二回ノ幼蟲ハ九月中下旬ニ營繭シ次キテ化蛹シ  
 テ九月下旬乃至十月上旬ニ羽化ス卵ハ十月中旬マテニ産セラレ之ヨリ孵化シタル幼蟲ハ二  
 齡或ハ三齡ニテ越冬ス。  
 分布 東部西比利亞(アムール)。朝鮮。日本(本州四國九州)。

五 ヨシカレハ (新稱)

タケカレハ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一(部分)。  
 同續日本千蟲圖解第一。  
 學名 *Cosmotriche potatoria*, L.

第一圖版 第六圖。第五圖版 第十四乃至第十六圖。

成蟲 彩色ニハ黃褐暗黃褐灰黃色等種々アリテ紋理ニモ亦多少ノ變化又ハ濃淡ノ差アリ今此  
 等ノ顯著ナルモノニツキテ記載セン。

雄 頭部胸部ハ黃褐色ニシテ眼ハ黑褐色ヲ呈ス。脚モ腹部モ亦黃褐色ナリ。前翅ハ暗黃褐  
 色ニシテ前縁ニ沿ヒ多少黃褐色ヲ帶フ内横線ハ赭褐色ニシテ前縁ヨリ發シ少シク波狀ヲナシ  
 テ第二脈ヲ過キ少シク角ヲナシテ後縁ニ至ル(此線ハ往々不明ナルコトアリ)中室端ニ黃白色ノ  
 橢圓紋アリ周圍ハ多少赭褐色ニテ限ラレ中心ニ黃褐點ヲ印スルコトアレトモ此ノ如キ顯著ナ  
 ル紋ヲ有スルモノハ甚タ少ク多クハ中室内ヨリ中室外ニ亘レル黃褐色短條ノ爲メニ其中央ヲ  
 横斷セラル、カ或ハ全部ヲ抹殺セラル、コトアリ此斑ノ前方ニ銀白色ノ一圓點ヲ印ス稀ニハ

此點ヲモ缺如セルコトアリ、外横線ハ赭褐色ニシテ翅頂ヨリ斜ニ内方ニ曳キ後縁ノ中央ヨリ少シク内方ニ至ル極メテ僅ニ緩波狀ヲナシ往々其外方ニ鈍白線ヲ伴フコトアリ外横線ノ内方後縁部ハ黄褐色ヲ呈スルコト多シ、亞外縁線ハ赭褐色ニシテ鋸齒狀ヲナシ略外縁ニ並行ス、外縁部ハ多少暗色ヲ帶フルコトアリ緑毛ハ地色ニ均シ。後翅ハ淡黄褐色ナリ、外横線ハ赭褐色ニシテ翅頂ニ近キ前縁ヨリ發シ殆ント後縁ノ中央ニ至ル、此線ノ外方ハ多少淡褐色ヲ呈ス、縁毛ハ地色ニ同シ。裏面ハ灰黄色ニシテ幽ニ暗色ノ外横線ヲ見ルヘキモ無紋ナルコト少カラス。體長八分乃至八分五厘、翅張一吋五分五厘乃至一吋八分。

雌 體軀肥大ニシテ彩色幾分淡キ外、紋理等ハ雄ト大差ナシ。體長九分五厘、翅張二寸内外。卵 余未タ此種ノ卵ヲ見ス。バツクラー Buchler ノ記スル所ニ據レハ「卵ハ比較的大ニシテ球狀卵形ヲナシ他種ヨリモ圓キ方ナリ、上面ニハ小ニシテ圓キ淺キ凹ミヲ有シ下面ニテハ其凹ミ深シ、表面ハ平滑ニシテ不透明光澤アル陶器様白色ヲ呈ス、上下ノ凹ミハ淡灰綠色ヲ呈シ少シク離レテ其凹ミヲ圍レル同色ノ帶アリ又兩帶間ノ中央ニ同色ノ較小サキ凹ミタル圓點ヲ印ス」尙ベ「コツト Bacot」ニ據レハ「卵ノ長サハ一、九乃至二、二ミメ、廣サ一、六ミメ、厚サ一、二乃至一、三ミメ」ニシテ表面ニハ微細ノ網狀紋理アリト。

幼蟲 圓柱狀ニシテ頭部ハ圓ク黄褐色ヲ呈シ赭褐色ノ小點ヲ散布シ多少縦線狀條理ヲナス黄褐毛及ヒ暗黒毛ヲ粗生ス、單眼ハ黒褐色ナリ觸角ハ淡黄褐色ニシテ各節ニ褐色環ヲ有ス、上口片及ヒ上唇ハ淡黄褐色ナリ、大顎ハ黒褐色ニシテ小顎及ヒ下唇ハ黄白色ナリ。胸部ハ黒褐色ニシテ多少青色ヲ帶ヒ各節多クハ五條ノ横皺ヲ有ス、背線部ニ小黄點ヲ密布シテ背條ヲ形成ス、亞背

線列ニハ不規則ナル小黃點ヲ列ネテ黄條ヲ形成ス、氣門ノ前後ニハ黃點ヨリ成レル短斜條アリ其斜條上或ハ其下方ヨリ白色ノ絨毛ヲ束生ス、氣門ハ黄白色ニシテ黒圈ヲ有ス、腹面ハ黃點ノ連續ニヨリ網狀ヲナセル上腹線ヲ有ス、胸部全體ニハ黄褐色ノ長毛及ヒ短毛ヲ生シ特ニ胸部第二節背ニハ黄褐色及ヒ暗褐色ノ筆狀毛束ヲ生シ腹部第八節背ニハ暗褐色ノ筆狀毛束ヲ生ス、胸部第一節ノ顆疣ヨリハ黄褐毛ト黒褐毛トヲ射生シ其他氣門下線列ノ顆疣ヨリハ黄褐毛ヲ射生ス、基線列ニテハ各節ノ前後端即チ兩節ノ界ニ光澤アル黄褐色及ヒ黒褐色ノ絨毛束ヲ有ス、腹部ノ亞背線列ニハ各節ニ多クハ黒褐色ノ短毛塊四個ヲ有シ各毛塊ノ基方ハ茶褐色ヲ呈ス、胸脚及ヒ腹脚ハ黄褐色ニ暗褐色ヲ混シ爪及ヒ鈎環ハ茶褐色ナリ、十分成長スレハ體長二寸有餘トナル。

繭 紡錘狀ニシテ大小ノ褶皺ヲ有シ附着面ハ扁平ナリ淡黄色ニシテ各部分ニ黒色ノ毛塊ヲ存シ黒斑狀ヲナス、内面ハ表面ヨリ淡色ナリ、長サ一寸七分内外、廣ク四五分、厚サ三四寸ナリ。尙ベ「コツト Bacot」ノ記スル所ニ據レハ「繭ハ其大サ種々ニシテ長サ一、五乃至二吋、廣サ〇、三七乃至〇、四四吋、厚サ〇、三八乃至〇、五六吋ナリ」トイフ。

蛹 橢圓狀ニシテ赤褐色或ハ黒褐色ヲ呈シ腹部各節ノ背部ニハ么微ノ凹點ヲ布ク特ニ前方ニ著シ未節端ニハ黄褐色ノ短毛ヲ密生ス、長徑八分、短徑三分四五厘。

習性經過 此種ニツキテハ余未タ實際ニ飼育セサルニヨリ之カ習性經過ニツキテ明言スルコト能ハス、然レトモ邦産種カ歐産種ト同一ナルコトハ其幼蟲ノ同様ナルコトニヨリ明ナルヲ以テ大體ニ於テ歐産種ニ準スルコトヲ得ヘシ、歐洲學者ノ研究セル所ヲ簡單ニ綜合スレハ「幼蟲ハ多ク八月ニ孵化シ最初其卵殼ノ半ヲ食フ、動作活潑ニシテ一、二日間食物ノ搜索ニ彷徨スルモ殆



ント困却スルコトナシ、食物トシテハスゲ屬 *Carex*、井屬 *Juncus*、カモガヤ屬 *Dactylis*、スズメノテツ  
 ホウ屬 *Alopecurus*、スズメノヒエ屬 *Luzula*、スズメノチヤビキ屬 *Bromus*、ヨシ屬 *Phragmites*、ダンチク  
 屬 *Arundo* 其他ツメグサ屬 *Tritolium* ヲ取リテ成育シ三回蛻皮ノ後十月末或ハ十一月ヨリ翌年ノ  
 四月マテ越冬状態ヲ取リ五月ヨリ六月ニ至リテ十分成長スレハ繭ヲ積キテ化蛹ス繭ハ地上ニ  
 テ多ク嗜食植物上ニ積カル、幼蟲ハ多量ノ濕氣ヲ要シ多量ノ水滴ヲ飲ムヲ以テ之ヲ飼育スル場  
 合ニハ食物ニ相當ノ水ヲ灌クヲ要ス、水ニ渴スル時ハ往々他ノ幼蟲ヲ攻撃シテ其體汁ヲ吸收ス  
 ルコトアリ、蛾ハ早キハ六月ニ羽化スルモ多クハ七月末ヨリ八月ニ出現シ晚遅ク飛翔ス、雄ハ活  
 發ナルモ雌ハ遲鈍ナリ但シ往々燈火ニ來ル。

本邦ニ於ケル此種ノ分布ハ本州ノ中央以北ヨリ北海道ニ至リ大略歐洲ノ中部地方ト其溫度  
 ヲ均シクセル所ニシテ且其蛾ノ出現モ七月末ヨリ八月ニ至ルニヨリ多分歐洲ト同様ニ一年一  
 回ノ發生ナルヘシ。岡本半次郎ニ據レハ六月二十二日ニ採集シタル幼蟲ハヨシ、ササ等ヲ食ヒ  
 テ六月二十四日ニ結繭シ七月二十日ニ羽化シタリ。又幼蟲ニテ越年ストアリ。  
 分布 歐羅巴。東部西比利亞、ウスリー、アムール、アスコルド、ウラジオストツク、滿洲。  
 日本本州中部以北、信州上高地、赤城山、日光、北海道「札幌」。

## 六 タケヒメカレハ

タケヒメカレハ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。

學名 *Cosmotriche laeta*, Walker.

### 第八圖版 第十九圖。

此種ニツキテハ未タ實物ニ接セサルニヨリ歐洲學者ノ記載セル所ヲ舉クヘシ、但シ幼蟲ニツ  
 キテハ千九百十六年ノ七月山田保治カ朝鮮ニ於テ採集セラレタル者カグリーンベル *Grün-*  
*berg* ノ記事ニ對照シテ此種ノモノニ該當スルニヨリ該標本ニヨリテ記載セン。

ウオルカー *Walker* ノ原記載ハ次ノ如シ。

成蟲 雄、橙黃色、頭部、胸部及ヒ腹面ハ較赭褐色、唇鬚ハ黃褐色、觸角ハ淡褐色、腹部ハ胸部ヨリモ淡  
 色、前翅ハ基方ニ近ク細ク直ニ波狀ノ赭褐色條ヲ有ス、又外縁ニ近ク甚シク斜ナル淡紅紫色ノ光澤  
 アル條ヲ有ス、此條ハ其内方ヲ褐色ニテ限ラレ外側ハ擴散ス、銀白色ノ一圓紋ヲ有シ其前方ニ同  
 色ノ一點アリ。後翅ハ赭褐色、基方ハ較淡褐色ヲ呈ス。體長十二乃至十四ラインス(八分三厘乃  
 至九分八厘)翅長三十乃至三十二ラインス(二寸一分乃至二寸二分三厘)。

變種 前翅赤色ヲ帶ヒ後縁ノ基部ニ添ヒテ黃色ヲ帶フ。

ハン普森 *Hampson* ノ記スル所ハ次ノ如シ。

成蟲 頭部、胸部、腹部ハ淡赤褐色、翅ハ赤褐色、前翅ニハ不明ノ波狀内横線ヲ有ス、中室ノ下端ニ大  
 ナル白斑アリ、赤褐色ヲ點ス、又其上方ニ一小點ヲ有ス、甚シク傾斜セル暗線ハ翅頂ノ近クヨリ發  
 シ下方ニ曲リテ後縁ノ中央ニ至ル、亞外縁線ハ波狀ヲナス。後翅ハ前縁部暗色ヲ帶フ。

グリーンベル *Grünberg* ノ記スル所ハ次ノ如シ。

成蟲ハ甚タ美麗ニ鮮カナル色彩ヲ有スル種ナリ、前翅ノ基部及ヒ前縁部ハ温カキ黃褐色ニシテ  
 後翅ハ淡キ黃褐色ヲ呈ス、外縁部ハ黑色ノ横帶ノ外部紅紫色ヲ呈ス。後翅ハ前翅ト同色ナルモ

ハレカメヒケタ 圖二第  
(原図ヒルメシールク)



Fig. 2. Cosmotriche laeta.  
After Grunberg

基部ハ腹部ヨリ一層淡キ褐色ヲ呈ス。前翅ノ中央點ハ甚タ大ニシテ不規則ニ角ヲ有シ是ニ接シテ鈍キ銀光ヲ有スル一點ヲ有ス。尙ホ東部亞細亞ニ産スルモノハ前翅ノ後縁ニ濃黃色ノ大斑ヲ有ス之ヲ *sh. sulphurea* Aurivillius ト稱ス。幼蟲ハアムール *Amurland* ニテ普通ニラスベデザビコロール *Laspidea bicolor* 上ニ見ルヘク其形態色彩ヨシカレハノ幼蟲ニ酷似シ灰色ニシテ側部ニハ黃色及ヒ黑色ヲ介在ス。背帯ハ黑色ニシテ斜方形ノ連接ヨリ成ル。第二節ニ黑色ノ束毛アリ其前方ニ少シク長クシテ薄キ束毛アリ。第十一節ノ束毛ハ黑白ヲ混ス、第三節乃至第十節上ノ剛束毛ハ短クシテ黑色ナリ。卵ハ嗜食植物ノ莖ニ膠着セラレテ越冬ス。若キ幼蟲ハ六月上旬マテハ出現セス。七月中旬ニハ十分成長ス。繭ハ黃白色ニシテヨシカレハヨリ較淡色ニシテ柔軟ナリ。蛾ハ八月上旬ニ出現ス。

幼蟲 頭部ハ黃褐色ニシテ鈍白毛ヲ生ス。顛頂片ニ四條ノ黑色縦線アリ。額片ノ中央ニ黑縦線アリ。上口片及ヒ上唇ハ黃白色ナリ。觸角ハ褐色ニシテ黑褐環ヲ有シ基部ハ黃白色ヲ呈ス。大顎ハ褐色ニシテ末端黑褐色ナリ。小顎ハ褐色ニシテ基方ハ鈍白色ヲ呈シ黑褐環ヲ有ス。下唇ハ褐色ナリ。胴部ハ灰白色ニシテ黃褐色小點ヲ密布スルニヨリ一見淡黃褐色ヲ呈ス。各節ニ四五條ノ横皺ヲ有ス。胸部第一節ニハ大小ノ黑縦線ヲ有シ氣門ノ前方ニアル顆瘤ハ黑色ナリ。亞背線列ニハ第三胸節以下毎節ニ多クハ四個ノ黑色ノ短毛塊ヲ有シ其ノ配列ハ

線アリ。額片ノ中央ニ黑縦線アリ。上口片及ヒ上唇ハ黃白色ナリ。觸角ハ褐色ニシテ黑褐環ヲ有シ基部ハ黃白色ヲ呈ス。大顎ハ褐色ニシテ末端黑褐色ナリ。小顎ハ褐色ニシテ基方ハ鈍白色ヲ呈シ黑褐環ヲ有ス。下唇ハ褐色ナリ。胴部ハ灰白色ニシテ黃褐色小點ヲ密布スルニヨリ一見淡黃褐色ヲ呈ス。各節ニ四五條ノ横皺ヲ有ス。胸部第一節ニハ大小ノ黑縦線ヲ有シ氣門ノ前方ニアル顆瘤ハ黑色ナリ。亞背線列ニハ第三胸節以下毎節ニ多クハ四個ノ黑色ノ短毛塊ヲ有シ其ノ配列ハ

左右ニテ多少菱形ヲナス。又此等ノ間ニ當ル背部ハ黃褐色ニ暗色ヲ帶フ。第二胸節背ノ筆狀毛東ハ前方黒クシテ長ク後方短クシテ白色ナリ。又其後方背部ニ一白斑アリ。腹部第八節背ノ筆狀毛東ハ黑白ヲ混ス。側部ニハ點線狀ノ暗黒短線ヲ横ニ或ハ斜ニ不規則ニ有ス。氣門ハ灰色ニシテ黒圈ヲ有ス。腹面ハ暗黒色ニシテ暗黒ノ短毛ヲ密生ス。全體ニ黒毛或ハ鈍白毛ヲ生シ基線列ノ顆瘤ヨリハ比較的長キ毛ヲ生ス。胸脚ハ外側漆黒色ニシテ内側ハ淡黃褐色ヲ呈シ黃灰色短毛ヲ生ス。腹脚ハ暗褐色ニシテ黃白毛ヲ生ス。長サ一寸七八分幅二分六厘許。

五 ヒメカレハ屬 *Epicnaptera*, Rambur.

成蟲 眼ハ有毛ナリ。觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ雄ノ櫛齒ハ可ナリ長キモ雌ニテハ短ク基部ニテハ殆ント鋸齒狀ヲナス。唇鬚ハ前出シテ少シク前頭ヲ超エ密ニ剛毛ニテ被ハル。胴部特ニ腹部ハ密ニ絨毛ニテ被ハル。脚ノ腿脛節ニハ長毛ヲ密生シ中後脚ノ脛節ニハ可ナリ長キ後距ヲ有ス。翅ハ縁邊波狀ヲナシテ特ニ後翅ニ著シ。中室ハ閉鎖ス。前翅ハ長クシテ翅頂尖リ前縁ハ少シク彎曲シ外縁ハ甚シク彎曲シテ第二、三脈間ニ深キ灣入アリ。後縁ハ第二脈ノ内方ニテ辨狀ヲナシ中央ハ可ナリ彎曲ス。第二脈ハ中室ノ基部ニ近ク發シ。第四脈ト第五脈トハ中室ノ後角ヨリ發ス。第六脈ト第七脈トハ短柄ヲ有シ。第九脈ト第十脈トハ長柄ヲ有ス。第八脈ハ中室ノ上角ノ前方ニ密接シテ發ス。十二脈ヲ有シ。第二脈乃至第八脈ハ外縁ニ終リ。第九脈ハ翅頂ニ至ル。横脈ハ少シク彎曲ス。後翅ハ圓クシテ外縁ト後縁トハ弧形ヲナス。モ前縁ノ基部ハ甚シク膨大シテ直角ヲ形成

分布 前印度。スンダ島。東部西比利亞アムール。朝鮮。日本(本州、敦賀)。

シ急ニ終ル、第四脈ト第五脈トハ短柄ヲ有ス、第八脈ハ始メ前縁ノ方ニ彎曲シ次ニ甚シク中室ノ方ニ彎曲シ短キ横脈ニヨリテ第七脈ノ基部ト連接ス、基室ハ廣クシテ之ヨリ二乃至三本ノ副脈ヲ前縁ニ支出ス、横脈ハ殆ント直線ナリ。

卵 短橢圓狀ニシテ少シク扁平ナリ。

幼蟲 圓柱狀ニシテ短毛ヲ生シ上方ニハ之ヲ缺ク、側面ノ毛ハ比較的長シ、側面ノ顆粒ハ單一ニシテ第二第三胸節ニハ著シキ彩色ヲ呈セル裸出裝飾點ヲ有ス、腹部第八節ニハ扁平半球狀隆起ヲ有ス。

蛹 胸背及ヒ尾端ニハ短キ鈎狀剛毛ヲ生シ、腹部ノ全體ニモ同様ノ毛帶ヲ有ス、柔軟ニシテ粉ヲ裝ヒタル繭内ニ存ス。

分布 舊北洲。

種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ一種アリ。

## セ ヒメカレハ

ヒメカレハ 松村松年 續日本千蟲圖解第一。

學名 *Epicnaptera himekaleha japonica*, Leech.

第一圖版第七圖。第六圖第二十七乃至第三十一圖。

成蟲 頭胸部ニハ淡赤褐毛ヲ叢生シテ灰白毛ヲ混ス、眼ハ黑色ニシテ比較的小ナリ、觸角ハ節色ヲ呈ス、唇鬚ハ暗褐毛ヲ生シ末節ノ毛ハ短シ。脚ハ暗紅褐色ニシテ爪ハ暗褐色ナリ。腹部ハ淡

褐色ノ絨毛ニテ被ハル。前翅ハ淡紅褐色ニシテ内横、中横、外横ノ三線ハ皆齒牙狀ヲ呈シテ灰色ナリ、内横線ノ外方ト外横線ノ内方トニ沿ヒテ極メテ淡キ帶紫白帶アルモ顯著ナラス、中室端ニ灰色點ヲ印ス。後翅モ淡紅褐色ニシテ外縁ヨリ後縁ニ互ル一帯ハ多少極メテ淡キ紫白色ヲ帶フ、中横條ハ灰色ナリ。裏面 前翅ハ暗紅褐色ヲ呈シ基部ニハ灰白毛ヲ生シ殆ント翅頂ヨリ後縁ノ中央ニ向ヒ淡色ノ一帯ヲ有ス、後翅ハ帶白暗褐色ニシテ中央部ニハ前縁外縁ニ互リ略三角形ニ暗紅褐色ヲ呈ス又暗色ノ中横條ヲ有ス。體長 雄五分五厘、雌六分。翅張 雄一寸四分五厘、雌一寸五分。

此種ノ成蟲以外ノ形態及ヒ生活史ニツキテハ余未タ之ヲ知ラス、邦産種ハ歐洲産種ニ比シ大形ニシテ彩色モ少シク異レルニヨリリーチ Leech ハ之ヲ變種トセリ、然レハ幼蟲其他ニ於テ或ハ多少ノ差アルヤモ知ル可カラスト雖モ參考ノタメ此等ニツキ歐洲學者ノ歐産種ニツキ記セル所ヲ引用セン。

卵 鵝卵狀ヲナシテ長サ一・五ミメ、廣サ一・一乃至一・一五ミメ、厚サ一・〇ミメ、許ナリ、精孔ヲ有スル端ハ他端ヨリ大ナリ、淡クシテ透明ナル暗色ノ地色ニ陶器様不透明ノ白キ美麗ナル紋理ヲ印ス、鏡檢スレハ精孔ノ周圍ニハ蜂窠狀紋アリ其他ニハ么微ノ毛樣點ヲ密布ス。

幼蟲 頭ハ圓クシテ多少梯形輪廓ヲ有ス、鈍青灰色ニシテ黑色及ヒ淡褐色ノ細毛ヲ密布セルニヨリ天鵞絨狀ノ觀ヲ呈ス、額片ハ橙色ニ黑色ヲ混ス、口器ハ淡赤褐色及ヒ黑色ニシテ觸角ハ基部淡褐色ヲ呈シ單眼ハ大ニシテ黑色ナリ。胸節ハ腹節ヨリ小ニシテ第四五腹節最モ大ナリ、各節ハ明ニ小節ニ區分セラレ、腹節ハ五小節ニ分ル、皮膚ハ鈍青灰色ニシテ天鵞絨黑色及ヒ橙赤色ヲ

點布ス、亞背條ハ橙赤色ニシテ不規則ニ走リ各節ノ接合部ニテ其廣サヲ増シ其所ニ白色ヲ點布ス、赤色ヲ點布セル不明ノ橫帶アリ腹部各節ノ中央ニ近ク見ルヘクシテ背部ヲ通過ス、側部ニハ赤點ヲ混シテ地色一層顯著ナリ、氣門ハ褐灰色ニシテ黒圈ヲ有ス、胸脚ハ黒色ナリ、腹脚ハ天鵞絨黒色ニシテ前後端ニ橙赤色ヲ混ス、腹面ハ天鵞絨黒色ニシテ各節ノ接合部ニ鮮黃條アリ都合八個ヲ數フ、又大小ノ淡色點ヲ彼此ニ印ス、側部及ヒ腹面ノ界ニハ顆粒アリテ長毛ヲ射生シ又中胸ヨリ腹部第七或ハ第八節間ノ各節ノ前後ニハ絹絲様ノ短キ白色絨毛ヲ密生ス、腹面ハ鏡檢セサレハ見エ難キ微小ノ毛ニテ密ニ被ハル、側面ヨリ放射セル毛ハ甚タ長クシテ隆起セル皮膚面ヨリ發ス、第八腹節背ハ少シク隆起シテ暗色ヲ呈ス、中後胸節ノ背部ニハ各鮮明ナル緋色ノ橫橢圓狀斑ヲ有シ深キ橫皺ハ此斑ヲ横キレルニヨリ幼蟲ノ意思ニヨリ其斑ノ面積ヲ増減セシムルコトヲ得ルモノ、如シ但シカレハガノ幼蟲ノ如ク全ク之ヲ隱匿スルコト能ハス、此斑ノ各側ニ天鵞絨様藍黒色ノ短條アリ其後方ニ楔形ノ白點ヲ印ス、緋斑ト白點トノ間ハ殆ント黒色ナリ、腹背ニ於テモ多少胸部ノ狀ヲナスモ淡色ニシテ且亞背線列ノ黒點ヲ飲ク、側背部ハ多數ノ細毛ニテ被ハレ間々長キ黒毛ヲ混ス、體長一寸三分五厘許。

蛹 青黒色ニ淡褐色ヲ加ヘ帶赤白色ノ粉末ニテ被ハル、頭部及ヒ前胸上ニハ多數ノ赤色細毛ヲ生シ顯著ナリ、腹部ニモ同様ノ毛ヲ生スルモ其數少シ。體長六分三厘内外、幅二分七厘内外。一習性經過 蛾ハ主ニ四五月ニ出現ス、晝間ハ前翅ヲ屋狀ニ潰ミ觸角ヲ後ニ横ヘテ靜ニ止マル、此際後翅ノ前縁ハ幾分前方ニ突出シ其後方ハ平ニナリテ宛モ枯葉ノ狀ヲナス。雌雄共ニ晝間ハ靜止スルモ夜ニ至レハ盛ニ飛翔ス、幼蟲ハ七月初旬ニ見ルヘク嗜食植物ハナツハゼ、ハコヤナギ、

エニシダ、ハシバミ、カバノキ等ノ類其他リンゴ、シラカンバ等ナリ、繭ハヨシカレハノモノニ類シ、内部ハ外部ヨリモ上端ハ他ノ部分ヨリモ一層密ニ績カレ其色淡黃又ハ灰白色ナリ。分布 基種歐羅巴。支那。亞種東部西比利亞(アムール)。日本(北海道、本州(富山))。

六 ミヤケカレハ屬 (新屬) Takanaka, gen. nov.

ワイルマン Wileman ハ次ニ記スルミヤケカレハ(新種) Crinoensipada? miyakai トシテ發表シタルモ、此種ハ決シテ該屬ニ編入スヘキモノニアラサルニヨリ新屬ヲ設ク。屬名ハ高嶺ノ和言ニ基キテ之ヲ命シタリ蓋シ此種ノ從來ノ產地ハ日本中部ノ高地ニ限ラレタレハナリ。

成蟲 複眼ハ有毛、雄ノ觸角ハ羽毛狀ヲナス、唇鬚ハ前頭ニ接シ上ニ向フ、第二節最モ長シ。脚ノ腿脛節ニハ長キ軟毛ヲ密生ス、前脚ノ脛節ニハ長キ腓片アリ少シク弓狀ヲナシテ背部ニ軟毛ヲ密生ス、中後脚ノ脛節ニハ短キ一對ノ後距ヲ有ス。前翅ハ短ク廣クシテ前縁ハ少シク弧形ヲナシ外縁ハ少シク波狀ヲナシ後縁ハ少シク弧形ヲナス、第九十脈及ヒ第六七脈ハ共ニ短柄ヲ有ス、第四五脈ハ中室ノ下角ヨリ接近シテ發ス、中室ハ閉鎖シ横脈ハ角ヲナシテ前部ハ後部ヨリ長シ。不完全ナル第一C脈ヲ存ス。後翅ノ前縁ハ中央及ヒ翅頂ノ内方ニテ彎入ス、外縁ハ弧形ヲナシテ波縁ヲ有シ第六脈ト第七脈トノ間ニ著シキ彎入アリ、第八脈ハ第七脈ト縫レテ狭キ基室ヲ形成シ基室ヨリハ前縁ニ向ケ副脈ヲ發ス、第四五脈ハ中室ノ下角ヨリ相接シテ發ス、中室ハ閉鎖シ横脈ハ角ヲナシテ前部ハ後部ヨリ甚タ短シ。

模範種 ミヤケカレハ T. miyakai

分布 日本。  
種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ一種アリ。

### 八ミヤケカレハ (新稱)

學名 *Takana miyakei* Wilman.

第一圖版第三圖。第六圖版第二十二乃至第二十六圖。

成蟲 雄 頭胸腹部ハ暗褐色或ハ茶褐色ニシテ眼ハ黑褐色ヲ呈ス、觸角ハ其軸暗黃褐色ニシテ其枝ハ暗灰色ナリ。前翅暗褐色或ハ茶褐色ニシテ多少赤褐色ヲ混ス、不明暗色ノ彎曲セル内横線アリ其内方基部ハ灰白色ヲ呈ス、外横線ハ黑褐色ニシテ二回彎曲ヲナシ前縁ヨリ外方ニ向ヒテ第八脈ニ至リ内方ニ角ヲナシテ第五脈ニ至リ鈍齒狀彎曲ヲナシテ後縁ニ至ル、外方ニハ鈍白線ヲ伴ヒ其内方ノ翅脈ハ黑色ヲ呈シテ網狀ノ觀ヲ呈シ其地色モ多少暗色ヲ帶フ、亞外縁線ハ鈍白色ニシテ不規則ノ齒狀ヲナス但シ明瞭ナラス、外縁部ハ多少灰白色ヲ帶フ、縁毛ハ暗褐色ニ赭褐色ヲ交互シ恰モ新月點ヲ連續セル外縁線狀ヲ現ハス。後翅モ前翅ト同色ニシテ前縁ノ中央ヨリ第五脈ニ至ル黑褐色アリ其外方ニ新月狀ノ鈍白斑ヲ有ス但シ此斑ハ不明ナルコトアリ、縁毛ハ前翅ニ均シ。裏面ハ表面ヨリモ少シク淡色ナリ、前翅ノ外横線ハ前縁部ニ於テノミ明ナリ、後翅ハ基部ニ鈍白鱗ヲ粉布シ、中横線ハ黑褐色ニシテ多少鋸齒狀ヲナシ前縁ノ略中央ヨリ直ニ第七脈ニ至リ外方ニ角ヲナシテ第五脈ニ至リ内方ニ角ヲナシテ第二脈ニ至ル此線ノ外方ニハ鈍白帶ヲ伴フ又此附近ノ脈ハ多少暗色ヲ呈ス。體長 五分五厘乃至六分。翅長 一寸二分乃至

一寸三分餘。

雌 余未タ之ヲ見ス。

習性經過 蛾ハ六月末ヨリ八月ニ出現ス。

分布 此種ハ今日マテ本州ノ中央高地ニテ採集セラレタルニ過キス、飛騨、小阪千八百八十七年八月十七日名和採。信濃、上高地、千九百八年六月三十日鷹野採。信濃、白馬山、同年七月三日高野採。千九百十年八月下野、日光、三宅採。

### 七カレハ屬

*Gastropacha*, *Ochsenheimer*.

成蟲 前頭ハ長毛ヲ圓錐狀ニ生ス、眼ハ短毛ヲ生ス但シ雌ニテハ殆ント之ヲ缺ク、觸角ハ短クシテ甚シク彎曲シ兩齒狀ヲナセトモ齒ハ長カラズ雌ニテハ特ニ短シ、唇鬚ハ嘴狀ヲナシテ長ク甚シク前出シテ少シク彎曲シ側面ニ扁平ナリ、第三節ハ柔軟ナリ。脚ハ可ナリ長クシテ腿節ニハ長毛ヲ密生ス、胫片ハ雄ニテハ太クシテ廣ク、雌ニテハ狭クシテ短シ、中、後脚ノ脛節ニハ毛ニ隠レタル短キ後距ヲ有ス。胸部ニハ絨毛ヲ密生ス。翅ノ中室ハ共ニ閉鎖ス、前翅ハ長クシテ前縁ハ彎曲シ外縁ハ甚シキ齒牙狀ヲナス、第二、三、四脈ハ殆ント同一ノ距離ヲ保ツ、第五脈ハ第四脈ニ接シテ中室ノ下角ヨリ發ス、第六脈ト第七脈トハ短柄ヲ有ス、第八脈ハ中室ノ上角ヨリ出ツ、往々其基部第六、七脈ノ柄ト癒合シテ共同ノ短柄ヲナス、第九脈ト第十脈トハ長柄ヲ有シ其柄ハ遊離部ヨリ長シ、十二脈ヲ有シ第二乃至第九脈ハ外縁ニ終リ第十脈ハ翅頂ニ至ル。後翅ハ短クシテ廣圓ナリ、前縁ハ甚シク彎曲シ外縁ハ齒牙狀ヲナス、第二脈ハ中室ノ外端ニ近ク發ス、第四脈

ト第五脈トハ短柄ヲ有シ第三脈ト共ニ中室ノ下角ヨリ出ツ第六脈ト第七脈トハ中室ノ上角ヨリ密接シテ發ス第八脈ハ基部ヨリ甚シク彎曲シ長キ斜橫脈ニヨリ中室ノ前縁ト連續シテ廣キ基部ヲ形成ス基部ヲ成セル第八脈ヨリハ四乃至五個ノ強クシテ甚タシク彎曲セル副脈ヲ同脈ノ遊離部ヨリハ一個ノ副脈ヲ前方ニ發ス。

卵 短橢圓狀ニシテ綠色ニ白紋ヲ有ス。

幼蟲 扁平圓柱狀ニシテ第一胸節乃至第七腹節ノ側部ニハ甚タ鞏固ナル指狀ノ瘤起ヲ有シ胸部ノ三個ハ簡單ナルモ腹部ノモノハ長圓錐狀ヲナシテ二分ス前方ノモノハ後方ノモノヨリ長ク特ニ腹部第一二節ニ於テ然リ胸部第二三節ノ背部ニハ深キ橫皺アリ深藍色ノ披針狀刺毛ヲ簇生シテ隨意ニ之ヲ外方ニ展張セシムルコトヲ得腹部第八節背ニハ圓錐狀或ハ鈍頭ノ瘤起ヲ有ス背部ニハ短毛ヲ側部ニハ長毛ヲ生ス。

蛹 黑褐色乃至黑色ニシテ密ニ白粉ヲ裝フ短毛ヲ密生シ尾端ハ圓クシテ剛毛ヲ生ス。多少白粉及ヒ幼蟲ノ刺毛ヲ混セル柔軟ナル橢圓狀ノ繭内ニ存ス。

分布 舊北洲(南方地中海附近ヲ除ク)及ヒ前印度。

種類 舊日本ニ産スルモノ二種アリ其區別ノ要點左ノ如シ。

- 一 全體ハ赭褐色ヲ呈ス カレハガ *G. quercifolia*, L.
- 二 全體ハ黃褐色ヲ呈ス ホシカレハ *G. populifolia*, Esp.

### 九 カレハガ

カレハガ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。同昆蟲分類學上卷。同續日

本千蟲圖解第一。同大日本害蟲全書前篇。長野菊次郎 昆蟲世界第百

三十號。新島善直 森林昆蟲學。深谷徹 實用圖藝植物害蟲驅除法。

高橋獎 果樹ノ害蟲。

カレハテフ 松村松年 日本昆蟲學。同日本害蟲篇。

コノハテフ 佐々木忠次郎 樹木害蟲篇。

カレコノハガ 名和昆蟲研究所第一回全國昆蟲展覽會出品目錄。

カレコノハ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。

學名 *Gastropacha quercifolia* L.

第一圖版 第八圖。第五圖版 第十七乃至第二十圖。第七圖版 第一乃

至第七圖。

成蟲 彩色ニハ多少濃淡アリ從テ紋理ノ判然セルモノト判然セサルモノトアリ。

雌雄 全體赭褐色ニシテ頭部及ヒ胸部ハ多少橙色ヲ帶フルコトアリ。前頭ヨリ中胸背ニ暗色ノ背線ヲ有ス、複眼ハ黑褐色ヲ呈ス、觸角ハ暗黑色ナリ、唇鬚ハ外側及ヒ末節暗褐色ヲ呈ス。脚ハ末方多少黑褐色ヲ帶フ。腹部ハ他ニ比シテ淡色ナリ。前翅ハ赭褐色或ハ暗赤褐色ニシテ前縁部及ヒ後縁部ハ多少濃色ナルカ、羽化ノ始メハ多少紫色ヲ帶フ、亞基線及ヒ內橫線ハ暗褐色鋸齒狀ヲナスモ不明ナルコト多シ、外橫線ハ暗褐色ニシテ略前縁ノ中央ヨリ出テ鈍齒狀ヲナス、亞外縁線モ亦暗褐色ニシテ著シキ鋸齒狀ヲナス、縁毛ハ短クシテ暗褐色ヲ呈ス。後翅ハ前翅ト同

色ニシテ前縁部ハ橙褐色ヲ呈シ其他ハ全ク無紋ナルコトアリ或ハ前縁部ニ於テ亞外縁線ヲ見ルコトアリ縁毛ハ短クシテ暗褐色ニ灰黄色ヲ混ス。裏面ハ表面ヨリモ淡色ニシテ兩翅共ニ暗色ノ亞外縁線ヲ見ルヘク後翅ニテハ前縁部ニ於テ暗色ノ外横線ヲ見ルコト多シ。體長 雄八分乃至一寸。雌一寸一分。翅張 雄一寸三分五厘乃至二寸一分、雌二寸四分五厘乃至二寸六分五厘。

卵 短橢圓狀ニシテ綠色ニ白色紋理ヲ有ス全面ニム微凹點ヲ滿布シ凹點ハム微蜂窠狀紋理ノ中點ニ當ル上面ト下面トノ多少凹メル部分ニ白色環アリ其間ニ二條ノ白帶アリテ漸次左右ニ距離ヲ廣メ球ヲ一週スルニ至ラスシテ此等上下ノ二帶ハ弧形ニ地色ヲ包ミテ相合ス此帶ニ包マレタル左右ノ廣キ綠色部ニ更ニ小白環ヲ有ス一方ノ小白環内ノ綠色部ハ少シク凹ム是珠孔ノ存スル所ナリ此等兩帶ノ成セル圈外ニ白色不正ノ短縱條アリ其形狀ハ一様ナラス或ハ分裂シテ二三個ノ點紋トナルコトアリ。長サ五厘廣サ四厘五毛厚サ四厘許。

幼蟲 扁平ニシテ其彩色ハ棲息セル樹皮ノ彩色ニ適應スルモノナルニヨリ梅桃樹上ニ在ルモノト櫻樹上ニ在ルモノトハ多少其彩色ヲ異ニシ同シ梅桃樹上ニ在ルモノニシテモ地衣ヲ生シタル老幹ニ在ルモノト之ヲ生セサル幼幹ニ在ルモノトニヨリテモ其彩色ヲ異ニス(パウルトン Poulton)ハ是ニ就キテ詳細ノ試驗ヲナセリ故ニ此等ニツキテ悉ク詳細ノ記載ヲナスヘキニアラス唯大體ノ記載ヲナスニ止メン。

全體全ク暗褐色或ハ暗灰色ヲナスカ又ハ此等ニ多少ノ黃褐色ヲ加ヘ一部分ニ蒼白色ヲ混ス、蒼白色ハ多ク第二胸節ノ背部ト腹部第二及七、八、九節ノ側部ニ混スルヲ常トス、但シ此蒼白

ノ部分増加スル時ハ却テ蒼白ノ地色ニ暗黒ノ斑紋アル状態ヲ呈シテ全ク地衣ニ擬フニ至ル是前述ノ地衣ヲ生セル樹幹上ニ見ルモノ、彩色ナリ。通常頭部ニハ黒毛黃白毛等ヲ可ナリ密ニ生シ顛頂片ニハ黒點ヲ散布シテ二三ノ黒斑ヲ有シ額板ニモ黒條ヲ有シ縫合線ハ鈍白色ナリ、單眼ハ餘色ニシテ觸角ハ茶褐色ヲ呈ス、上口片ハ鈍白色ニシテ上唇ハ鉛色ニ鈍白線ヲ有ス、大顯黒褐色、小顯モ黒褐色ニシテ基部ハ鈍白色ヲ呈シ顯鬚ハ淡褐色ヲ帶フ、下唇ハ鈍白色ナリ。胸部ニハ暗色ノ小點ヲ滿布シ此等ハ多少連續シテ網狀ヲナス、各節ニハ五六個ノ横皺アリテ六七小節ニ分ツ、亞背線列ニハ各節ノ後方ニ八字形ノ暗線アリテ其間ニ當ル背部ハ一帯ニ暗黒ナル廣キ背帶ヲ有スル觀アリ、胸部第二、三節背ノ飾斑即チ深キ横皺ノ反轉部ハ黒褐色ニシテ藍紫色ノ刺毛ヲ簇生シ顯著ナリ、腹部第八節背ノ隆起ハ鈍白色ニシテ其基部周圍ハ暗色ヲ帶ヒ又其中央ニ二個相接着セル茶褐色ノ顆疣ヲ有ス、亞背線列ニハ各節多クハ一個或ハ二個ノ顆疣ヲ有シ側線列ニハ多ク一個ノ顆疣アリ又氣門ノ前方及ヒ其下方ニモ顆疣アリテ此等ノ顆疣及ヒ側部下方ノ耳片ヨリハ皆黒色或ハ黃白色ノ短毛或ハ長毛ヲ射生ス、側部ヨリ發スル毛中ニハ末方鱗狀ニ展張セル白色毛ヲ混ス、氣門ハ餘色ニシテ黒圈ヲ有ス、腹部第二節乃至第八節ノ基線列ニ當ル各節間ニハ黃褐色ノ絨毛アリ、胸脚ハ黒褐色ニ多少黃褐色ヲ混シ腹脚ハ暗褐色ノ網狀紋理及ヒ茶褐色ノ短條ヲ有ス、腹面ハ暗黃褐色ニシテ暗點ヲ散布シ各節ノ中央ニハ多ク暗褐色ノ圓斑ヲ印ス、腹脚間ノ此圓斑ニハ短黃白毛ヲ密生ス。十分成長スレハ體長三寸五分餘、幅六分許トナル。

繭 橢圓狀ニシテ兩端多少尖レリ彩色ハ暗灰色、暗褐色、暗黃褐色等種々アリ或ハ此等ヲ混セルコトアリ多少外面ニ幼蟲時代ノ藍紫色刺毛ヲ混ス、長サ二寸乃至二寸五分、廣サ五分乃至六分、厚

サ四分乃至五分。

習性經過 此種ハ一年二回ノ發生ニシテ其出現ノ時期ハ多少不規則ナルモ通常越冬シタル幼蟲ハ四月中下旬ヨリ活動ヲ始メテモモ、ウメ、サクラ、ナシリ、ゴスモモ、アズヤナギ等ノ葉ヲ食ス。幼蟲ハ扁平ニシテ且其彩色棲息セル樹皮ニ適應セルニヨリ容易ニ其所在ヲ發見シ難シ。晝ハ静止シ夜間食ヲ取ル。平常ハ胸部ノ刺毛群ヲ潜メテ之ヲ露出セサルモ他物ニ脅迫セラレ、時ハ

Diagram showing the life-cycles of *Gastropacha quercifolia*.

Year	Month											
	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	June	July	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.
第一年 First Y.						+	+	+	+	+	+	+
第二年 Second Y.						+	+	+	+	+	+	+

表 圖

之ヲ露出シテ防禦的態度ヲ執ル。五月中旬乃至六月上旬ニ互リテ十分成熟スレハ繭ヲ枝上ニ績キ爾後一週間内外ニシテ化蛹シ其後十日前後ニテ羽化ス。コレ第一回ノ蛾ナリ發育不規則ナルヲヨリ蛾ハ六月上旬ヨリ七月四五日ノ頃マテ之ヲ見ルヘク稀ニ五月下旬(二十七日)ニ出現シタルコトアリ就中最モ多キハ六月二十日前後トス。蛾ハ趨光性ヲ有シ静止ノ際ハ前翅ヲ屋根狀ニ疊ミ後翅ノ前縁部ヲ前方ニ出スニヨリ一見枯葉ノ觀ヲ呈ス。蛾ハ羽化後二三日間ニ樹幹樹枝

又ハ葉上ニ平面的ニ産卵ス一雌ノ産卵數ハ三百八十粒許ナリ之ヨリ孵化シタル幼蟲ハ七月下旬乃至八月中ニ互リテ營繭化蛹シ八月中旬ヨリ九月中旬ニ互リテ羽化シ引續キ産卵ス。蛾ハ九月末マテ見ルヘシ此卵ヨリ孵化シタル幼蟲ハ十一月上旬マテ食ヲ取リテ多クハ二回蛻皮ノ後冬眠状態ニ入ル越冬ノ際ニハ體ヲ嗜食植物ノ樹皮ニ密接セシムルカ其彩色殆ント樹皮ト擇フ所ナシ。

分布 歐羅巴、東部西比利亞(アムール)。朝鮮。北東部支那。日本(北海道本州、四國、九州)。

### 十 ホシカレハ

ホシカレハ 松村松年 續日本千蟲圖解第一。

學名 *Gastropacha populifolia*, Esper.

第一圖版 第九圖。第五圖版 第二十一乃至第二十三圖。第七圖版 第十三乃至第十五圖。

成蟲 全體黃褐色或ハ橙褐色ニシテ腹部ハ少シク淡色ナリ。

雌雄 頭部及ヒ胸部ハ黃褐色ニシテ前頭ヨリ中胸ニ互リ暗灰色ノ背線ヲ曳ク。複眼ハ黑褐色ナリ。觸角ハ暗褐色ニシテ基部ハ黃褐色ヲ帶フ。唇鬚モ暗褐色ナリ。脚ハ黃褐色ヲ呈ス。前翅ハ前縁暗褐色ニシテ全面ニ微小ノ暗點ヲ散布シ後縁部及ヒ翅頂部ハ多少橙褐色ヲ呈ス。紋理ハ總テ暗褐色ナリ。亞基線ハ二回彎曲ヲナシテ前縁ヨリ第一脈ニ至ル但シ前方不明ナリ。内橫線ハ前縁ヨリ斜ニ直線的ニ中室ノ後縁ニ達シ第四脈ノ出發點ト第一脈トノ間ニテ二回ノ彎曲ヲナス。



中室端ニ新月紋アリ、二條ノ外、横線列及ヒ一條ノ亞外縁線列ニハ第八脈ヨリ第一脈ノ各脈間ニ新月紋ヲ列ス、此等線列ノ前方ニ當リ少シク内方ニ寄リテ二新月斑及ヒ一暗暈アリ蓋シ此等ハ前三線ノ前部ニ當ル、縁毛ハ短クシテ地色ニ暗色ヲ混ス。後翅ノ前縁部ハ橙褐色ヲ呈ス、二條ノ波狀外横線及ヒ直線ノ亞外縁線ハ皆暗色ニシテ唯前縁部ニノミ此等ヲ見ル、縁毛ハ地色ヨリ濃色ナリ。裏面ハ淡黄褐色ニ多少赭色ヲ帶ヒ後翅ノ前縁基部ハ黄褐色ヲ呈ス、前翅ニハ幽カニ暗色ノ外横線及ヒ亞外縁ヲ見ルヘク後翅ハ略表面ト同様ニテ唯淡色ナルヲ異レトス。體長雄一寸内外。雌一寸二分乃至一寸四分。翅張 雄二寸三四分、雌三寸乃至三寸三分。

卵 カレハガノ卵ニ酷似シ綠色ニ白色帶ヲ有ス大サモ亦殆ント相均シ。

幼蟲 頭部ハ灰黄白色ニシテ微小ノ暗點ヲ撒布ス、觸角ハ白色ニシテ末方褐色ヲ呈ス、上唇ハ脣色ニシテ大顎ハ黒褐色ヲ呈ス。胸部ハ灰黄白色又ハ赭灰色ニシテ微小ノ黒點及ヒ褐點等ヲ滿布ス胸部第二、三節背ノ飾斑ハ内部茶褐色ニシテ深藍色ノ刺毛ヲ簇生ス、腹部ノ各節ハ横皺ニヨリ七、八小節ニ區分セラル、腹部第八節背ノ隆起ハ白色ニ褐色ヲ混シ周圍ハ黒色ヲ呈シ其中央ニ二個ノ相接着セル白色ノ顆疣ヲ有ス、暗灰色ノ亞背線ハ腹部各節ニテハ後方ニ八字形ヲ現ハス、背側面ニハ黒色及ヒ黄白色ノ毛ヲ粗生シテ氣門ノ下方ヨリハ黄白毛ヲ射生シ多少黒毛ヲ混ス、氣門ハ灰黄色ニシテ黒圈ヲ有ス、氣門ノ下方ヨリ生セル腹部第一節及ヒ第八節ノ耳片ハ褐色ヲ帶ヒ第二節ノモノハ灰白色ヲ呈ス、腹部第二乃至第八節ノ基線列ニ當ル各節間ニハ黄褐色ノ絨毛ヲ生ス、腹面ハ黄褐色ニ濃茶褐色ヲ混シテ大理石紋理ヲナス、胸脚ハ暗褐色ヲ呈シ、腹脚ハ黒色ニ黄灰色ヲ混ス、十分成長スレハ體長二寸七八分、幅四五分乃至ル。

繭 橢圓狀ニシテ灰白色ニ多少茶褐色及ヒ暗色ヲ混シ少シク蠟質ノ白粉ヲ裝ヒ深藍色ノ刺毛塊ヲ混ス。長徑一寸八九分、短徑六七分。

蛹 橢圓狀ニシテ頭部胸部ハ帶紫暗褐色ヲ呈シ腹部ハ暗褐色ニシテ第四節以下三節ノ後方關節面ハ褐色ナリ、頭部ヨリ背部全體ニ互リ短キ暗褐色毛ヲ生ス、末節端ニハ鈎狀毛ヲ群生ス。長徑一寸一分、短徑四分。

習性經過 一年二回ノ發生ニシテ其習性經過等ハ略カレハガニ同シ、越冬シタル幼蟲ハ四月ヨリ活動ヲ始メテヤナギヲ食ヒ五月上旬乃至六月中旬ニ互リテ十分成長スレハ繭ヲ枝樑上ニ績キ一週間内外ニシテ蛹化シ一週間内外ヲ經テ羽化スコレ第一回ノ蛾ナリ、蛾期ハ五月中旬ヨリ七月上旬ニ至ル、静止ノ状態等ハカレハガニ同シ、第二回ノ蛾期ハ八月中旬ヨリ十月上旬ニ及フ稀ニ其前後ニ及フコトアリ。

分布 歐羅巴。東部西比利亞、スウリー、アムール。北部支那。朝鮮。日本(北海道、本州、四國、九州)。

### ハリソゴカレハ屬

*Odonestis*, Germar.

成蟲 前頭ハ平滑ニシテ密ニ長キ垂下セル毛ニテ被ハル、眼ハ有毛、觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ雄ノ櫛齒ハ長ク雌ニテハ短シ、齒ハ基部ニテ最モ長ク漸次末方ニ短シ、又後方列ハ前方列ヨリ長シ、唇鬚ハ長クシテ尖リ前頭ヲ超エテ突出シ密ニ鱗ニテ被ハル。胸部及ヒ腹部ハ長毛ヲ密生ス。脚ノ腿脛節ニハ長毛ヲ密生シ特ニ雄ニ於テ甚シ、中、後脚ノ脛節ニハ可ナリ長キ後距ヲ有ス。前翅ハ廣クシテ前縁ハ基方直ニ、翅頂ノ内方甚シク彎曲ス、外縁ハ全ク直線ヲナスカ或ハ波狀又ハ全

線ヲナス、翅頂ハ鋭ク尖ルコトアリ或ハ圓キコトアリ後角ハ鈍角ニシテ後縁ハ殆ント一直線ヲナス、第二脈ハ中室ノ基部ニ近ク發ス、第四ト第五脈トハ密接シテ中室ノ後角ヨリ發ス、第六脈ト第七脈トハ短柄ヲ有ス、第八脈ハ第六、七脈ト共ニ中室ノ前角ヨリ出ツルカ或ハ其前ニ接シテ出ツ第九脈ト第十脈トハ短柄ヲ有ス、十二脈ヲ有シ第二乃至第八脈ハ外縁ニ終リ第九脈ハ翅頂ニ至ル、中室ハ閉鎖シテ横脈ハ彎曲ス。後翅ハ廣卵狀ニシテ前縁ハ多少直ニ基部少シク膨大ス、第二脈ハ中室ノ後角ニ近ク發ス、第三脈ハ中室ノ後角ヨリ發ス、第四、五脈ハ短柄ヲ有ス、第八脈ハ基部ヲ少シク離レテ第七脈ト小部分縫レ狭小ナル基部ヲ形成ス、基部ヨリ前方ニ一本ノ強キ副脈ヲ發ス、中室ハ閉鎖シテ横脈ハ角ヲナシ前方ノ直線部ハ後方ノ弧線部ヨリ短シ。從來知ラレタル此屬ノモノハ悉ク鮮明ナル赤褐色、橙色又ハ橙黃色ヲ呈シ前翅ノ中室端ニ銀白紋ヲ印シ濃色弧形ノ内横線、外横線及ヒ不整波狀ノ亞外縁線ヲ有ス。

卵 短橢圓狀ニシテ白堊樣色澤ヲ有ス。

幼蟲 扁平ニシテ分裂セサル耳片ヲ側部ニ有ス此モノハ胸節ニテ最モ發育ス、背部ニ短毛ヲ側部ニ長軟毛ヲ生ス往々羽毛狀ニ分枝セル毛ヲ有ス、腹側ハ總毛ニ代フルニ圓點ニ排列セル多數ノ小總毛ヲ有ス、此等ハ恰モ微狀ヲ呈ス胸部第二節背ニ飾斑アリ披針狀ノ刺毛ヲ群生ス、第八腹節背ニハ半球狀ノ隆起ヲ有ス。

蛹 頭部及ヒ胸背ハ短キ剛毛ニテ被ハレ腹部ニハ短剛毛帶ヲ有シ末節端ニ短剛毛ヲ群集ス。橢圓狀繭内ニ存ス。

習性 幼蟲ハ果樹及ヒ森林植物ノ葉ヲ食フ、成蟲ハ趨光性ヲ有ス。

分布 舊北洲及ヒ東洋洲ニ分布ス但シ舊北洲ニハ唯二種ヲ産スルノミ一種ハ歐洲ヨリ亞細亞ニ通シテ産シ一種ハ唯亞細亞ノ東方ニノミ産ス。

種類 舊日本ニ産スルモノ二種アリ。

- 一 前翅ノ外縁ハ少シク波狀ヲナス リンゴカレハ *O. pruni*, L.
- 二 前翅ノ外縁ハ眞直ナリ アカカレハ *O. previvennis*, Butler.

### 十一 リンゴカレハ

リンゴカレハ 松村松年 續日本千蟲圖解第一。

ギンボシアカバ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。

リンゴシラホシ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。同、大日本害蟲全書前篇。

學名 *Odonestis pruni*, L.

第一圖版 第十圖。第四圖版 第一乃至第三圖。第七圖版 第八圖乃至

第十二圖。

成蟲 雌雄、頭部及ヒ胸部ハ赤褐色或ハ橙褐色ナリ、眼ハ黒褐色ニシテ後半ニ黃褐ノ短毛ヲ生ズ。脚ハ橙褐色ニシテ絨毛ヲ密生ス。腹部ハ淡赤褐色ナリ。前翅ハ橙褐色ニシテ内横線ハ濃紅褐色弧形ヲナス、中室端ニ銀白色ノ弦月紋アリ紅褐色線ニテ圍マル、外横線モ濃紅褐色ニシテ弧狀ヲナシ前縁ヨリ發シテ殆ント後縁ノ中央ニ至ル、亞外縁線ハ紅褐色ニシテ前縁ヨリ第五脈マデ内方ニ曲リテ弧形ヲナシ再ヒ外方ニ曲リ多少鋸齒狀ヲナシテ後縁ニ終ル、此線ト外横線ト

ノ間ハ多少紅色ヲ呈シテ時ニ帶狀ヲ現ハスコトアリ。翅頂部ヨリ外縁ニ沿ヒテ茶褐色ヲ帶ブ。縁毛ハ茶褐色ナリ。後翅ハ前翅ヨリ少シク淡色ニシテ無紋ナルコト多キモ或ハ幽カニ紅褐色ノ外横條ヲ見ルコトアリ。縁毛ハ褐色或ハ茶褐色ナリ。裏面ハ淡橙色ニシテ多少赭褐色ヲ混シ。濃紅褐色ノ外横條及ヒ亞外縁線ヲ見ル但シ後者ハ顯著ナラス。前翅ノ基部及ヒ翅頂部ハ多少灰褐色ヲ帶ヒ、後翅ノ基部ハ濃紅褐色ヲ帶ヒテ其他一面ニ紅褐色ヲ混ス。體長 雄七分乃至八分四厘、雌八分乃至八分五厘。翅張 雄一寸五分乃至一寸九分、雌二寸二分乃至二寸四分。

卵 短橢圓狀ニシテ白堊様白色ヲ呈シ灰色ノ中央點ヲ有ス。産卵ノ際ハ綠色ナルモ忽チニシテ少シク青色ヲ帶ヘル白堊様白色トナリ後ニハ全ク鈍白色トナル。徑八九厘許。

幼蟲 色彩紋理ニハ多少ノ變化アリ。頭部ハ灰色ニシテ暗灰色ノ小點ヲ密布シ灰色毛ヲ生ス。特ニ前方ヨリハ長毛ヲ生ス。單眼ハ黒褐色ヲ呈ス。口器ハ多ク暗褐色ナリ。胴部ハ暗青灰色又ハ淡茶褐色ニシテ朦朧ナル黄灰色又ハ暗褐色ノ背線、亞背線、側線、氣門上線、氣門線ヲ見ルヘシ此等ノ線ハ多少波狀ヲナス。各節ノ後方ニハ亞背線列ニ一個ノ灰白斑ヲ有ス。胸部第二節ノ飾斑ハ紫色ノ刺毛ヲ生ス。各節ハ三四ノ横皺ニヨリテ四五ノ小節ニ區分セラル。第八腹節背ニ瘤狀隆起アリ。體ノ背側面ニハ暗色及ヒ淡褐色ノ短毛ヲ生シ胸部第一節ノ氣門線上ノ顆疣ヨリハ左右ニ黒色ノ長總毛ヲ生ス。氣門下ニハ縦皺ヲ有シテ灰色及ヒ灰褐色ノ軟毛及ヒ羽狀軟毛ヲ密生ス。氣門ハ黄白色ニシテ黒圈ヲ有ス。胸脚ハ黒色ニシテ末方褐色ヲ帶フ。腹脚ハ帶綠黃褐色ニシテ暗黒斑ヲ有ス。尾脚ハ比較の後方ニ突出ス。腹面ハ多少白色ヲ帶ヒテ中央ハ暗黒色ヲ呈ス。十分成長スレハ體長二寸餘ニ及フ。

繭 紡錘橢圓狀ニシテ黄色ヲ呈シ多少赭褐色ヲ混ズ。長徑一寸四分、短徑五分許。

蛹 帶紫赭褐色ニシテ鈍頭紡錘狀ヲナシ腹部第四節以下三節ノ後方關節面ハ赤褐色ヲ呈ス。長徑一寸餘、短徑三分餘。

習性經過 一年二回ノ發生ニシテ越冬シタル幼蟲ハ四月頃ヨリ活動ヲ始メクヌギ、リンゴ、ナシ等ノ葉ヲ食フ。歐洲ニテハ此外ボダイジュ、ニレ、カバ等ヲ食フトイフ。五月中旬乃至六月上旬ニ亘リテ十分ニ成長スレハ管繭シテ二三日ノ間ニ化蛹シ。蛹期略二週間内外ヲ經テ羽化ス。第一回蛾期ハ六月上旬ヨリ七月中旬ニ至ルモ最多キハ六月中旬ナリ。雌蛾ハ百七八十粒ノ卵ヲ産ス。卵期ハ十日内外ナルヲ以テ此等ヨリ孵化シタル幼蟲ハ多ク六月下旬乃至七月上旬ニ見ルヘク。第二回ノ蛾期ハ八月上旬稀ニ七月下旬ヨリ九月下旬或ハ十月上旬ニ至ル。此等ニヨリテ産セラレタル卵ハ其年ニ孵化シ幼蟲ノマ、越冬ス。

分布 歐羅巴(英國ニハ産セス)東部西比利亞西部支那。日本北海道本州九州四國。

## 十二 アカカレハ

アカカレハ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。  
學名 *Odonastis breviventis* Butler

余ハ未ダ此種ヲ手ニセサルニヨリ歐洲學者ノ記スル所ニ從ハン。

バットラー Butler ノ原記載ニ據レハ

成蟲 リンゴカレハ *O. pruni* ニ酷似ス。レトモ前翅ノ亞前縁又 *furca* ハ甚タ短シ。翅ノ外縁ハ波狀

ハレカカア 圖三第  
(圖原ヒルベーンルグ)



Fig. 3. Odonestis brevivenis.  
After Grunberg.

ヲナナス。表面ハ銅赤色。前翅ノ基方ニテ中脈ノ間ハ一層黃金色ヲ呈ス。中央部ハ他ノ部ヨリ少シク淡色ナリ。二條ノ少シク弧形ヲナセル暗線ニヨリテ横ニ内方ヲ限ラル。中室端即チ翅ノ中央ヨ

リ前ニ一ノ卵形銀白ノ大點ヲ有ス。肩板 (tegulae) ハ帶黃銅色ナリ。裏面ハ表面ヨリ淡色ナリ。但シ頭部、唇鬚、觸角、胸部、腹面ノ前方及ヒ前脚ハ暗赤褐色ナリ。前翅ノ外横線ハ廣クシテ後翅ヲ通シテ横キレリ。翅張四二(ミメ)。日光(ブライヤー採集)。

グリンベルビ (Grunberg) ノ記スル所ハ次ノ如シ。

成蟲 [リンゴカレハヨリ] 少シク小形ニシテ前翅ノ外縁ハ全縁ニシテ真直ナリ。鮮ナル赤褐色ニシテ室端點ハ小ナリ。中横帯ハ第六脈ノ上方ニテ強ク彎曲シテ不規則ナリ。雄ノ前翅ハ外縁ニ沿ヒ暗色ヲ呈ス。ザイツ博士 (Zits) ハ往々此種ヲ支那ニテ飼育シテ次ノ記載ヲナシタリ。

幼蟲 ハ其形狀カレハガノ幼蟲ノ半ハ生育シタルモノニ類似シ。灰色ヨリモ寧ろ褐色ヲ呈ス。二ツノ短キ束毛ハ頭ノ兩側ヲ過キテ前方ニ出ツ。胴部ハ側部ヨリ下方ニ向ヘル。總毛ヲ生シ。第二節ニ一ノ黒キ

切込アリテ紫藍色ノ二毛叢ヲ有ス。第八節ニハ鞍狀ノ褐斑アリ。第十一節ニハ圓錐狀ノ突起アリ。落葉樹特ニ低キ灌木ニ棲息ス。紙様ニテ白色寧ろ粉ヲ装ヘル。繭ヲ續キテ化蛹ス。蛹 ハ短大ニシテ黒褐色ナリ。蛾期ハ七月ヨリ八月ニ至リ。蛾ハ秋ニ於テ南方支那ニ普通ナリ。

分布 東方亞細亞。支那。日本、北海道(函館、六月)本州(日光)。

九 マツカレハ屬 Dendrolimus, Germar.

成蟲 前頭平滑ニシテ毛ヲ密生ス。眼ハ有毛或ハ裸出ス。觸角ハ兩輪齒狀ニシテ雄ノ輪齒ハ長ク雌ニテハ短シ。唇鬚ハ長ク廣クシテ著シク前頭ヲ超過シ。毛及ヒ鱗ヲ密生ス。胸部及ヒ腹部ハ密ニ毛ヲ被リ。腹部ハ雄ニテ圓錐狀ヲナス。雌ニテハ圓柱狀ヲナス。脚ノ腿、脛節ハ長キ絨毛ヲ密生シ。附節ニハ鱗ヲ有ス。前脚ノ脛節、腓片ハ廣シ。中、後脚ノ脛節ニハ長キ或ハ短キ一對ノ後距ヲ有ス。前翅ハ廣長ニシテ翅頂ハ少シク圓ク。前縁ハ中央ヲ過キテ彎曲ス。外縁ハ可ナリ彎曲シ少シク波狀ヲナス。カ或ハ全縁ナリ。第四及ヒ第五脈ハ共ニ中室ノ後角ヨリ出テ第六脈ト第七脈トハ短柄ヲ有ス。第八脈ハ中室ノ前角ヨリカ或ハ是ニ密接シテ出ツ。第九脈ト第十脈トハ短キ或ハ長キ短柄ヲ有ス。十二脈ヲ有シテ第二乃至第八脈ハ外縁ニ終リ。第九脈ハ翅頂ニ至ル。カ或ハ外縁ニ至ル。後翅ハ廣圓ニシテ前縁ハ殆ント或ハ全ク一直線ヲナス。外縁ハ少シク波狀ヲナス。カ或ハ全縁ナリ。第四脈ト第五脈トハ短柄ヲ有シテ中室ノ後角ヨリ出ツ。第八脈ハ基部ヲ過キ一點ニテ中室ト

卵 橢圓狀

幼蟲 多少扁平ニシテ長キ軟毛ヲ生シ。耳片ハ胸部ニ著シクシテ腹部ニテハ少シク發育ス。第二、第三胸背ニ深キ横皺アリテ紫藍色ノ刺毛ヲ簇生ス。腹部ノ背上ニハ顆疣ヲ有シテ毛ヲ射生シ又其第八節背ニハ一瘤ヲ有ス。

蛹 肥大ニシテ短キ毛ヲ列生シ其末端ニ鈎狀ノ短剛毛ヲ群生ス刺毛ヲ附着セル橢圓狀ノ繭内ニ存ス。

習性 幼蟲ハ松杉科植物又ハ森林樹木ノ葉ヲ食ヒ成蟲ハ趨光性ヲ有ス。

分布 歐羅巴(英國ヲ除ク)。南亞非利加。印度。支那。日本。

種類 從來知ラレタル舊日本産ノモノ三種アリ是ニ一新種ヲ加フレハ四種トナル尙本報告ニ於テ此屬ノモノト思ハル、琉球産ノ新種一ヲ發表ス。

從來日本産トシテ記載セラレタル此屬ノモノハ數種アリト雖モ多數ハ異名ニ過キサレニヨリ之ヲ整理スレハ結局次ノ三種ニ歸ス。尙歐洲産マツカレハ *D. pini* カ日本ニ産スルカ否カニツキテハ疑アルニヨリ之ヲ省ク。

マツカレハ *D. spectabilis*, Butler.

ツガカレハ *D. superans*, Butler.

クヌギカレハ *D. undans*, walk. var. *excellens*, Butler.

就中クヌギカレハニ就キテハ著シキ特徴アルニヨリ他ト混スル恐ナシト雖モマツカレハトツガカレハトハ個體ニヨリテ彩色紋理ノ變化甚シキニヨリ多數ノ異名ヲ生シタルノミナラス彼此相混シタルコト少カラス故ニ此等ノ變遷ヲ略記スヘシ。

リーチ Leech ハ千八百八十八年ニ此等二種ヲ次ノ如ク整理シタリ。

マツカレハ *Euricha remota*, Walker.

異名 *Lebeda hebes*; *Oeona segregata*; ♀ *Oeona dolosa*.

ツガカレハ *Euricha pini*, L.

異名 *Odonestis superans*; *Euricha fentoni*; *E. zonata*; *O. E. dolosa*.

然ルニ千八百八十八年彼ハ此等二種ニツキ多數ノ標本ヲ比較スル時ハ其間ニ連絡アリトテ此等ヲ一種ト認定シ次ノ如ク整理シタリ。

*Dendrolimus pini*, L.

異名 *Oeona punctata*; *Lasiocampa remota*; *Lebeda hebes*; *Odonestis superans*; *Oeona spectabilis*;

*O. segregata*; *Euricha dolosa*; *E. fentoni*; *E. zonata*.

千九百二年ニ佐々木忠次郎ハ *Odonestis superans* ヲ以テマツムシニ充テ *Bombyx pini* ヲツガケムシガトシタリ。千九百五年ニダイア―Dyar ハ本邦産ノ松毛蟲ト歐洲産ノ *B. pini* トノ幼蟲ヲ比較シテ此等ガ相違セルコトヲ述ベタリ。千九百十一年ニ矢野宗幹ハ幼蟲及ビ紋理ノ相違ニ基ツキテ次ノ如ク整理シタリ是從來ノ研究中最モ根柢アルモノナリ。

マツカレハ *Dendrolimus remota*, Walker.

異名 *hebes*; *segregata*; *spectabilis*; *zonata*.

ツガカレハ *Dendrolimus pini*, L.

異名 *Punctata*; *Superans*; *dolosa*; *fentoni*.

同年ニグルンベルヒ Grunberg ハ邦産種トシテ次ノ三種ヲ數ヘタリ。

*D. pini*.

*D. superans*. 異名 *spectabilis*.

*D. segregatus*, 異名 *dolosus*, *zonatus*, *fontoni*.  
千九百十五年ニ矢野ハ再ヒ邦産種ヲ次ノ如クスルヲ至當トセリ。

マツカレハ *D. segregatus*, Butler.

ツガカレハ *D. superans*, Butler.

尙ホ彼ハ *D. piei* カ果シテ本邦ニ産スルヤ否ヤニツキテ疑ヲ存セリ。

余カ數年來ノ研究ノ結果モ亦殆ント右ニ一致スルモノナレトモ學名ニツキテハ變更スヘキ必要アリ。グルンベルヒハスペクタビリス *spectabilis* ヲ以テツガカレハノ異名トスレトモ余ハ飼育ノ結果マツカレハノ幼蟲ヨリ此形ノモノヲ得タルノミナラス其紋理モ亦一致スル點アルニヨリ此名ハ正シクマツカレハニ當ツヘキモノナリ。然ルニ此名ハセグレガーター *segregata* ト同時ニ發表セラレタレトモ記載ノ順序上後者ニ先ンセルニヨリマツカレハノ學名ハ宜シクスペクタビリスヲ以テ正當トセサル可カラズ。然シ之亦他日變動ヲ見ルヤモ計ル可カラズ。リーチ *Leech* ハ始メプンクター *punctata* ヲ省ケルカ後ニハレモーター *remota* ト共ニ之ヲビニ *Piei* ノ異名トセリ。グルンベルヒハプンクター *punctata* ヲ獨立種トシレモーター *remota* ハ之ガ一形ナラシカトノ疑ヲ挾メリ。リーチノ最初ノ意見ニヨレハマツカレハノ學名カレモーター *remota* ニ當レリ。プンクター *punctata* ニ就キテハ如何ニ考思シタルカヲ知ラスト雖モ後ニ之ヲビニニ合併セルコトヲ考フレハ酷似セルコトハ明ナリ。グルンベルヒノ圖ニツキテ見レハプンクター *punctata* ハ或ハマツカレハト同一ナラサルヤノ感アリ。然ラハレモーター *remota* モ亦多分同一ナルヘキ理由アリ。果シテ此ノ如シトセハマツカレハノ學名ハプンクター *punctata* トセサル可カラサルニ至ル。然レト

モ此問題ハ其等ノ模範標本ヲ見サレハ決定シ難キコトナルニヨリ余ハ今日ニ於テ此等ヲ次ノ如ク整理スルヲ至當ト信ス。

マツカレハ *D. spectabilis*, Butler.

異名 *? punctata*; *? remota*; *segregatus*; *zonatus*.

ツガカレハ *D. superans*, Butler.

異名 *fontoni*; *? dolosa*.

グルンベルヒハフエントニーヲ以テマツカレハノ異名トセルモバツトラノ原記載ニ中室ノ直ク外方ニ在ル線カニ回彎曲セリトアルハ此種ニ當ルニヨリ之カ異名トスルヲ適當ナリト信ス。

尙此等二種ノ區別ニツキテハ三要點アリ。檢索ノ條下ニ擧ク。此外日本産トシテ記載セラレタルモノニフラベオラー *flavola* アリ。モツツルスキー *Motschulsky* ノ簡單ナル原記載ニヨレハグルンベルヒモ言ヘルガ如ククヌギカレハノ一形カト思ハル果シテ然ラハ年代ノ關係上ヨリ此名カエツキスケレンス *excollens* ニ代ハサル可カラサルニ至ル。然レトモ個ハ模範標本カ又ハ精確ナル圖等ノ存セサル限り其記載文ノミテハ是非スル能ハサルヲ憾ム。又一面ヨリ之カ今回新種トシタルヤマダカレハニ當ラサルカノ疑ナキニシモアラス。然シコレ亦彼ノ簡單ナル記載ニテハ如何トモ判スルコト能ハス。故ニ此モノハ今日之ヲ不問ニ附スルヨリ外ナシ。

右ハ從來舊日本産トシテ知ラレタルモノナルカ千九百十五年ノ七月、アーク燈ニテ採集シタル此屬ノモノニ一新種アリ。全體黃白色ニシテ無紋ナリ。其形態ハマツカレハニ似タルニヨリ

最初ハ之ガ白化現象ヲ呈シタルモノナラントノ疑ヲ抱キシト共ニ余ハ個體ノ變化ニ對シ變形的名稱ヲ附スルコトノ或ル場合ニ全ク無意味ナルコトヲ信スルヲ以テ數百頭ノマツカレハノ標本ヲ點檢シタリ然レトモ一頭タモ此ノ如キ黃白色ヲ混スルモノナキヲ以テ此モノニ連續スヘキ個體ヲ見ルコト能ハサリキ故ニ止ムヲ得ス當分之ヲ新種トナシ更ニ他日ノ精査ヲ待タント欲ス從テ舊日本産ノモノハ都合四種トナル此等ノ檢索ハ次ノ如シ。

A 前翅ニ顯著ナル黃褐帶ヲ有ス。

クヌギカレハ *D. undans*, excellens.

B 前翅ニ顯著ナル黃褐帶ヲ有セス。

a 全體黃白色ヲナス。

ムチカレハ *D. ochroleucus*, sp. n.

b 全體黃白色ヲナサス。

a<sup>1</sup> 前翅ノ第九脈ハ翅頂ニ第十脈ハ前縁ニ終ル。中横線ハ外方ニ弧形ヲナシテ唯一回彎曲ス。亞外縁線列ノ新月狀斑點ハ第七脈乃至第四脈間ノ三點カ後縁ニ對シテ斜ニ一直線上ニ位シ第四脈乃至第一。脈間ノ三點ハ前者ヨリ外方ニ位シテ是亦斜ニ一直線上ニ在リ。マツカレハ *D. spectabilis*.

b<sup>1</sup> 前翅ノ第九脈ハ外縁ニ第十脈ハ翅頂ニ終ル。中横線ハ外方ニ弧形ヲナシ中央ニテ内方ニ彎入スルニヨリ結局二回ノ彎曲ヲナス。亞外縁線列ノ新月狀斑點ハ後縁ヨリ第三脈間ノ三點カ後縁ニ對シテ殆ント垂線上ニ位ス。ツガカレハ *D. superans*.

### 十三 マツカレハ

マツカレハ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。同昆蟲分類學。同 續日

本千蟲圖解第一。同大日本害蟲全書。矢野宗幹。動物學雜誌第二百六十七號。同同上第三百二十一號。牧茂市郎。林業試驗場特別報告(臺灣)第一。青森縣立農事試驗場成績第十三號。

マツケムシ 松村松年 日本昆蟲學。牟田五郎。大日本山林會報第三百三十六號。廣島縣農事試驗場報告第四號。高橋嘉治郎。大日本山林會報第三百九十一號。

マツノケムシ 松村松年 日本害蟲篇。

マツケムシテフ 佐々木忠次郎 日本樹木害蟲篇。

マツノケムシガ 名和昆蟲研究所 第一回昆蟲展覽會出品目錄。

マツカハマダラ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。

マツケムシガ 新島善直 森林昆蟲學。

學名 *Dendrolimus spectabilis*, Butler.

異名 *D. segregatus*; *D. zonatus*.

第一圖版 第十一乃至第十四圖。第四圖版 第八乃至第十一圖。第七圖版 第十六乃至十八圖。

成蟲 彩色及ヒ紋理ハ個體ニヨリ甚シキ差異アリ前翅ハ褐色赤褐暗褐色或ハ黑褐色ヲ呈シ甚シキハ灰白色ヲ呈シ是ニ白色淡褐色茶褐色黑色等種々ノ線條ヲ有シ後翅ハ前翅ヨリモ淡色ナ

リ、一般ニ頭部ト胸部トハ前翅ト同色ニシテ腹部ト後翅トハ略同色ナリ。今多數ニ見ル紋理ノ顯著ナルモノニツキテ記載セン。

雄 頭部及ヒ胸部ハ暗褐色ヲ呈シ肩板ノ邊緣及ヒ後胸ノ後緣ハ多少鈍白毛ヲ有ス、複眼ハ黒褐色ナリ、觸角ハ鈍黃褐色ナリ。脚ハ暗褐色ニシテ附各小節ニハ灰黃白色ノ環ヲ有ス。腹部ハ茶褐色ナリ。前翅ハ暗褐色ニシテ鈍白鱗ヲ混シ前緣ハ茶褐色ヲ呈ス、中室ヨリ前緣ニ至ル一部ハ鈍白色及ヒ赭褐色ヲ混ス、中室端ニ白色ノ内點アリ、中橫線ハ暗色ニシテ小齒狀ヲナシ前緣ヨリ第六、五脈ノ間マテ殆ント直線的ニ走り内方ニ角ヲナシテ後緣ニ至ル即チ一回ノ彎曲ヲナス、此線ノ内方ニ白條ヲ伴フ、外橫線モ亦暗色ニシテ鋸齒狀ヲナシ外方ニ白條ヲ伴フ、亞外緣線列ニハ黒褐色ノ新月狀斑點ヲ列ネ第十脈乃至第四脈間ノ六點ハ弧形ニ配列シ就中第七脈乃至第四脈間ノ三點ハ殆ント斜ニ一直線上ニ在リ第四脈乃至第一脈間ノ三點ハ前者ヨリ外方ニ位シテ是亦斜ニ一直線上ニ位ス第一脈ト後緣トノ間ニアル一點ハ後方ニ向フ、此等斑點列ノ内方ニハ白色ノ斑列ヲ伴フ、又此列ト外橫線トノ間ハ茶褐色ヲ呈シテ帶狀ヲナス、緣毛ハ地色ニ白色ヲ混シ基部ヲ通シテ黃褐色ヲ走ラシム。後翅ハ茶褐色ニシテ前緣部ハ幾分カ淡色ヲ呈シ灰白色ノ外橫條アリ前方ニテハ不明ナリ、緣毛ハ地色ニ鈍白色ヲ混シ基部ヲ通シテ黃褐色線ヲ有ス。裏面ハ淡褐色ニシテ暗色ノ外橫線ト斑點列様ノ亞外緣帶トヲ有シ前翅ノ基部ハ多少暗色ナリ。以上ハ紋理ノ顯著ナルモノナルカ前翅ハ時ニ白色ノ部分ヲ甚シク増加スルコトアリ又白色ノ部分ヲ減シテ唯室端點ト外橫線ノミ白色ヲ呈スルコトアリ或ハ室端點ヲ除クノ外全ク白色ヲ缺クコトアリ此ノ如キ場合ニハ亞外緣線ノ内方ハ殆ント一樣ニ褐色ニシテ其外方ハ暗褐色ヲ

呈スルコトアリ或ハ其褐色部ニ暗褐色ノ中橫帶(中橫線ト外橫線トノ間ノ地色ノ濃クナリテ)ヲ表ハスコトアリ(第一圖版第十二圖其他多少ノ變化ハ殆ント個體毎ニ之ヲ見ルヘシ。後翅ハ外橫線ヲ缺クコトアリ。體長七分五厘乃至一寸一分。翅張一寸六分乃至二寸二分。

雌 雄ト大同小異ナルモ體軀遙ニ大ニシテ頭部胸部及ヒ前翅ハ一般ニ暗褐色又ハ黒褐色ヲ呈シ特ニ前翅ハ白色鱗ヲ粉布スルコト著シ。後翅ハ一樣ニ黃灰色或ハ煤色等ヲ呈スルカ往々其外緣部ニ鈍白鱗ヲ粉布スルコトアリ。雌ノ紋理モ亦種々ニ變化スルコト大略雄ニ於ケルカ如ク暗色ヲ加フルノ甚シキモノニ至リテハ前翅ノ全體殆ント黒褐色ニシテ唯黑色ヲ呈セル亞外緣線列斑ノ内方ニ僅ナル白斑列ト狹キ褐色部トヲ伴フニ過キサコトアリ(第一圖版第十四圖體長八分五厘乃至一寸二分五厘。翅張二寸一分乃至二寸九分。

卵 橢圓狀ニシテ淡綠色ヲ呈シ一半ハ紅色ヲ帶フ表面ニム微凸刻アリ精孔ハ綠色部ニ存ス。長徑六厘短徑四厘弱。

幼蟲 頭部ハ茶褐色ニシテ多少暗褐色ヲ混シ灰白毛ヲ生ス兩顛頂片ノ界ニ灰白線ヲ有ス額片ノ中央ニハ暗色縱線アリ、觸角ハ赭褐色ニシテ末端ハ灰白色ヲ呈ス、上唇ハ暗色ニシテ灰白線ヲ有ス大顎ハ黒褐色ナリ、小顎ハ鈍白色ニシテ茶褐色ヲ混シ顯鬚ハ茶褐色ナリ、下唇ハ鈍白色ヲ呈ス。胴部ハ各節多ク五條ノ橫皺ヲ有シ其色暗黒ニシテ胸側ニハ多少赭褐色ヲ混シ側線列ニテハ腹部第四乃至第七節ノ各節ニ一個ノ大理石狀鈍白斑ヲ有シ氣門上線ハ鈍白色ニシテ大理石紋理ヲナシ。氣門ノ周圍モ多少鈍白色ノ大理石狀紋理ヲ呈ス然トモ通常背側面ニハ鈍白或ハ黃褐色ノ鱗ヲ密布セルニヨリ胴部ノ外觀ハ灰白色或ハ黃褐色ヲ呈シテ多少絹絲光澤ヲ有シ是



ニ暗黒點ノ混セルカ如キ狀ヲ呈ス、或ハ胸節ノミニ灰白鱗ヲ有シテ其他ニ黃褐鱗ヲ有スルコトアリ、鱗ハ扁平ニシテ披針狀ヲナシ長徑〇・六五乃至〇・七八ミ、短徑〇・一乃至〇・一三ミ、位ナリ鏡檢スレハ淡黃或ハ灰白色ニシテ微小ノ縱線ヲ有ス、胸部第二三節背ニ深キ横皺アリテ藍黑色ノ刺毛ヲ簇生ス、刺毛ハ針狀ヲ呈シ首部少シク縱レ長サ二ミ、メ乃至一三ミ、メアリ、腹部第八節背ハ少シク隆起ス、氣門ハ黃褐色ニシテ黒圈ヲ有ス、基線列顆瘤ハ淡黃白色ニシテ暗點及ヒ褐點ヲ散布ス、腹面ハ黃白色ニシテ腹帶ハ茶褐色ナリ、胸部ハ黒褐色ニシテ末端褐色ヲ呈ス、腹脚尾脚ハ共ニ黃白色ニ褐點ヲ散布シテ暗條ヲ有シ鈎環ハ黒褐色ナリ、亞背線列ヨリハ黒色ノ長毛及ヒ鱗狀毛ヲ生シ其他側部ヨリハ黒色ノ長短毛ヲ散生シ氣門線列ノ下方ニハ灰白色軟毛ヲ比較的密生シ基線列ノ顆瘤ヨリハ灰白毛褐毛黒毛等ヲ射生ス、十分成長スレハ長サ二寸八九分幅四分内外ニ至ル。

繭 橢圓狀ニシテ灰白色又ハ淡茶褐色ヲ呈シ往々此等ノ兩色ヲ混ス各部ニ幼蟲ノ刺毛ヲ附着シ暗斑狀ヲナス、長徑一寸四分乃至一寸六分餘、短徑四分五厘乃至六分。

蛹 橢圓狀ニシテ紫褐色或ハ赭褐色ヲ呈シ腹部ニハ微小凹點ヲ密布ス特ニ背部ニ於テ著シ氣門線ハ黒色ヲ呈シテ少シク昂起ス頭部胸背及ヒ腹部ニハ黃褐色ノ短毛ヲ横ニ列生ス第四乃至第六腹節ノ後方關節面ハ赤褐色ヲ帶フ、長徑一寸二三分、短徑四分内外。

習性經過 一年ニ一回發生スルコト普通ナレトモ又二回發生スルコトアリ一回發生ノ場合ニハ越冬ノ幼蟲四五頃ヨリ其蟄伏ノ場所ヲ出テ、活動ヲ始メマツノ葉ヲ食ヒ七月ニ至リ十分成熟スレハ繭ヲ枝上又ハ葉間ニ營ミテ化蛹シ七月中旬乃至八月上旬ニ羽化ス蛾ハ羽化後二三

日ノ間ニ松葉又ハ枝極上ニ産卵ス一雌ノ産卵數ハ三百粒内外ナリ、卵ハ一週間以内ニ孵化シ幼蟲ハ十一月中下旬マテ食ヲ取リ氣候ノ寒冷ナルニ隨ヒ樹梢枝極等ヲ辭シテ多クハ幹ノ基部ニ降り粗皮間又ハ落葉間其他被覆物アル場所ニテ越冬ス。コレ一般ニ見ル所ナリ然ルニ此種ノ

Diagram showing the life-cycles of *Dendrolimus spectabilis*.

Year	Month	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Year	Month	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	June	July	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.
第一回發生 First Y. One generation							+	+	+				
第二回發生 Second Y. Two generations						+	+	+	+				
各期ノ繼續 Continuation of every stages						+	+	+	+	+	+	+	+

表 過 經

發育ハ不規則ナルニヨリ越冬ノ幼蟲ニハ大小ヲ見ルコトアリ從テ相當ニ成長シテ越冬シタルモノハ翌年早ク營養化蛹シ次キテ早ク羽化スルニ至ル六月中旬(甚シキハ五月末ヨリ六月上旬)ニモ少數ノ蛾ヲ見ルコトアリニ見ル蛾ハ即チ此經過ヲ取リタルモノナリ、幼蟲期ハ六週間許ナルニヨリ此等ノ蛾カ産シタル卵ヨリ孵化シタル幼蟲ハ多ク八月頃ニ營養シ爾後三週間許ヲ經

ヲ羽化スルニヨリ八月末ヨリ九月ニ亘リテ再ヒ之レカ羽化スルヲ見ル此蛾ノ産シタル卵ハ三四日ノ間ニ孵化シ幼蟲ハ爾後十一月中下旬マテ食食シテ越冬スルコト前ト同シ右ノ事實ニヨリ或ル時期ニハ第一回ノ蛾ト第二回ノ蛾トヲ混スルコトアリ過去二年間當研究所ニ於ケルアトク檢誘引試験ノ結果ハ此蛾カ六月中旬(稀ニ五月中旬)ヨリ九月中旬マテ間斷ナク出現セルコトヲ證シタルニヨリ如何ニ其蛾期ノ長キカラ知ルコトヲ得今極メテ簡單ニマツカレハノ發生ヲ考フル時ハ今年一回發生シタルモノカ明年二回發生ヲナシ今年二回發生シタルモノカ明年一回ノ順序トナル廣島縣農事試驗場報告第四號松崎ノ項中ニモ多少此事實ヲ暗示シ尙ホ高橋嘉治郎カ熊本縣阿蘇郡ニ於ケル試驗ニモ明ニ一回ト二回トヲ交互シテ二年間ニ三回發生ノ傾向ヲ示セリ(大日本山林會報第三百九十一號)然レトモ前述ノ如ク此種ノ發育ハ不規律ナルニヨリ必シモ此ノ如キ簡單ナル理由ニ該當セサルモノアルハ論ヲ俟タス。今多少ノ想像ヲ加ヘ其經過ノ狀態ヲ模式的ニ示シ尙一年間ノ各期ノ繼續期間ヲ附スルコト別表ノ如シ

分布 東部西比利亞(ウスリー)アムール。北支那、朝鮮、日本(北海道、本州、四國、九州)、臺灣。

#### 一四 ツガカレハ

ツガカレハ 矢野宗幹 動物學雜誌第三百二十一號。

ツガケムシガ 佐々木忠次郎 日本樹木害蟲篇中卷。矢野宗幹 動物學

雜誌第二百六十七號。新島善直 森林昆蟲學。

學名 *Dendrolimus superans*, Butler.

成蟲、彩色ニハ赭褐色濃褐色灰色暗黃褐色種々ノ變化アリ但シ後翅ハ前翅ニ比シ腹部ハ頭胸部ニ比シテ多少淡キヲ常トス。紋理ニモ濃淡アリ或ハ殆ント無紋ニ近キモノアリ今紋理ノ顯著ナルモノニツキテ記載セン。

雄 頭部及ヒ胸部ハ赭褐色ニシテ複眼ハ黑褐色ヲ呈ス脚ハ淡褐色ニシテ前脚ノ前方ハ多少暗褐色ヲ帶フ。前翅ハ赭褐色ニシテ基部ハ多少濃色ヲ呈シ中室ノ中央及ヒ其前方ハ多少黃白色ヲ帶フ中室端ニ白色ノ新月紋アリ其外方ニ在ル中横線ハ紫褐色ニシテ前縁ヨリ發シ外方ニ彎曲シ中室ノ後方ニテ第二三脈ノ間ニ至リ再ヒ外方ニ彎曲シテ後縁ニ至ル故ニ結局二回ノ彎曲ヲナス外横線ハ紫褐色ニシテ新月紋ノ連續ヨリ成リ前縁ノ殆ント三分ノ二ノ點ヨリ發シテ略一直線ニ第七脈ニ至リ角ヲナシテ内方ニ齒狀ヲナシ第一〇脈ニ至リテ最モ内方ニ入り外方ニ向ヒテ後縁ニ達ス此線ト中横線トノ間ハ多少紫色ヲ帶ヒ往々後縁部ハ鈍黃白色ヲ帶フ又此線ノ外方ニハ鈍黃白線ヲ伴フ亞外縁線列ニハ濃赭褐色ノ新月狀斑點ヲ各脈間ニ印ス第九脈乃至第四脈ノ間ノ五點ハ略彎形ニ列リ第四三脈ノ一點ハ特ニ外方ニ出テ第三脈乃至第一〇脈間ニアルノ三點ハ後縁ニ對シテ殆ント垂線的ニ列フ第九乃至第六脈間及ヒ第二脈ト第一〇脈間ニアル此等ノ紋ノ内方ニハ各更ニ鈍黃白色ノ一紋ヲ伴フ亞外縁線列ノ外方外縁部モ多少紫色ヲ帶フ、縁毛ハ赭褐色ナリ。後翅ハ赭褐色ニシテ前縁部ハ多少淡黃褐色ヲ帶フ。裏面ハ淡赭褐色ニシ

異名 *D. fentoni*.

第二圖版 第三四圖。 第四圖版 第十二乃至十五圖。 第七圖版 第九乃至第二十八圖。

テ多少淡黃褐色ヲ混シ幽ニ赭褐色ノ外横條ヲ見ル。縁毛ハ赭褐色ナリ。但シ前述ノ如ク前翅ノ紋理ノ判然セルモノハ甚タ少クシテ多クハ紋理分明ナラス。或ハ亞外縁線列ノ斑紋ト中室端ノ新月紋トヲ存シテ其他ハ殆ント無紋ナルアリ又ハ之ニ加フルニ朦朧ナル外横線ヲ以テスルモノアルモ時ニハ全ク無紋ノモノヲ見ル。體長九分乃至一寸一分。翅張一寸八分乃至二寸五分。雌 全體灰褐色ヲ呈ス但シ腹背及ヒ後翅ハ此等ヨリ淡色ナリ。前翅ノ紋理ハ略雄ニ均シキモ外横線ト亞外縁線列トノ間ハ茶褐色ヲ帶フ。後翅ハ無紋ナリ。裏面ハ表面ト略同色ニシテ無紋ナリ。雌モ亦紋理ノ判然セルモノ比較的少クシテ多クハ不明ナリ或ハ前翅ノ中横線ト外横線トノ間ニ當ル後半又ハ後縁部ノ一部白色ヲ呈スルコトアリ又外縁部灰白色ヲ帶フルコトアリ其他全ク無紋ノ状態ヲ呈スルコト雄ノ場合ニ於ケルカ如シ。體長一寸一分乃至一寸三分。翅張二寸七分乃至三寸二分。

卵 橢圓狀ニシテ淡綠色ヲ呈シ表面ニム微凸刻アリ。長徑八厘、短徑五厘許。

幼蟲 頭部ハ淡茶褐色ニシテ暗黒小點ヲ粗或ハ密ニ散布シテ一種ノ紋理ヲ形成シ暗色及ヒ灰黃白色毛ヲ生ス。兩顛頂片ノ間及ヒ此等ト額片トノ界ニ灰白線アリ額片ハ暗褐色ヲ帶フ。單眼ハ黒褐色ナリ。觸角ハ黒褐色ニシテ基部灰白色ヲ呈ス。上口片ハ鈍白色。上唇ハ淡茶褐色ニシテ鈍白線ヲ有ス。大顎ハ黒褐色ナリ。胸部ハ各節多ク五個ノ横皺ヲ有シ灰黃白色ニ暗黒色ノ點及ヒ線條ヲ有シテ多少大理石様紋理ヲ呈スルモ背部及ヒ側部ニハ淡黃白色ノ鱗ヲ散布セルニヨリ白色ヲ呈シテ一見絹絲光澤ヲ有スルコトマツケムシニ同様ナリ鱗ハ多ク披針狀ニシテ長サ〇・三乃至一・三ミ、メ幅〇・一乃至〇・二ミ、メ許ナリ。首板及ヒ尾板ハ茶褐色ニシテ暗小點ヲ散布ス。第二三

胸節背ニ深皺ヲ有シテ藍黑色ノ刺毛ヲ簇生ス。背線ハ灰色ナルモ不明ナルコト多シ。亞背線ハ暗黒色ニシテ著シク波狀ヲナシ各節ノ前方ニテハ多少不明ナリ一見背上ニ環紋ヲ連ネタルカ如シ側線ハ二條ニシテ暗黒色ヲナシ下方ノモノ濃色ナリ。氣門ハ黃白色ニシテ黒圈ヲ有シ其週邊ハ暗黒色ヲ呈ス。各氣門ノ前方ニ當リ暗黒色ノ短斜條アリ。腹面ハ灰白色ニシテ淡青色ヲ帶ヒ褐色ノ腹條ヲ有ス。胸脚ハ黒褐色ナリ。腹脚ニハ暗小點ヲ散布シ鈎環ハ黒褐色ナリ。尾脚ノ外側ハ尾板ト其色ヲ均シフス。亞背線列ヨリハ黒色ノ長毛ヲ生シ第八腹節ノ隆起ヨリハ之ニ加フルニ鱗狀毛數本ヲ以テス。其他各節ヨリ長短ノ黒毛ヲ散生ス。基線列顆瘤ヨリハ灰白毛及ヒ黒毛ヲ射生ス十分成長スレハ長サ二寸六七分幅四分内外トナル。

繭 扁平橢圓狀ニシテ暗黃褐色、暗褐色等種々アリ外部ニ幼蟲ノ體毛特ニ刺毛ヲ混ス。長徑一寸七分乃至一寸九分、短徑六分五厘乃至八分許。

蛹 橢圓狀ニシテ紫褐色又ハ暗褐色ヲ呈シ腹部第四、五、六節ノ後端ノ關節面ハ赤褐色ヲ呈ス。長徑一寸四五分、短徑四分乃至四分二厘。

習性經過 從來一年一回ノ發生トシテ知ラレ越冬シタル幼蟲ハ四五月ノ交ヨリ活動ヲ始メテツガモミ、マツ(飼育ノ場合ニイ子井ヲ與ヘタルモ食ハサリキ)等ノ葉ヲ食ヒ八月中下旬ニ至リテ營繭化蛹シ八月下旬乃至九月上旬ニ羽化産卵シ之ヨリ孵化シタル幼蟲カ越冬スルコト、ナレリ故ニ是迄此蛾ハマツカレハヨリ後レテ出現スルモノトセラレタリ、然ルニ過去二年間ノ當研究所ニ於ケル「アーク」燈誘引試験ノ結果ニヨレハ此蛾ハ六月中旬(稀ニ五月下旬)ヨリ十月上旬マテ殆ント繼續的ニ出現シ蛾期ノ非常ニ長キコト前項マツカレハト略同様ナルコトヲ知リタル

ニヨリ多分其發生經過モ其ト同様ニ一年一回ノ場合ト二回ノ場合ト相混セルモノナラント思  
考セラル。  
分布 日本(本州)。

### 一五 ムチカレハ (新種)

學名 *Dendrolimus ochroleucus*, sp. nov.

第二圖版 第五圖。

成蟲 雄ハ全體黃白色ニシテ深ク注意スレハ唯前翅ニ極メテ幽カニ亞外縁線列ノ斑點ノ前縁  
部ノミニ存スルヲ見得ヘキ外兩翅ノ兩面ヲ通シテ殆ント無紋ナリ、但シ前翅前縁ノ基方ハ少シ  
ク茶褐色ヲ呈ス。後翅ハ前翅ヨリモ少シク濃色ナリ。體長九分五厘。翅張一寸八分。

分布 日本。(本州千九百十五年七月岐阜ニ於テ一頭ノ雄ヲ「アーク燈ニテ採ル」。九州同年同月  
高嶺梯吉雄一頭ヲ柳河ニテ採ル)。

### 一六 クヌギカレハ

クヌギカレハ 矢野宗幹、動物學雜誌第三百二十一號。牧茂市郎、林業試驗

場特別報告(臺灣)第一。

クヌギケムシテフ 佐々木忠次郎、日本樹木害蟲篇。

キイロマダラ 長野菊次郎、日本鱗翅類汎論。

學名 *Dendrolimus undans*, Walk. var. *excellentis*, Butler.

第二圖版 第一、二圖。第四圖版 第十六乃至第十九圖。

成蟲 雄 頭、胸、腹部共ニ茶褐色ニシテ絹絲光澤ヲ有ス、腹部ノ腹面ハ黃色ナリ、複眼ハ黑褐色ニ  
シテ唇鬚ハ黃色ナリ。脚ハ黃色ニ黃褐色ヲ混ス。前翅ハ黃褐色ニ茶褐色ヲ混シ基部ヨリ後縁  
ニ沿ヒ絹光アル濃茶褐色ヲ生ス、内横線ハ濃茶褐色ニシテ不正波狀ヲナシ中室端ニ一白點アリ、  
中横線ハ濃茶褐色ニシテ不正齒狀ヲナス外横線ハ鮮ナル黃褐色ヲ呈シ其兩縁ハ齒狀ヲナシテ  
内方ハ茶褐色ニテ限ラレ外方ハ第三、四脈間及ヒ第七、八脈間ニ於テ外方ニ彎出ス、此帶中ニ幽ニ  
二條ノ茶褐色齒狀線ヲ見ル又此帶ノ外方外縁部ハ茶褐色ヲ呈ス、翅脈ハ黃褐色ヲ呈シ特ニ外縁  
部ニ於テ著シ、縁毛ハ茶褐色ナリ。後翅ハ茶褐色ニシテ基部ヨリ後縁ニ沿ヒ光澤アル茶褐色毛ヲ  
生ス、縁毛ハ暗黃褐色ナリ。裏面ハ黃色ニ少シク褐色ヲ帶ヒ幽ニ褐色ノ弧狀横條ヲ見ル。體長  
一寸一分。翅張二寸一分。

雌 雄ニ比シテ體軀著シク肥大ナルモ彩色ハ甚タ淡シ、紋理ハ略、雄ニ均シキモ中横線ハ殆ン  
ト白點ヲ貫ク、體長一寸一分乃至一寸四分。翅張二寸九分乃至三寸六分。

卵 短橢圓狀ニシテ淡褐色ヲ呈シ紫褐色ノ不規則ナル點暈アリ、上面少シク凹ム、長徑九厘、短徑  
七厘許。

幼蟲 頭部帶黃灰色ヲ呈シ顛頂片ニ暗褐色ノ馬蹄鐵狀斑及ヒ黑褐色ノ圓紋其他小點ヲ散布シ  
 黃褐色ノ短毛ヲ生ス、上口片及ヒ上唇ハ蠟灰色ヲ呈シ大顯ハ黑色ニシテ觸角ノ末端ハ黑褐色ナ  
 リ。胴部ハ橙黃色ニシテ各節ニ四五條ヘ橫皺ヲ有シ背線ハ暗灰色ニシテ第二三胸節ニテハ紫  
 藍色ヲ呈ス又同節背面ノ深キ橫皺中ニハ紫藍色ノ刺毛ヲ簇生シ黑天鵝絨狀觀ヲ呈スルコトマ  
 ツカレハノ幼蟲ニ於ケルカ如シ亞背線列ニハ各節顆疣ヲ有シ特ニ腹部第八節ニ於テハ背中心

Diagram showing the life-cycle of *Dendrolimus undans excellens*.

Year	Month											
	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May.	June.	July.	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.
第一年 First Y.											+	+
第二年 Second Y.											○	○

經過表

相接シテ一層隆起ス皆暗色毛ヲ射生ス、氣門ノ邊ハ褶襞ニ富ミ基線列ノ顆瘤ヨリテハ黃褐色毛ヲ  
 射生ス其他體ノ全面ヨリ長短ノ暗毛及ヒ黃褐色毛ヲ生ス。十分成長スレハ體長三寸内外ニ及フ。  
 以上記セル所ハ第五齡ノ幼蟲ノ形態ナルカ第四齡ノ終リニハ胴部赭褐色ニ多少黃褐色ヲ帶ヒ  
 背線ハ暗褐色ヲ呈シ亞背線列ニハ各節ニ二個ノ大小黑點ヲ印ス、胸背ノ各節前後緣ニハ暗色ノ  
 八字斑ヲ現ハシ腹背ニテハ略環狀ノ暗紋ヲ連續ス、暗色ノ氣門上線二條アリテ其一方著シ、氣門  
 ノ前後ニハ不明ノ短斜條ヲ現ハス。

繭 橢圓狀ニシテ灰褐色ヲ呈シ長徑一寸八分乃至二寸一分許。短徑八分内外。  
 蛹 橢圓狀ニシテ暗赤褐色ヲ呈シ第四乃至第六腹節ノ關節面ハ褐色ナリ、氣門ハ顯著ニシテ黑  
 褐色ノ縁ヲ有ス頭部、胸部及腹部ニハ短黃褐色毛ヲ列生シ特ニ背面ニ於テ著シ、腹部第一節背ニテ  
 ハ二列ヲナシ第二節以下ニテハ三列又ハ四列ヲナス末端ニハ暗黃褐色ノ鈎狀短剛毛ヲ密生ス。  
 長徑一寸二分乃至一寸五分、短徑五分内外。  
 習性經過 一年一回ノ發生ニシテ卵ハ五月ニ孵化ス幼蟲ハク又ギ、アベマキ、リンゴ等ノ葉ヲ食  
 ヒ八月ニ老熟シ嗜食植物ノ葉ヲ綴リテ繭ヲ營ミ其内ニ化蛹ス、蛹ハ尾端ノ鈎毛ヲ繭内ノ絹絲ニ  
 掛ケテ體ノ位置ヲ保チ蛾ハ十月下旬ニ羽化スブライヤーニ據レハ雄ハ白晝飛翔ストイフ、十一  
 月上旬ニ嗜食植物ノ幹上ニ産卵ス、卵ニテ越冬シ翌年ノ五月ニ孵化ス。  
 分布 印度。朝鮮。東部西比利亞(アムール、ウスリー)。日本(本州)。臺灣。

一七 イワサキカレハ (新種)

學名 *Dendrolimus? iwaskii*, sp. nov.

第二圖版 第八圖。

此種ハ外觀上マツカレハ屬ニ編入シテ誤ナキヲ期スレトモ唯一頭ノ標本アルニ過キササルニ  
 ヨリ之ヲ解剖シテ微細ノ點ヲ檢スルコト能ハサルト、未タ其幼蟲ノ知レサル今日ニ於テハ全  
 然之ヲ斷定スルコト能ハス故ニ暫ク疑點ヲ附ス、學名ハ之カ採集者タル岩崎卓爾ノ姓ニ因ミ  
 テ之ヲ命ス。

成蟲 雌、頭部ハ茶褐色ニシテ觸角ハ灰黄色ヲ呈ス脚ハ暗紫褐色ニシテ茶褐毛及ヒ黃褐毛ヲ密生ス。腹部ハ灰黄色ヲ呈ス。前翅ハ紫褐色ニシテ不明ノ淡黄色内横條アリ弧形ヲナス中室端ニ淡黄點ヲ印ス中横條ハ淡黄色ニシテ弧形ヲナシ前縁ヨリ發シテ第五脈ニ至リ内方ニ曲リテ後縁ニ達ス外横條モ淡黄色ニシテ前縁ノ略三分ノ二ノ所ヨリ發シテ少シク波狀ヲナシテ後縁ノ中央ニ至ル亞外縁線列ニハ濃紫褐色新月形ヲ各脈間ニ印ス翅頂ニ近キ前縁ヨリ第六脈ノ間マテハ略外縁ニ平行シテ存シ第六脈乃至第四脈間ニテハ少シク内方ニ入リ第四三脈間ニテ再ヒ外方ニ出テ外縁ト略平行ニ後縁ニ至ル此等各斑ノ内方ニハ黃褐色ノ新月斑ヲ伴フ外縁部後方ニハ多少鈍白鱗ヲ撒布ス翅脈ハ多少黃褐色ヲ呈ス緣毛ハ赭褐色ニ鈍白色ヲ混シ翅頂ニテハ黃褐色ヲ交フ。後翅ハ紫褐色ニシテ内半ハ黃褐色ヲ帶フ幽ニ濃色ノ外横帶ヲ見ルヘシ翅脈ハ多少黃褐色ヲ呈ス緣毛ハ灰黄色ナリ。裏面ハ共ニ淡黃褐色ニシテ中央ヨリ外方ニ紫褐色ノ三條ノ弧形横條ヲ見ル翅脈ハ黃褐色ヲ呈ス。體長一寸八分。翅張四寸二分。分布 八重山列島與那國島。

### 十 ヤマダカレハ屬 (新屬) *Kunugia*, gen. nov.

此屬ノ成蟲ハマツカレハ屬ノモノニ酷似セルヲ以テ之カ幼蟲ヲ見サル人ハ何人モ此等ヲ同屬トスルニ躊躇セサルヘシ然レトモ幼蟲ノ構造ニ大ナル差アルハ明ニ別屬トスヘキ點ナリ又成蟲ニ於テモ其唇鬚ノ形狀ヲ異ニセルト翅ニ鱗ヲ布クコレノ薄キトハ之カ區別ノ要點トスヘシ要スルニ此屬ハマツカレハ屬ト非常ニ近縁ノモノニシテ多分東洋洲ニ分布セルオホ

カレハ屬 *Lebeda* (此屬ノ模範種ハオホカレハ *Lebeda nobilis*, Walker ニシテ此種ハ臺灣ニモ産ス) トマツカレハ屬トヲ連接スル一ノ橋梁トモ見ルヘシ。屬名ハ幼蟲ノ食物ナルクヌギニ因ミテ命シタリ。

成蟲 觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ櫛齒ハ雄ニ長クシテ密ニ雌ニ短クシテ粗ナリ。眼ハ有毛唇鬚ハ前方ニ突出シテ毛ヲ密生シ末方膨大シテ末端ハ截形ヲナス第三節ハ比較的短シ。脚ハ比較的細ク前脚脛節ノ腓片ハ鞏固ニシテ幅廣ク其末端殆ント脛節端ニ達ス毛ヲ有セス雄ノ腹部ハ長クシテ遙ニ後翅ノ臀角ヲ超過ス。前翅ハ前縁殆ント直線ニシテ中央ヲ過キテ弧形ヲナス外縁ハ弧形ニシテ殆ント全縁ノ觀アルモ極メテ僅ニ波狀ヲナス後縁ハ中央少シク彎入ス第二脈ハ基部ニ近ク發シ第四五脈ハ中室ノ後角ヨリ相接近シテ出ツ第六七脈ハ短柄ヲ有シ第八脈ハ中室ノ前角ヨリ出ヅ第九十脈ハ短柄ヲ有シ第九脈ハ翅頂ニ終ル中室ハ閉鎖シ横脈ハ角ヲ有ス。後翅ハ廣クシテ卵形ヲナシ前縁ハ殆ント直線的ナリ外縁ハ弧形ヲナシテ少シク波狀ヲナス第二脈ハ中室ノ後角ニ近ク發シ第四五脈ハ甚タ短キ柄ヲ有ス第八脈ハ基部ヨリ少シク距離ニテ第七脈ト結レテ基部ヲ形成ス基部ヨリハ一本ノ副脈ヲ出ス中室ハ閉鎖シ横脈ハ角ヲ有ス。比較的薄ク鱗毛ヲ有シ特ニ雌ニテハ半透明ノ觀アリ。

卵 橢圓狀。

幼蟲 圓柱狀ニシテマツカレハ屬ノ如ク胸部第二三節背ニ刺毛群ヲ有セス刺毛群ハ圓班狀ヲナシテ各節ニ存ス又腹部ノ第八節背ニ隆起ヲ有セス全體ニ毛ヲ密生シ多少束狀ヲナス。蛹 橢圓狀ニシテ短毛ヲ列生ス刺毛ヲ混シタル橢圓狀ノ繭内ニ存ス。

習性 幼蟲ハ穀斗科ノ植物ヲ食フ。  
分布 日本。

一八 ヤマダカレハ (新種)

クヌギケムシ 稻村時衛 林業試験場報告第三號。

學名 *Knuggia yamadai*, sp. nov.

第二圖版 第六七圖。第四圖版 第二十乃至第二十二圖。第八圖版 第二十八、二十九圖。

此種ハ從來クヌギカレハト混淆シタリ、然ルニ生活史ノ闡明ニヨリ全ク別種ナルヲ知リタリ、種名ハ之カ研究ニ功勞アル山田保治ノ姓ニ因ミテ之ヲ命シタリ。

成蟲 雄、頭部胸部共ニ赭褐色ニシテ複眼ハ黒褐色ヲ呈シ觸角ハ淡黃褐色ナリ。脚ハ赭褐色ニシテ跗各小節ニハ鈍白環ヲ有ス。腹部ハ淡褐色ニシテ腹面ハ少シク淡色ナリ。前翅ハ淡褐色ニシテ基部ニ一小白點ヲ印シ中室端ニ鈍白色ノ一點アリ其内方ニ鈍白斑ヲ印ス、中横線ハ赭褐色ニシテク形ヲナシ前縁ヨリ第五、六脈間ニ至リテ角ヲナシ内方ニ向ヒ少シク波狀ヲナシテ後縁ニ至ル此線ノ内方ニハ鈍白線ヲ伴フ、第一外横線ハ赭褐色ニシテ鈍波狀ヲナシ其外方ニ不明ナル鈍白線ヲ伴フ、第二外横線モ亦赭褐色ニシテ殆ント第一線ニ竝行ス、亞外縁線列ニハ赭褐色點ヲ不規則ニ各脈間ニ印シ其内方ニ鈍白點ヲ伴フ、點數ハ八個ニシテ第一〇脈ヨリ第九脈ノ間ニ至ル、縁毛ハ地色ニ鈍白色ヲ混ス。後翅ハ淡褐色ニシテ殆ント無紋ナリ、縁毛ハ地色ニ鈍白

色ヲ加フ。裏面ハ淡褐色ニシテ兩翅共ニ二條ノ褐色外横條ヲ有シ其等ノ間ハ鈍白色ニシテ帶ニシテ呈ス。體長一寸三分。翅張、二寸四分乃至二寸五分五厘。

雌、頭部及ヒ胸部ハ極メテ淡キ褐色ニシテ複眼ハ黒褐色、觸角ハ淡黃褐色ナリ。脚ハ淡赭褐色ニシテ跗各小節ニ鈍白環アリ。腹部ハ黃白色ナリ。前翅ハ極メテ淡キ褐色ニシテ淡褐色ノ横線數本ヲ有ス、内横線ハ弧形ヲナシ中室端ノ白點ハ不明ナリ、中横線ハ略ク形ヲナシ前縁ヨリ第五、六脈間ニ至リ鈍角ヲナシテ内方ニ向ヒ多少波狀ヲナシテ後縁ニ至ル二條ノ外横線ハ彎曲シテ多少鋸齒狀ヲナス、第一線ノ外方ハ多少鈍白色ヲ帶フ、外縁線列ニハ各脈間ニ淡褐色點ヲ不規則ニ印シ第九、十脈間ニハ鈍白紋ヲ有ス、縁毛ハ地色ノ未方ニ鈍白色ヲ混ス。後翅ハ黃白色ニシテ無紋ナリ、縁毛ハ地色ノ未方鈍白色ヲ呈ス、裏面ハ鈍白色ニ少シク褐色ヲ帶フ、兩翅共ニ薄ク鱗ヲ被フリ特ニ後翅ハ半透明ナリ。體長、一寸。翅張、二寸八分乃至三寸。

卵 山田保治ノ私記ニヨレハ短橢圓狀ニシテ白色ニ少シク淡褐色ヲ帶ヒ紫褐色ノ不規則ナル雲狀紋ヲ密布ス、上下兩面ニハ紫褐色ノ橢圓形點アリ精孔部及ヒ其反對ノ部ニモ暗褐色ノ點紋アリテ此等ハ多ク白環ヲ有ス、長徑七厘、短徑五厘許。

幼蟲 頭部ハ茶褐色ニシテ顛頂片ニ馬蹄狀ノ黒斑アリ其他赭褐及ヒ黒色ノ小點ヲ散布ス、單眼ハ棕色ニシテ其附近ニ暗斑アリ縫合線ハ黃白色ヲ呈ス、口上片ハ黒褐色或ハ暗褐色ニシテ上唇ハ赭褐色ナリ、大顎其他ノ口器ハ黒褐色ニシテ多少褐色ヲ混ス。胸部ハ黒灰色ニシテ首板及ヒ尾板ハ紅褐色ヲ呈シ暗斑及ヒ褐色小點ヲ散布ス、全體ニ黃白茶褐及ヒ黒色ノ長短毛ヲ比較的密ニ生ス、胴部側方ニハ顆瘤ヲ有シテ黃白色ヲ放射シ特ニ第一節ノモノ最モ長クシテ多少前方

ニ向フ、亞背線列ノ黃白毛ハ多少束狀ヲナス、又腹部ニ於ケル此等束狀毛ノ下方ニハ各節ニ藍黑色ノ刺毛群アリ胸部ニモ多少同様ノ刺毛ヲ生スルモマツカレハ屬ニ見ル如ク第二、三胸節背ニ此等刺毛ノ群簇ヲ見ルコトナシ又腹部ノ氣門上線列ニモ各節一團ノ刺毛群アリ、氣門ハ暗黒色ニシテ黒圈ヲ有ス氣門下線列ノ顆疣ヨリハ黃白毛ヲ射生ス、腹面ハ黒褐色ナリ。胸脚ハ黒褐色ニ腹脚ハ褐色ヲ呈シ共ニ茶褐色ヲ生ス、十分成長スレハ二寸五分乃至三寸三分ニ至。

Diagram showing the life-cycle of *Kunugia yamadai*.

Year	Month											
	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May.	June.	July.	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.
第一年 First Y.										+	.....	.....
第二年 Second Y.											.....	.....

生活史表

繭 長橢圓狀ニシテ淡灰褐色ヲ呈シ其質薄クシテ是ニ混スルニ幼蟲ノ刺毛ヲ以テス但シマツカレハノ繭ノ如ク斑狀ヲ呈セス長徑一寸九分。短徑七八分。

蛹 山田保治ノ私記ニヨレハ長橢圓狀ニシテ頭部及ヒ前中胸部及ヒ其附近ハ黒褐色ニシテ光澤ヲ有セサルモ眼鞘ノ弧線及ヒ觸角脚等ノ界線ハ光澤ヲ有ス、後胸及ヒ腹部ハ光澤アル濃紅褐色ヲ呈シ腹部末端ハ黒褐色ナリ、頭頂ノ中央ハ陷凹シテ二個ノ隆起ヲ生シ、前中胸ノ背線ハ隆起ス、頭部、胸背及ヒ腹部ノ露出部ニハ橙褐色毛ヲ列生シ頭部ノモノ比較的長シ腹部第一節ニテハ

其後縁ニ第二乃至第八節ニテハ各節ノ後縁ト氣門ノ週縁トニ殊ニ多シ第九節ハ其背面ノ後縁ニノミ同色ノ毛ヲ生ス氣門ハ橢圓形ニシテ週縁黒褐色ナリ腹部末端ノ腹面兩側ニハ多數ノ橙褐色短毛ヲ生シ末端ニハ同色ノ鈎狀剛毛ヲ密生ス、長徑一寸三分、短徑四分五厘許。

習性經過 山田保治ノ私記ニヨレハ一年一回ノ發生ニシテ卵ノ状態ニテ越冬ス卵ハ四、五月ノ頃ニ孵化シテ幼蟲トナリクヌギ、アベマキ、コナラ、グリ、カシ等ノ殼斗科植物ヲ食フ、晝ハ主ニ樹幹ニ静止シテ食ヲ取ラス夜間出テ、葉ヲ食フ七月末ヨリ八月ニ至リ十分成長スレハ繭ヲ樹幹又ハ枝上ニ營ム繭ノ上方ノ閉鎖セサルハ羽化シテ出蛾スルニ便セン爲ナラン、八月上中旬頃ニ化蛹シテ十月下旬ニ羽化シ樹幹上ニ産卵ス、卵ニテ越冬シ翌年四月中旬以後ニ孵化スルコト前述ノ如シ。

分布 日本本州、東京、千葉縣、埼玉縣、岐阜。



成蟲 頭部ハ鱗ニ被ハレテ平滑ナリ複眼ハ裸出ス、單眼ヲ有セス、觸角ハ短クシテ前翅長ノ半ニ及ハサルコト通常ナリ、雌雄共ニ兩齒狀但シ雌ノ齒ハ雄ノヨリ短シナルコト多クモ雌ニテハ剛毛狀ヲナスコトアリ或ハ鋸齒狀ヲナスコトアリ又之カ發育シテ單齒狀ヲナスコトアリ唇鬚ハ短小ナルヲ常トスレトモ時ニハ之ヲ缺クコトアリ、稀粗ニ鱗ヲ布クカ又ハ微細ノ鱗ヲ密布ス、吻ハ短小ナルカ或ハ之ヲ缺ク。體ハ細小ナルモノアリ或ハ肥大ナルモノアリ。脚ハ比較的短クシテ腿、脛節ニハ絨毛ヲ密生ス、跗節ハ多ク鱗ヲ密布セルモ時ニ短毛ヲ生スルコトアリ針ヲ有セス、前脚ノ脛節ニハ腓片ヲ有ス、距ハ大小一定セサルモ小ナルモノ多シ、後脚ニハ各一對ノ中距ト後距トヲ有スルアリ或ハ後距ノミヲ存スルアリ。翅ハ廣クシテ静止ノ際ニハ屋狀ニ積ム、前翅ハ通常鎌狀ヲナセル翅頂ヲ有ス、第一b脈ハ基部ニテ又狀ヲナス、第一c脈ヲ缺ク通常第五脈ハ第六脈ヨリモ第四脈ニ近ク發スルモ稀ニ略其中央ヨリ發スルモノアリ、中室ハ閉鎖ス、第六脈ト第八脈トハ柄ヲ有ス、第八脈ト第九脈ト連続ル、時ハ小室ヲ形成ス。後翅ハ通常翅刺ヲ有ス、第一a脈ヲ存スル場合ニハ短キヲ常トス稀ニ後縁ニ達スルモノアリ第一c脈ヲ缺クモ第一b脈ハ必ス存ス、第五脈ハ第六脈ヨリモ第四脈ニ近ク發スルコト常ナレトモ時ニ略其等ノ中央ヨリ發スルコトアリ、第八脈ハ略中央ニテ第七脈ニ接近スルコト常ナレトモ稀ニハ之ト連続ル、コトアリ。

卵 球狀、短橢圓狀或ハ卵狀ヲナス。

幼蟲 通常尾脚ハ一本ノ尖リタル尾突起ニ變化セルニヨリ十四脚ヲ有スルニ過キサレトモ稀ニ十六脚ヲ有スルモノアリ、從テ體軀ハ多少紡錘狀ヲ呈ス、皮膚ニハ短小ノ毛ヲ撒布スルコトアリ或ハ顆粒ヲ有シテ毛ヲ射生スルコトアリ、頭部ノ頂上ハ凹ミテ時ニ二個ノ角狀突起ヲ形成ス、胸部ノ前方節ニハ往々對ヲナセル肉質瘤起ヲ有ス。

蛹 長橢圓狀ニシテ鞏固ナリ往々蠟質粉ヲ有ス、絹絲ヨリ成ル薄キ繭内ニ存スルコト多シ。

習性 幼蟲ハ多ク落葉樹ノ葉ヲ食フト稱セラル、モ常綠樹ノ葉ヲ食フトモ少カラス多クハ葉ヲ綴リテ其内部ニ繭ヲ營ミ其内ニテ化蛹ス、通常年ニ二回發生スルモ北方ニテハ一回ナリ稀ニ三回ニ及フ。

分布 此科ハ廣ク世界ニ分布スレトモ亞非利加及ヒ濠太利亞ニハ極メテ少キカ如シ。

種屬 此科ニ屬スルモノニテ今日知ラレタルハ大約百七十八種以内ナルヘク就中舊北洲ニ産スルモノ七十種ニ近シ但シ此科ノモノニ其形態ノ尺蠖蛾科ニ類似スルモノアルハ大ニ注意スベキ點ナリ。通常脈相ハ尺蠖蛾科ニ於テ第五脈カ横脈ノ中央ヨリ發スルカ或ハ第四脈ヨリモ第六脈ニ近ク發スルニ鈎翅蛾科ニテハ第五脈カ第六脈ヨリモ第四脈ニ近ク發セルニヨリ之ヲ區別ノ要點トセリ然レトモ往々此間ヲ連續セシムヘキ形態ノモノ即チウスギ又カギハ屬 *Megaclypeus*ノ如キアリ故ニ此ノ如キハ他日幼蟲ノ闡明セラル、ト共ニ或ハ尺蠖蛾科其他ニ移サル、ヤモ計リ難ク從テ種數ニ多少ノ變動ヲ生スルコトナキニシモアラス、舊日本産トシテ從來知ラレタルハ二十七種ニシテ最近ノ學者ニヨリ十一屬ニ編セラレタルモ余ハ狹義的意見ヨリシテ從來ノ一大屬ヲ分割シテ四屬トナシタルノミナラズ更ニ二新屬ヲモ設ケタルニヨリ都合十六

屬ヲ算スルニ至レリ。  
分類 スツランド Strand ハ此科ヲ二亞科ニ分ツ即チ大鈎翅蛾亞科 Eucherinae 及ヒ鈎翅蛾亞科 Depninae 是ナリ。

1. オホカギバ亞科 (大鈎翅蛾亞科) EUCHERINAE

成蟲 唇鬚ハ長ク丈夫ニシテ直立ス。前翅ノ第一a脈ハ中央ニテ第一b脈ト縫レテ後縁或ハ後角ニ達セス、第五脈ハ殆ント第四脈ト第六脈トノ中間ニ位ス。後翅ハ第一a脈ヲ存シテ可ナリ長シ。

幼蟲 尾脚ヲ存スルニヨリ都合十六脚ヲ有ス。

類屬 此亞科ニ屬スル舊日本産ノモノニ屬アリ。

A 不完全ナル第一脈ヲ存シ第一b脈ト縫ル。

ギンスチカキバ屬 Mimozethes.

B 第一a脈ハ第一b脈ト短條ニテ連續ス。

オホカギバ屬 Euchera.

2. カギバ亞科 (鈎翅蛾亞科) DREPANINAE.

成蟲 唇鬚ハ甚タ小ナルカ或ハ之ヲ缺ク、前翅ノ第一a脈ハ第一b脈ト又狀ヲナシ末端遊離セス、第五脈ハ悉ク第六脈ヨリモ第四脈ニ接近シテ發ス。後翅ノ第一a脈ハ存スルコトアリ或ハ缺クルコトアリ。

幼蟲 尾脚ヲ缺ケルニヨリ十四脚ヲ有ス。

類屬 此亞科ニテ舊日本ニ産スルモノ十四屬アリ其索引左ノ如シ。

A 吻ヲ有ス。

a 前翅ニ小室ヲ有セズ。

a<sup>1</sup> 前翅ノ第十、十一脈ハ柄ヲ有ス。

ウスギヌカギバ屬 Macroclix.

b<sup>1</sup> 前翅ノ第七、八、九、十脈ハ柄ヲ有ス。

a<sup>2</sup> 後翅ニ第一a脈ヲ存シ、後脚脛節ニ後距ノミヲ有ス。

スカシカギバ屬 Macrauzata.

b<sup>2</sup> 後翅ニ第一a脈ヲ存セス、後脚脛節ニハ中距ト後距トヲ有ス。

ヒトツメカギバ屬 Auzata.

b 前翅ニ小室ヲ有ス。

a<sup>1</sup> 前翅ノ第十、十一脈ハ柄ヲ有ス。

a<sup>2</sup> 後翅ノ第八脈ハ第七脈ト縫レス。

マダラカギバ屬 Callielix.

b<sup>2</sup> 後翅ノ第八脈ハ第七脈ト縫ル。

a<sup>3</sup> 翅頂ハ鈎狀ヲナス。

ウスホシベツカウ屬 Deroea.

b<sup>3</sup> 翅頂ハ鈎狀ヲナス。

ウコンカギバ屬 *Konjika*, G. n.  
b<sup>1</sup> 前翅ノ第十一脈ハ遊離ス。

a<sup>2</sup> 後翅ノ第七、八脈ハ縫ル。

b<sup>2</sup> 後翅ノ第七、八脈ハ縫レス。

フタテンシロカギバ屬 *Leucodrepanilla*, G. n.

a<sup>3</sup> 前翅ノ第九脈ト第八脈トハ縫ル。

a<sup>4</sup> 雌雄共ニ觸角ハ兩橢齒狀ヲナス。

ギンモンカギバ屬 *Callidrepana*.

b<sup>1</sup> 雄ノ觸角ハ兩橢齒狀ナルモ雌ニテハ剛毛狀ヲナス。

マヘキカギバ屬 *Albara*.

b<sup>3</sup> 前翅ノ第八脈ハ第九脈及ヒ第九十脈ノ柄ト縫ル。

a<sup>4</sup> 後脚脛節ニ後距ノミヲ有ス。

オビカギバ屬 *Falcaria*.

b<sup>4</sup> 後脚脛節ニ中距ト後距トヲ有ス。

a<sup>5</sup> 後翅ハ第一a脈ヲ缺ク。

ウスオビカギバ屬 *Drepana*.

b<sup>5</sup> 後翅ハ第一a脈ヲ有ス。

ヨスチシロカギバ屬 *Leucodrepana*.

B 吻及ヒ翅刺ヲ缺ク。

a 前翅ノ第九脈ハ第八脈ノ基部ト縫ル。

クロスチカギバ屬 *Oreta*.

b 前翅ノ第九脈ハ第八脈ノ基部ヲ離レテ縫ル。

アカウラカギバ屬 *Hypsomatius*.

一 オホカギバ屬 *Euchera*, Hübn.

成蟲 觸角ハ肥厚ニシテ鋸齒狀ヲナス、唇鬚ハ上反シテ頭頂ニ達ス。中脚脛節ニハ一對ノ後距ヲ後脚脛節ニハ各一對ノ中距ト後距トヲ有ス、距ハ比較的長シ。前翅ハ廣クシテ前縁ハ弧形ヲナシ翅頂ハ少シク銳角ヲナス、第一a脈ハ第一b脈ト短條ニヨリテ連續シ末端ハ後縁ニ達セサルコトカギバガ亞科ノ又狀ヲナセルト異レリ、第五脈ハ中室ノ後角ノ若干前方ヨリ發シ略第四脈ト第六脈トノ中央ニ位ス、横脈ハ少シク角狀ヲナス、第七、八、九十脈ハ柄ヲ有ス。後翅ハ後縁ニ達スル第一a脈ヲ有ス、第五脈ハ中室ノ後角ノ若干前方ヨリ發ス、横脈ハ少シク角ヲ有ス。蛾ハ此科中最モ大形ノモノニシテ通常白色ニ灰色ノ紋理ヲ有ス。

幼蟲 十六脚ヲ有ス。

分布 印度。東部亞細亞。

種類 此屬ニテ舊日本ニ産スルモノ一種アリ。

一 オホカギバ

オホカギバ 松村松年 續日本千蟲圖解第一。  
學名 *Euchera capitata*, Walker.

第三圖版 第二十二圖。第八圖版第一乃至第六圖。

成蟲 頭部ハ暗灰色ニシテ複眼及ヒ唇鬚ハ黒褐色ヲ呈シ觸角ハ暗灰色ナリ。胸部ハ白色。脚ハ暗色ニシテ後脚ハ多少灰白色ヲ帶フ。腹部ハ灰色ニシテ末端ハ白色ヲ呈シ各節ノ後縁ニ白環ヲ有ス。翅ハ白色ニシテ鼠色ノ著シキ横條帶ヲ有ス但シ個體ニヨリテ多少ノ差異アリ前翅ニハ鋸齒狀ヲナセル二條ノ内横條アリ相接シテ一帯狀ヲナス但シ前縁部ニテハ淡色ナリ特ニ内方ノモノ一層甚シ中横帶ハ齒狀ヲナシテ横脈上ニテ其幅最モ廣ク前縁部ニテハ往々淡色トナリ或ハ全ク之ヲ缺クコトアリ此帶中ニ白色弦月狀ノ室端紋ヲ有ス二條ノ外横帶ハ齒狀ヲ呈シ翅頂ニ在ル一斑ト相接シテ前縁部ニテ廣帯狀ヲナシ漸次後方ニ其幅ヲ減シ第四脈ニ至リテ最モ狭ク再ヒ後方ニ展張シテ後縁ニ達ス亞外縁線ハ新月紋ノ連續ヨリ成リ往々同様ノ外縁線ト相接シテ一條ノ觀ヲ呈スルコトアリ縁ハ暗色ナルモ後角ニ近ク白色ヲ呈ス。後翅ノ紋理ハ略前翅ニ均シキモ外横帶ハ中央ニテ狭クナルコトアリ前縁部ニテハ不明ナリ縁毛ハ灰白色ナリ。裏面ハ略表面ニ同シキモ紋理ハ少シク淡色ナルヲ異レリトス。體長雄六分。雌六分五厘翅張雄一寸五厘。雌一寸四分五厘。

習性經過 生活史ハ不明ナルモ蛾ハ同一地方ニ於テ六月ト八月トニ出ツルニヨリ少クトモ年二回ノ發生ヲナスナルヘシ。

分布 支那。朝鮮。日本(北海道。本州(富士山(大山(飛騨(小坂(六月(美濃(武儀郡(八月(武藏(高尾(五(六

月(伊勢)。九州(肥前(多良岳)。

ニギンスチカギバ屬 *Mimozethes*, Warren.

成蟲 觸角ハ單櫛齒狀(一側ニノミ櫛齒ヲ生ス)ニシテ齒ハ彎曲シ纖毛ヲ生ス唇鬚ハ鱗ヲ粗生シ第二節最モ長クシテ末節ハ尖ル吻ハ能ク發育ス。脚ハ纖小ニシテ跗節ハ披針狀鱗ニテ被ハレ中脚脛節ニハ一對後脚脛節ニハ二對ノ長キ距ヲ有ス。前翅ノ前縁ハ基部著シク弧形ヲナシテ夫ヨリ一直線ヲナシ翅頂ハ少シク角ヲナス外縁ハ少シク波狀ヲナシ第四脈ノ後方著シク傾斜ス第一脈ハ不完ナルモ一部分第一ト脈ト繼レ後縁ニ達セス第五脈ハ殆ント横脈ノ中央ヨリ發ス横脈ハ薄弱ニシテ斜ニ彎曲ス第七八九及ヒ十脈ハ柄ヲ有シ第九脈ハ翅頂ニ終ル第六脈ハ中室ノ前角ヨリ發シ第十一脈ハ遊離ス。後翅ハ卵形ニシテ翅刺ヲ有シ第一脈ハ後縁ニ達ス第五脈ハ殆ント横脈ノ中央ヨリ發シ横脈ト略前翅ト同様ナリ第八脈ハ大部中室及ヒ第七脈ト殆ント平行ニ走ル。

分布 日本。

種類 此屬ニテ舊日本ニ産スルモノ一種アリ。

ニギンスチカギバ (新稱)

學名 *Mimozethes argentinaria*, Leech.

第三圖版 第四圖。第八圖版 第七乃至第十二圖。

成蟲 雄、頭部胸部腹部ハ帶黃紫褐色ニシテ淡紫白鱗ヲ撒布シ特ニ腹部ハ各節ノ後縁ヲ限ルニ淡紫白鱗ヲ以テス、觸角ハ黃褐色ニシテ眼ハ黑色ナリ。翅ハ紫褐色ニシテ外方ハ黃色ヲ帶ヒ青銅様ノ光澤ヲ發ス、前翅ノ内半ニハ淡紫白色ノ鋸齒狀橫線數條アリ多少不規則ナリ、外橫線ハ前縁ヨリ發シテ外方ニ向ヒ第八、七脈間ニテ一角ヲ作り第七、六脈間ニ又一角ヲナシテ内方ニ向ヒ第二、一脈間ニテ少シク彎曲シテ後縁ニ至ル、亞外緣線ハ二條アルモ著シカラス此等ノ線ハ皆淡紫白色ナリ、翅頂ニ近キ外緣部ニ暗點四個ヲ列ネ後角ニ近ク一暗斑ト一暗點トアリ又翅頂及ヒ後角附近ニ淡紫鱗白ヲ撒布ス、縁毛ハ地色ニ同シクシテ翅頂ニ近ク白色ヲ混ス。後翅ノ紋理ハ略前翅ニ均シキモ外橫線ハ角ヲナサス外緣線ハ淡紫白色ニシテ其内方ニ同色ノ齒狀線ヲ見ル但シ後方ニ著シ縁毛ハ地色ニ白色ヲ混ス。裏面ハ兩翅共ニ灰色ニシテ光澤ヲ有シ前翅ノ前縁ノ外半及ヒ翅頂ヨリ外緣部ノ前半ハ黃色ヲ呈ス、翅頂ニ近キ縁毛中ニ少シク白色ヲ混ス。體長五分乃至五分五厘。翅張七分五厘。

分布 日本(北海道函館(六、七月)。本州(飛騨小坂(八月十一日)。四國(伊豫(六月二十一日)。九州)。

三 ウスギヌカギバ屬 *Macroclix*, Butler.

成蟲 觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ櫛齒ハ雄ニ長ク雌ニ短シ、唇鬚ハ甚タ小ナリ。中脚脛節ニハ一對ノ後距ヲ後脚脛節ニハ一對ノ中、後距ヲ有ス。前翅ハ翅頂圓ク第六脈ハ中室ノ前角ノ後方ヨリ發ス第七、八、九脈ハ柄ヲ有シ、第十一脈モ柄ヲ有ス、橫脈ハ角ヲナス。後翅ニハ翅刺ヲ存シ第一ハ脈ヲ有ス第八脈ハ彎曲シテ第七脈ニ近ツクモ接合セズ、橫脈ハ角ヲ有ス。

分布 東洋洲。東部亞細亞。

種類 此屬ニテ舊日本ニ産スルモノ二種アリ其區別左ノ如シ。

A 前翅ノ略中央ニ黃褐色ノ橫帶狀斑アリ。

ウスギヌカギバ *M. myricata*, Walker.

B 前翅ノ中央ニ暗色ノ西洋梨狀斑アリ其内外ヲ限ルニ黑色ノ齒牙狀線ヲ以テス。

モンウスギヌカギバ *M. maia*, Loech.

三 ウスギヌカギバ

ウスギヌカギバ 長野菊次郎 昆蟲世界第二百三號。

學名 *Macroclix mysticata*, Walker.

第三圖版 第二十三圖。第八圖版 第十三乃至第十八圖。

成蟲 雄、頭部灰黃色ニシテ眼ハ黑褐色、觸角ハ淡褐色ヲ呈シ唇鬚ハ暗褐色ナリ。胸部ハ黃褐色ニシテ頸板ハ白色ヲ呈シ肩板ノ外縁ハ白色ナリ後方ニ个形ノ銀白紋アリ。脚ハ殆ント白色ナリ。腹背ハ暗黃褐色ニシテ白色ノ背線時ニ不明ヲ有シ腹面ハ白色ナリ。前翅ハ白色ニシテ絹絲光澤ヲ有シ半透明ナリ、略中央ニ著シキ啞鈴形ノ黃褐斑アリ、橫脈ヲ含ミテ略第七脈ヨリ後縁ニ達ス、橫脈附近ニテハ暗色ヲ帶ヒテ翅脈上ニ銀白線ヲ印シ尙此斑中ニ二條ノ銀白橫線ヲ通過セシム、外橫線ハ多少不明ノ淡キ紫灰色ヲ呈シテ後縁部ニ明ナリ、亞外緣線列ニハ淡灰色ノ新月紋ヲ列ネ往々黃色ヲ混ス、縁毛ハ白色ナリ。後翅ニモ略前翅ト同様ノ大斑アルモ前縁ニ近ツ

クニ從ヒテ不明トナリ後方ハ後縁ニ沿ヘル黃褐色ト相合シ此等ノ中ニ銀鱗ヲ撒ク臀角ニハ紫灰斑アリ前方ハ黃色ヲ帶フ臀角ニ近キ外縁線列ノ新月點ハ黑色ヲ呈ス縁毛ハ白色ナリ。裏面ハ白色ニシテ前翅ハ室端ニ一個外縁部ニ二個後翅ニテハ臀角ニ近ク一個ト外縁部ニ三四ノ灰色斑紋ヲ有スルノミ。體長春生三分八厘乃至四分。秋生三分三四厘。翅張春生一寸一分五厘乃至一寸三分五厘。秋生一寸五厘乃至一寸一分。習性經過 生活史ハ不明ナルモ蛾ハ三月下旬乃至五月ニ涉リテ一回出現シ再ヒ八月ニ出現スルニヨリ年二回ノ發生ナルコト疑ナシ而シテ春生ノモノハ大形ニシテ夏生ノモノハ小形ナルコト前ニ舉クルカ如シ。

分布 印度。日本(本州、遠江、岐阜、伊勢、箕面)。

#### 四 モンウスギヌカギバ

モンウスギヌカギバ 長野菊次郎 昆蟲世界第二百三號。

學名 *Macrosiphia maia*, Leech.

第三圖版 第二十四圖。

成蟲 雌雄 全體白色ナリ。前頭ハ暗灰黃色ヲ帶ヒ眼ハ黑褐色ニシテ觸角ハ淡黃褐色ヲ呈シ唇鬚ハ暗褐色ナリ。胸部ノ肩板ニハ黃色ヲ混ス。脚ハ前脚ノ腿、脛節ニ暗褐色ヲ生ス。腹部ハ白色ニ多少黃毛及ヒ灰毛ヲ混ス。翅ハ多少淡黃色ヲ帶フ前翅ニハ中央ヨリ少シク外方ニ西洋梨狀ノ暗斑アリ略第七脈ト後縁トノ間ニ亘ル兩縁ハ黃色ヲ帶ヒ第二脈上ニテハ銳角ヲナシテ

少シク内方及ヒ外方ニ突出シ更ニ其外方ヲ黑線ニテ限ラル後縁ニ接シ朱色ノ圓紋アリ又此斑内ニテ第一脈ト第二脈トノ間ニ鉛色點二個アリ又横脈ヨリ第四、五脈上ニ亘リ鉛色紋ヲ有ス。此斑ノ外方ヨリ亞中槽上ニ黑色ノ短線ヲ引ク外縁部ノ前半ニハ亞外縁線列ニ不規則ニ黃斑及ヒ蒼灰色斑ヲ散布ス縁毛ハ地色ニ均シ。後翅ハ後縁ニ沿ヒ黃色ヲ呈シ淡黃褐色ノ圓形ノ室端點アリ外横線ハ淡黃褐色ニシテ多少灰色ヲ交ヘ前縁ヨリ發シテ波形ヲナシ第五脈ニ至リ遙ニ外方ニ彎曲シテ第三脈ニ達シソレヨリ内方ニ向ヒ二回半彎曲シテ後縁ニ至ル中室ノ外方第五脈ノ下ヨリ後角ニ至リ不正ノ黃褐大斑アリ一部分赤褐色ヲ帶ヒ外方ハ鉛灰色ヲ呈ス白色ノ彎曲線及ヒ齒牙狀線此中ヲ通過ス又此斑ヨリ後縁ノ黃褐色部中ニハ銀鱗ヲ撒布シ第三脈上ニY形ノ白線ヲ印ス亞外縁線列ニハ黃褐色及ヒ鉛灰紋ヲ列スルモ前縁部ニ至ルニ從ヒ不明ナルカ或ハ之ヲ缺ケリ縁毛ハ地色ニ同シ。裏面ハ白色ニシテ表面ニ見ル大斑ハ唯一様ノ暗灰色ヲ呈シ前翅ニテハ亞外縁線列ニ一紋ヲ印シ後翅ニテハ多少連續セリ。體長雄三分八厘乃至四分五厘。雌五分八厘。翅張雄一寸三分五厘乃至一寸五分。雌一寸五分五厘。習性經過 生活史ハ不明ナルモ蛾ハ五月中旬ヨリ六月上旬ニ亘リ出現ス。分布 朝鮮(元山)。日本(本州、遠江、吉野、岐阜)。四國。九州。

#### 四 スカシカギバ屬

*Macrauzata*, Butler.

成蟲 觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ櫛齒ハ雄ニ長ク雌ニ短シ唇鬚ハ甚タ小ナリ。中脚後脚ノ脛節ニハ甚タ短キ後距ヲ存シ中距ヲ缺ク。前翅ニハ著シキ半透明斑ヲ有シ翅頂ハ伸長シテ著シク弧

形ヲナシ其端尖ル第六脈ハ中室ノ前角ヨリ發シ第七、八、九及ヒ十脈ハ柄ヲ有シ中室前角ノ少シク前ヨリ發ス、小室ヲ有セス横脈ハ著シク角ヲナス。後翅ニハ第一、二脈ヲ有シ第八脈ハ第七脈ト連続ル横脈ハ著シク角ヲナス、翅刺ヲ存ス。  
 幼蟲 尾脚ハ退化セルニヨリ十四脚ヲ有スルモ尾狀突起ヲ有セス體ハ殆ント裸出ス。  
 分布 印度。日本。  
 種類 此屬ノモノハ舊日本ニ唯一種ヲ産ス。

### 五 スカシカギバ

スカシカギバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。同 昆蟲分類學 同

續日本千蟲圖解第一。山田保治 動物學雜誌第二百九十七號。

學名 *Macranzeta fenestraria*, Moore.

第三圖版 第二十五圖。第八圖版 第二十乃至第二十八圖。第九圖版 第二十八圖。

成蟲 雌雄 頭部胸部共ニ帶黃白色ニシテ前頭ハ淡茶褐色ヲ呈ス、複眼ハ黑褐色ニシテ觸角ハ黃白色或ハ黃褐色ヲナシ、唇鬚ハ暗褐色ナリ。胸部ノ腹面ハ白色ナリ、脚ハ黃白色ニシテ前脚ノ腿脛節ニハ黑褐毛ヲ混ジ各脚共ニ跗節ノ末端ハ黑褐色ヲ呈ス。腹部ハ黃白色ニシテ腹面ハ白色ナリ。翅ハ淡黃褐色ニシテ多少白色ヲ混ス、前翅ノ中央ニ半透明ノ顯著ナル大斑アリ、中室ノ中央ヨリ後方ハ亞半褶ニ至リ第二脈ニ沿ヒテ外方ハ第三、四、五、六脈ノ間ニ亘リテ有角のニ限ラ

ル、前方ハ第七脈ノ基點ニ至リ其周縁ハ暗褐線ニテ限ラル、又此斑ハ黃色ノ翅脈ニテ分割セラレ、前縁部ノ略中央ニ黑褐短條ヲ有シ内横線ハ二條ニシテ暗黃褐色ヲ呈シ中室内ニ於テハ一個ノ半透明圓點ヲ印シ外方ハ中央ノ大斑ニ接ス、中室端ニ黑褐點アリ外横線ハ二條ニシテ暗黃褐色ヲ呈シ大斑ノ外方ヲ圓ク旋ハリテ第二脈ニ至リ波形ヲナシテ後縁ニ至ル、亞外縁線ハ白色ニシテ齒狀ヲナシ前縁部及ヒ内角ニ近ク其幅廣シ此線ノ内方前縁部ハ白色ヲ帶ヒテ斑狀ヲ呈ス、外縁線ハ黃褐色ニシテ縁毛ハ淡黃褐色ナリ。後翅ハ前翅ト大同小異ナルモ半透明斑ハ不規則ニ六個或ハ七個ノ小斑ニ分割ス、又内横線中ノ半透明小點ヲ缺ク。裏面ハ表面ニ比シ淡色ナルヲ異レリトス。體長、雄五分乃至五分五厘、雌五分五厘乃至六分。翅張、雄一寸四分乃至一寸六分、雌二寸。

幼蟲 頭部鈍白色ニシテ左右顛頂板ハ少シク隆起シ微細ノ顆粒ヲ滿布ス、單眼ノ所在ニ黑褐斑アリ、口器ハ重ニ黑褐色ヲ呈ス、胸部ハ黑褐色ニシテ胸部第一節ノ背側面ハ鈍白色ヲ呈シ背部ノ前縁及ヒ後縁ニ小暗點ヨリ成レル灰色ノ四斑アリ腹部第二節第六節ノ側面ト腹面及ヒ第三、四、五節ノ全面ハ鈍白色ニシテ第三節ノ背部前縁及ヒ第六節ノ後縁ハ暗褐色ヲ呈シ第三乃至第五節ニハ暗灰色ノ側帶ヲ有ス、腹部第三乃至第六節ノ各氣門ノ後方ニハ暗灰色ノ縱短線ヲ有ス、其他腹部第三節ノ側面ニ一黑線ヲ有シ第六節ノ側面ニ一黑點アリ、氣門ハ二重ノ黑環ヲ有ス、各節ニ顆粒ヲ散布セルモ白色ノ部分ニテハ分明ナラス、此等ノ顆粒ニハ甚タ短キ灰色毛ヲ單生ス、尾脚ハ退化シテ二個ノ角狀突起トナル、胸脚ハ黃褐色ニシテ爪ハ暗褐色ヲ呈ス、腹脚ハ基部暗色ヲ呈シ鈎環ハ褐色ナリ十分成長スレハ其長サ一寸一二分トナル。

蛹 長橢圓狀ニシテ黒褐色ヲ呈シ白粉ヲ裝フ。眼及ヒ觸角ハ著シク隆起シ中胸背ニ隆起アリ微皺ヲ有ス翅鞘ノ縁及ヒ腹部第四五六節ノ後縁ハ黃白色ヲ呈ス尾節ノ末端ニハ六本ノ剛毛ヲ有ス剛毛ハ末端二分シテ左右不同ノ錨狀ヲ呈ス。長徑六分五厘乃至八分。短徑二分餘。

習性經過 一年幾回發生スルカ不明ナルモ、岐阜ニテ蛾ハ五月中旬ヨリ七月ニ亘リテ出現シ又九月前後ニモ之ヲ見ルニヨリ少クトモ一年二回發生スルコトハ疑ナカルヘシ。幼蟲ハ四月ニ之ヲ見ルヘクカシ類ノ葉ヲ嗜食シ四月下旬ニ至リテ十分成長スレハ葉ノ裏面ヲ中ニシ其兩縁ヲ綴リテ其内ニ繭ヲ營ム山田保治ニ據レハ繭ハ圓筒形ニシテ淡褐色ヲ呈シ薄質ナルモ間隙ヲ有セス其兩端ハ切斷シタルカ如クニシテ其周縁及ヒ中央ハ灰褐色ヲ呈シ長サ一寸許。尙此繭ヨリ出テタル一束ノ絹絲ハ葉ノ中肋ニ沿ヒテ葉柄ヨリ枝極ニ纏絡シ葉ノ散落ヲ防クニ便セリ。

分布 印度カシミヤ、カングラ、シキム。日本(本州、九州、四國?)。

五 ヒトツメカキバ屬

*Auzata*, Walker.

成蟲 觸角ハ肥厚ニシテ短鰓片狀ナリ、唇鬚ハ小ニシテ上反ス。脚ハ中脚脛節ニ一對ノ後距ヲ後脚脛節ニ各一對ノ中距ト後距トヲ有ス、前翅ノ翅頂ハ鏢狀ヲナス外縁ハ第四脈端ニテ多少角ヲナス、第六脈ハ中室ノ前角ノ少シク後方ヨリ發シ第七、八、九、十脈ハ柄ヲ有シテ中室ノ前角ヨリ發ス、小室ヲ有セス。後翅ニハ翅刺ヲ有シ外縁ハ第四脈端ニテ多少角ヲナスコト前翅ニ同シ。

此屬ノ特徴ニツキハンプソン(Hampson)ハ前後翅ノ第三脈端ニ角ヲ有スト記シストランド(Strand)モ亦其誤ヲ承ケテ第三脈トセリ、然ルニ其實前者ノ圖ニハ第四脈端ニ角ヲ有スルコトヲ示シ

又實際ニ於テモ第四脈端タリ故ニ余ハ之ヲ訂正シタリ。

幼蟲 十四脚ヲ有シ體軀ニ顆粒ヲ有シテ毛ヲ射生ス。

蛹 鈍頭紡錘狀ヲナシ各部ニ短毛ヲ叢生ス。

習性 蛾ハ夜間ニ飛翔シ晝ハ樹枝ニ靜止ス若シ其枝ヲ拍ツ時ハ忽チ地面ニ落チ來ル、幼蟲ハ葉ヲ綴リテ營繭シ其内ニテ化蛹ス。

分布 印度、東部亞細亞。

種類 此屬ニテ舊日本ニ産スルモノ一種アリ。

六 ヒトツメカギバ (新稱)

學名 *Auzata superba*, Butler.

第三圖版 第二十一圖。第九圖版 第一圖乃至九圖。

成蟲 雌雄 頭部ハ黒色ニシテ碧光ヲ發ス、複眼ハ黒色、觸角ハ黃褐色ニシテ唇鬚ハ黒褐色ナリ。胸部ハ白色ナリ。前中脚ハ暗黒色ニシテ腿脛節ニ白毛ヲ生シ各跗小節ニハ白環ヲ有ス、後脚ハ白色ニシテ各跗小節ニハ暗黒環ヲ有ス。腹部ハ白色ナリ。翅ハ白色。前翅ハ前縁ノ基部暗色ニシテ前縁ニ沿ヒ略三分一及ヒ三分ノ二ノ所ニ各一個ノ暗點アリ、後縁ノ三分ノ一ノ所ニモ同様ノ點アリ、第五脈ヨリ第一脈ノ間ニ亘リ西洋梨形ノ帶綠黃褐斑アリ、暗色ノ新月形紋二個ニヨリテ後縁ニ接シ斑内ノ三脈上ニハ各短白線ト黒點トヲ有ス、此紋ノ外方第一脈上ニハ一小黒點ヲ印ス、亞外縁線列ニハ暗斑ヲ列ネ、第六脈ト第七脈トノ間ニハ二點ヲ有ス、外縁線ハ暗灰短線ノ連



續ヨリ成リ後方ニ明ニシテ前方ニ不明ナリ、縁毛ハ白色ナリ。後翅ニハ二條ノ内横線、外横線及ヒ一條ノ亞外縁線アリ、皆點線狀ニシテ暗灰色ヲ呈シ、前方ハ不明ナリ、外縁線ハ灰黄色ニシテ縁毛ハ白色ナリ。裏面ハ純白色ニシテ唯前翅ノ前縁基部ノミ暗色ヲ帶フ。體長 雄四分乃至四分三厘。雌四分一厘乃至五分八厘。翅張 雄一寸一分乃至一寸三分。雌一寸四分三厘乃至一寸六分。

幼蟲 頭部ハ赤褐色ニシテ微粒ヲ散布シ、白毛ヲ粗生ス、顛頂ニ一對ノ角狀突起アリテ是亦微粒ヲ密布シ、黒毛ヲ生ス、顛頂片ノ額片ニ接スル所ニ暗褐色アリ、額片ニハ淡黄紋ヲ印ス、下唇ハ白色ニシテ其他ノ口器ハ暗褐色ナリ。胴部ハ綠色ニシテ氣門下ヨリ腹面ニ至リ黄色ヲ帶フ、背線亞背線、側線、氣門下線ハ皆黄白色ニシテ背線最モ狭シ、各節ニ顆疣ヲ有シ、白毛ヲ射生ス、胸脚、腹脚共ニ綠黄色ニシテ、腹脚ノ鈎環ハ褐色ヲ呈ス、末節端ハ尖リテ後方ニ突出シ、尾脚ヲ缺ク十分成長スレハ體長七分五厘許トナル。

蛹 綠色ニシテ末端ノ突起ハ紅褐色ヲ呈ス、頭部ニハ紅褐色ノ短毛ヲ射生シ、胸部及ヒ腹部ノ各所ヨリモ淡黄白色ノ短毛ヲ叢生ス、氣門ハ淡黄色ヲ呈ス、長サ五分、幅一分七厘、厚サ一分七厘許。習性經過 年二回ノ發生ニシテ幼蟲ハ四月ニ出現シ、ミズキ、クマノミズキ等ノ葉ヲ食フ、一枚ノ葉ノ末方ノミヲ食ヒ其基部ハ之ヲ殘シテ綴リ合ハセ之ヲ中肋ノ所ヨリ折ルカ又ハ其一部分ヲ曲ケテカシハモチ狀ニナシ晝ハ其内ニ潜伏シ、夜間出テ、食ヲ取ル化蛹前ニハ此部ヲ十分ニ綴リテ粗繭ヲ營ミ其内部ニテ化蛹ス、余カ飼育シタル幼蟲ハ五月下旬ニ化蛹シ、五月末又ハ六月上旬ニ羽化シタリ故ニ蛹期ハ八、九日間ニ過キス、余ハ未タ繼續的ニ飼育セサレトモ蛾ハ再ヒ九月

上中旬ニ出ツルニヨリ年二回ノ發生ナルコトハ疑ナキモノ、如シ。尙山田保治ノ私記ニヨレハ蛾ハ東京附近ニテ六月五日ヨリ同十九日マテニ復九月十一日ニ採集セラレタリ、又信州福島ニテハ七月二十二日ニ日光中禪寺ニテハ七月十九日乃至二十三日ニ、金精峠ニテハ七月廿五日ニ採集セラレタリ是ニヨリテ之ヲ觀レハ氣候ノ寒冷ナル地方ニテハ多分一年一回ノ發生ナルヘシ。

分布 日本北海道。本州日光横濱上諏訪福島(信州、箕面)。

### 六 マダラカギバ屬 *Callioix*, Butler.

成蟲 觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ一點ニ終ル、唇鬚ハ細クシテ上向シ比較的長シ、吻ハ發育ス。中脚脛節ニハ一對ノ後距ヲ後脚脛節ニハ中距ヲ缺キテ一對ノ後距ノミヲ有ス、前翅ノ第六脈ハ小室ヨリ發シ、第十一脈ハ短柄ヲ有ス、第十脈ハ第八、九脈ノ柄部ト縫レ小室ヲ形成ス、後翅ハ翅刺ヲ有ス、第八脈ハ第七脈ニ接近ス。

分布 東部亞細亞。

### 七 マダラカギバ (新稱)

學名 *Callioix abraxata*, Butler.

第三圖版 第十六圖。第九圖版 第二十七圖。

成蟲 雄 頭部ハ黑褐色ニシテ複眼ハ暗黑色ヲ呈シ、觸角及ヒ唇鬚ハ暗灰色ナリ。胸部ハ白色。

脚ハ暗灰色ニシテ特ニ前脚ノ脛節ハ暗色ヲ加ヘ後脚ハ多少黃褐色ヲ帶フ。腹部ハ黃色ヲ呈ス。前翅ハ白色ニシテ前縁ハ暗色ヲ呈シ基方ニ至ルニ從ヒ其濃度ヲ増ス。亞基線列ニハ暗黒斑三箇アリ内横線ハ暗黒色ニシテ波狀ヲナシ其外方ニ白線ヲ伴フ。又其外方ニハ暗黒ノ橢圓狀大斑アリ第六脈ヨリ後縁ニ至リ其内ノ翅脈ニ當ル所ハ多少白色ヲ呈ス。此斑ノ前縁ニ黃點アリ。又此斑上及ヒ此斑ヨリ内横線ニ至ル一部分ニ黃色鱗ヲ粉布ス。此斑ノ前方ヨリ前縁ニ至リ暗灰斑アリ。亞外縁線列ニハ不規則ニ暗灰斑ヲ列ス。外縁ニ接シ多少新月形ノ暗灰斑ヲ列ス。縁毛ハ暗灰色ニ白色ヲ混ス。後翅ハ白色ニシテ中央ニ暗灰色ノ彎曲セル横帶アリ。外縁ニ接シ不規則ニ暗灰斑ヲ列ス。蓋シ前翅ニ於ケル亞外縁線ト外縁線列斑紋ノ連續セルモノナリ。縁毛ハ暗灰色ニ白色ヲ混ス。裏面ハ白色ニ多少紅色ヲ帶ヒ紋理ハ大略表面ト同様ナルモ淡色ナリ。體長 三分五厘許。翅張 一寸内外。

分布 中央及ヒ西部支那。日本(本州)追分、八月(輕井澤)七月末。北海道(箱館)七月。

### 七 フタテンシロカギバ屬 (新屬) *Leucodrepanilla*, n. g. (nec Strand)

本邦産ノシロカギバ(新稱) *virgo* 及ヒフタテンシロカギバ *seca* 等ハ近世ノ學者ニヨリリユーコドレバナ屬 *Leucodrepania* ニ編入セラル然ルニフタテンシロカギバノ構造ヲ精査スル時ハ此屬ノ特徴ニ一致セサル點アリ是ニ就キテハ既ニスツラント Strand モ疑ヲ抱キタレトモ氏ハ不幸ニシテ從來此屬ニ編セラレタル舊北洲ノ種ヲ一種タモ檢スルコト能ハサリシニヨリ若シ此等ノ種カ此屬ノ特徴ニ符合セサル場合ハ分割シテ新屬リユーコドレバナニラ *Leucodrepanilla*

ヲ設クヘキコトヲ附記シタルニ過キス然ルニ余カ觀察ハ前述ノ如キ結果ヲ得タルニヨリ彼ノ假設シタル新屬ハ正當ノ新屬トシテ成立スヘキコト、ナレリ。  
成蟲 觸角ハ雌雄共ニ肥厚シテ橢圓狀ヲナシ其齒甚タ短シ、吻ヲ有ス、唇鬚ハ孱弱ニシテ前出シ前頭ヲ超ユ。中脚脛節ニハ一對ノ中距ヲ後脚脛節ニハ一對ノ中距ト後距トヲ有ス、距ハ比較的長シ。前翅ハ翅頂少シク尖リ外縁ハ弧形ヲナシテ甚シク斜ナリ。第六脈ト第七脈トハ柄ヲ有シ第八、九十脈ハ柄ヲ有ス此等ノ柄ト第七脈トハ短條ニテ連リ小室ヲ形成ス。第十一脈ハ中室ヨリ單獨ニ發ス。後翅ハ翅刺ヲ有シ第一、八脈ヲ缺ク。第八脈ハ第七脈ト連ル。

模範種 フタテンシロカギバ *L. seca*  
分布 東部亞細亞。

種類 舊日本産ノモノトシテ從來リユーコドレバナ屬ニ編セラレタルモノ三種アリ即チフタテンシロカギバ *seca* シロカギバ *virgo* 及ヒヨスチシロカギバ(新稱) *quinquefasciata* 是ナリ。余ハ未ダフタテンシロカギバ以外ノモノヲ檢スルヲ得サルニヨリ此等カ果シテ此新屬ニ入ルヘキモノナルカ否カヲ知ル能ハス然レトモシロカギバハフタテンシロカギバト最モ近縁ノモノト見ルヘキノミナラス或ハ同種ナランカトノ疑ヲサヘ存シ得ヘキ理由アルニヨリ此種ハ新屬ニ編シテ殆ント誤ナカルヘシ。獨リヨスチシロカギバニ至リテハ新屬ニ編スヘキカ否ヤヲ知ル能ハサルニヨリ此種ハ舊來ノマ、ニナスヨリ外ナシ、今前二種ノ區別ノ點ヲ擧クテ左ノ如シ。

A 前翅ニ淡黃褐色ノ内外横線ヲ有シ中室端ニ黒點ヲ印ス。  
フタテンシロカギバ *L. seca*

B 前翅ノ中室後角ニ一黒點ヲ印ス。

シロカギバ *L. virgo*.

### ハフタテンシロカギバ (新種)

學名 *Leucodrepanilla sacra*, Butler.

第三圖版 第七圖。第九圖版第二十一乃至第二十六圖。

成蟲 雌雄、全體雪白色ナリ。複眼ハ黒褐色ニシテ觸角ハ櫛齒黃褐色ヲナシ唇鬚ハ暗褐色ヲ呈シ、吻ハ黃褐色ナリ。前脚ノ脛節ハ内側暗灰色ヲ脛節ハ前方暗灰色ヲ呈シ跗節ハ灰色ヲ帶フ、中脚ハ脛節多少灰色ヲ帶ヒ跗節ノ末端暗褐色ヲ呈ス、後脚ハ白色ニシテ跗節ノ末端暗褐色ヲ呈ス。前翅ハ前縁ノ基部暗褐色ヲ呈ス、内横線及ヒ外横線ハ共ニ淡黃褐色ニシテ前者ハ弧形鈍波狀ヲ呈シ後者ハ細波狀ヲ呈シ前縁ヨリ第二脈マテニ外方ニ一彎曲ヲナシ再ヒ第二脈ヨリ後縁マテニ外方ニ一彎曲ヲナス、中室ノ前角及ヒ後角ニ各一黒點アリ前方ノモノハ往々消失スルコトアリ、外縁ハ各翅脈ノ末端ニ一黒點ヲ印ス。後翅ハ前翅ト略同様ナルモノ内横線ヲ缺ク。裏面ハ内外横線ヲ缺キ中室端ノ黒點ハ表面ニ比シ淡色ナリ、前翅ノ前縁基部ニハ暗色鱗ヲ散布ス。體長 雄三分乃至三分二厘。雌四分。翅張 雄七分五厘乃至九分。雌一寸一分五厘。

習性經過 未タ生活史ヲ明ニセサルモ蛾ハ同一ノ場所ニテ五月ト八月ニ採集セラル、ニヨリ少クトモ年二回發生スルナルヘシ。

分分 中央及ヒ西部支那。朝鮮。日本(本州(東京(五月及ヒ八月)、岐阜附近(六月)、貴船(六月)、神戸(六月))

九州、大隅(九月)。

### 九シロカギバ (新種)

學名 *Leucodrepanilla virgo*, Butler.

余ハ未タ此種ノ標本ヲ得サルニヨリバツトラノ原記載ヲ引用セン。

成蟲 銀白色、翅ハ各翅脈ノ末端ニ黒點ヲ印ス、各中室ノ後角上ニ一褐點ヲ有ス、觸角ハ鮮カナル

黄褐色ナリ、裏面ハ眞珠光澤ヲ有ス、脚ハ黄色ヲ帶フ、翅張(一)イ  
ンチ(五)ライン(二)一寸一分九厘弱。

產地 横濱(ジヨナス採集)。

附記 案スルニ此種ト前種トハ果シテ別種ナルカ否ヤ多少疑ナキ能ハス多數ノフタテンシロカギバノ標本ヲ檢スル時ハ稀ニ内外横線ノ非常ニ淡キモノ或ハ殆ント之ヲ缺ケルモノアリ且又中室端ノ二黒點ハ往々前方ノ一點ヲ缺

第五圖 九シロカギバ (原圖ラトツバ)

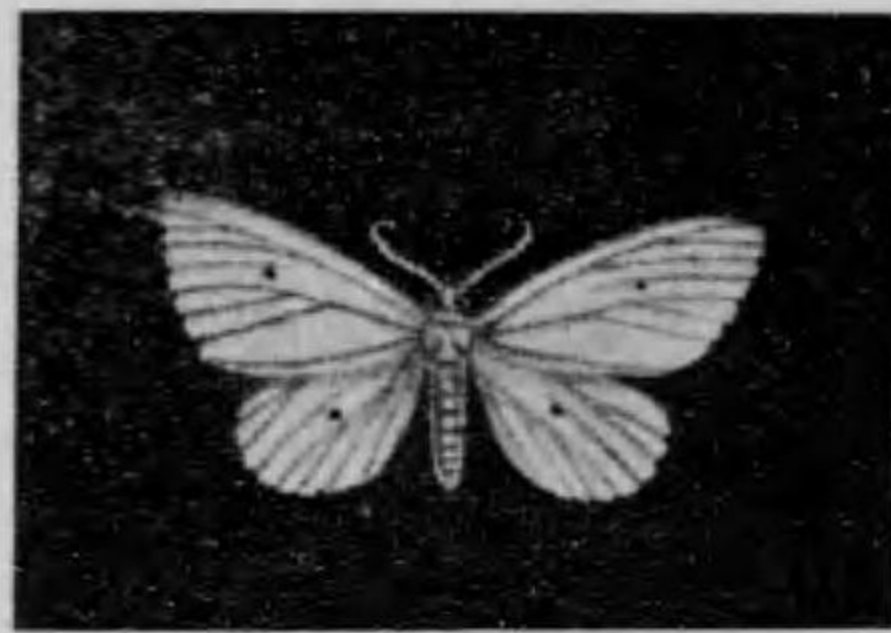


Fig. 4. *Leucodrepanilla virgo*. After Butler.

如セルモノアルコト前ニ述ヘタルカ如シ、故ニ此種ハ前種ト別種ニアラスシテ唯其紋理ノ不明ナルモノニ命セラレタル者ニ非サルカヲ疑フ餘地アリ、特ニブライヤー(Bryer)カ横濱附近ニテ極力蛾類ノ採集ヲ努メタルニ關ハラス同氏ノ目錄ニ此種ヲ舉ケサル如キモ亦一考ノ價値アリトス

八 ヨスデシロカギバ屬 *Leucodrepana*, Hampson.

成蟲 觸角ハ雌雄共ニ肥厚ニシテ扁平ナリ、吻ヲ存ス、唇鬚ハ前出シ孱弱ニシテ前頭ヲ超ユ。中脚脛節ハ一對ノ長距ヲ有シ後脚脛節ハ其二對ヲ有ス。翅刺ヲ有ス、前翅ハ翅頂少シク角ヲナシ、外縁ハ著シク斜ナリ、第八、九及ヒ第十脈ハ纏レテ小室ヲ形成ス、第七脈ハ小室端ヨリ發ス、第十一脈ハ中室ヨリ發ス。後翅ハ第一脈ヲ存シテ殆ント臀角ニ達ス。

分布 印度。支那。日本。  
種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ一種アリ。

十 ヨスデシロカギバ (新稱)

學名 *Leucodrepana quinquelineata*, Leach.

此種モ亦余ノ未タ見サル所ナルニヨリリーチ Leach ノ原記載ヲ引用セン。

圖五第  
バギカロシヂスヨ  
(圖原ドンラッス)



Fig. 5. *Leucodrepana quinquelineata*  
After Strand.

成蟲 白色。前翅ニハ四箇ノ波狀ヲナセル黃褐色横線ヲ有ス、其第三及ヒ第四ハ他ノ二ツヨリモ一層波狀ヲナス、亞外縁線ハ翅脈上ニ黃褐點列ヲナス。後翅ハ三箇ノ波狀ヲナセル黃褐色横線ヲ有シ第二及ヒ第三ハ殆ント前翅ノ第三第四線ニ連續ス、亞外縁線ハ前翅ニ於ケルガ如シ。裏面ハ白色。前翅ノ前縁部ハ暗褐色ヲ呈ス。翅張三〇〔ミ、メ〕九分九厘。  
一頭ノ雄標本ハブライヤーノ採集ニカ、ル。

産地 日本(本州)。

ウスオビカギバ屬 *Drepana* ノ分割

近來多數ノ學者ハウスオビカギバ屬 *Drepana* ノ範圍ヲ廣クシテ多數ノ種ヲ是ニ網羅セント試ミタリ從テ舊日本産ノモノニテ此屬ニ編セラレタルモノ九種アリ即チウスオビカギバ *Harpagula* オビカギバ *curvata* ギンモンカギバ *argenteola* ウスイロカギバ *pallidulus* ヤマトカギバ *japonica* マヘキカギバ *subiosa* マンレーカギバ *manleyi* ヒメハヒロカギバ *parvula* ウコンカギバ *crocea* 是ナリ。余ハ未ダ此等ノ幼蟲ヲ精査スルコト能ハサルニヨリ根本的ノ論證ヲ與フルコト能ハサルヲ遺憾トスレトモ成蟲ノ構造ニ徴シテモ尙此等ヲ一屬ニ編スルニ同意スルコト能ハサル理由アリ、其差ノ重ナル點ハ觸角及ヒ脚ノ構造竝ニ脈相ヲ異ニセルニアリ。就中脈相ハ緒論ニ述ヘタル如ク往々雌雄及ヒ個體間ニ於テモ多少ノ差ヲ見ルニヨリ之ガ些少ノ差異ハ屬ノ範圍ヲ左右スルニ足ラスト雖モ其變化ニハ自ラ程度アリ例ハ前翅ノ第六脈カ獨立シテ中室ヨリ發スルカ或ハ之カ第七、八脈ノ柄ノ基部ト癒合スルカノ如キハ脈相ノ形成上ニ於ケル程度ノ問題タルニヨリ同種中ニテ此等ノ差ヲ見ルコト少カラス故ニ此點ノミニヨリテ屬ヲ區別スルコトハ其當ヲ得タルモノニアラスト雖モ前九種ノ脈相ヲ檢スル時ハ程度範圍ト信スル能ハサル點ニ於テ明ニ三様ノ別アルヲ見ル、是ニツキテ最モ其差ノ甚シキハウコンカギバナリ此モノハ前翅ノ第十、十一脈カ柄ヲ有セルコト、後翅ノ第八脈ト第七脈トカ強ク纏レタルトニヨリ明ニ他ノ八種ト異レリ、次ニウスオビカギバトオビカギバトハ前翅ノ第八

脈カ第九脈及ヒ第九十脈ノ柄ト纏レテ小室ヲ形成セルモギンモンカギバ以下都合六種ニテハ第八脈ハ第九脈トノミ纏レテ小室ヲ形成セリ。脚ニツキテ之ヲ見レハオビカギバハ後脚ノ脛節ニ中距ヲ缺ケルカ其他ノ八種ハ皆中距ヲ有セリ、中距ノ有無カ果シテ屬ヲ左右スル一條件ナルヤ否ヤハ一大問題ナルモウスオビカギバトオビカギバトノ幼蟲ニツキホフマンHofmannノ圖ヲ一見シ又此ニ關スル記載文等ヲ檢スルトキハ其形態上ニ相當ノ差異アルカ如シ故ニ余ハ寧ロ距ノ有無モ亦屬ノ範圍ヲ規定スル一要件タルヲ主張セント欲ス、觸角ニツキテ之ヲ見レハ雄カ兩櫛齒狀ヲナセルコトハ九種ニ共通セルモ其軸ノ末端マテ櫛齒ヲ有スルモノト未方鋸齒狀トナレルモノトノ二種アリ又雌ニテハ假令雄ニ比シテ其櫛齒短タトモ之カ相當ニ發育セルモノト殆ント之レカ發育セスシテ全ク剛毛狀ヲナシ唯櫛齒端ノ感覺毛ヲ存セルモノアリ、是亦屬ノ範圍ヲ規定スル一要件タルヲ信ス故ニ右ニ擧ケタル九種ハ少クトモ左ノ五様ニ區別スヘク從テ此等ヲ五屬ニ配置スルヲ適當ト信スルナリ。

A 前翅ノ第八脈ハ第九脈及ヒ第九十脈ノ柄ノ一部分ト纏レテ小室ヲ形成ス。

a 後脚脛節ニ中距ヲ缺ク オビカギバ屬 *Falcaria*

オビカギバ *Curvula*

b 後脚脛節ニ中距ヲ有ス ウスオビカギバ屬 *Drepama*

ウスオビカギバ *harpagula*

B 前翅ノ第八脈ハ第九脈ト纏レテ小室ヲ形成ス。

a 觸角ハ雌雄共ニ兩櫛齒狀ヲナス ギンモンカギバ屬 *Callidrepama*

ギンモンカギバ *argenteola*

ウスイロカギバ *palleolus*

ヤマトカギバ *japonica*

b 雄ノ觸角ハ兩櫛齒狀ヲナシ雌ノ觸角ハ剛毛狀ニシテ纖毛ヲ生ス マヘキカギバ屬 *Albana*

マヘキカギバ *scabiosa*

ヒメハヒイロカギバ *parvula*

マンレーカギバ *manleyi*

C 前翅ノ第十第十一脈ハ柄ヲ有ス、後翅ノ第八脈ハ第七脈ト強ク纏ル ウコンカギバ屬 *Ko-njikia*, n. g.

ウコンカギバ *groeca*

屬名ニツキテハ余ノ力ノ及ブ限リ調査シタリトハイ余未タ其等ノ屬ノ模範種ヲ檢シタルコトナキニヨリ余ノ選定シタルモノカ悉ク正確ナルカ否カヲ知ルコト能ハス、故ニ今日ニ於テ余ハ屬名ノ如何ヨリモ寧ロ從來ノ一屬ヲ若干ニ分割スル必要ヲ稱道スルヲ以テ本篇ノ要旨トナサント欲ス。

## 九 オビカギバ屬 *Falcaria*, Haworth.

メーリツク *Meyrick*ノ擧グル此屬ノ特徴左ノ如シ。

成蟲 頭部平滑或ハ有毛、吻ハ發育ス雄ノ觸角ハ末端ニテ兩櫛齒狀ヲナス、後脚脛節ハ中距ヲ有

セス。前翅ハ第六脈分離ス(オビカギバニテハ第六脈ハ第七、八脈ノ柄ノ基部ト多少癒合スルモ前ニ述ヘタル如ク此點ハ變化シ易キ部分ナルニヨリ本條ニ拘泥スル必要ナク寧ロ其意義ヲ廣ムルコト必要ナラン)後翅ノ第八脈ハ第七脈ノ出發點ヲ過キテソレニ接近ス。  
分布 歐洲、亞細亞及ヒ北米。  
種類 舊日本ニ産スル本屬ノモノ一種アリ。

### 十一 オビカギバ

オビカギバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。同 昆蟲分類學。同 續  
千蟲圖解第一。

學名 *Falcaria curvata*, Borkhausen.

第三圖版 第十八圖。第十圖版 第一乃至第六圖。

成蟲 雌雄 頭部茶褐色ニシテ複眼ハ黒褐色ヲ呈シ觸角ハ其軸黃褐色ニシテ櫛齒ハ暗色ナリ。胸部ハ暗黄色ヲ呈シ脚ハ黃褐色ナリ。腹部モ黃褐色ナリ。前翅ハ暗黃褐色ニシテ暗褐色或ハ茶褐色ノ横線五條ヲ有ス、亞基線、内横線及ヒ中横線ハ皆鋸齒狀ヲナシ中室端ニ二個ノ黒點アリ後方ノモノ大ナリ、外横線ハ翅頂ヨリ弧形ヲナシ第六、五脈附近ヨリ中横線ニ平行シテ後縁ニ達ス其色暗赤褐色ナリ、中横線ト翅頂トノ間ヨリ發スル暗褐色ノ第一外横線アリ外方ニ弧形ヲナシテ第二外横線ニ合ス、亞外縁線ハ第二外横線ト交叉シテ外縁ト平行ニ後縁ニ達ス、翅頂ニ近キ外縁部ハ紫褐色ヲ呈シ縁毛ハ大略前半紫褐色ニシテ後半茶褐色ナリ。後翅モ暗黃褐色ニシテ

五條ノ弧形横線ヲ有スルコト前翅ニ同シ就中内方四條ハ齒狀ヲナシ亞外縁線ハ鋸齒狀ヲナス、縁毛ハ茶褐色ナリ。裏面ハ共ニ黃褐色ニシテ中室端ニ二黒點ヲ有スルコト表面ニ均シク齒ニ暗色二條ノ外横線ヲ見ル但シ前翅ニテハ内方ノモノ不明ナリ、縁毛ハ暗褐色ナリ。體長 雄三分乃至三分三厘。雌四分。翅張 雄一寸五厘乃至一寸三分。雌一寸四分。

尙邦産ノモノニシテ翅張一寸四分八厘ニ及ビ其彩色ノ淡キモノヲストランド *Grönland* ハヤボニピア形 *Japania* ト稱セリ

此種ノ成蟲以外ノ形態ニツキテハ余未タ檢セサルニヨリ歐洲學者ノ記スル所ヲ引用セン。  
幼蟲 綠色ニシテ背部ハ褐色ヲ呈シ短キ黒褐毛ヲ粗生ス、胸部第二節乃至腹部第一節ノ背上ニ二對ノ黒褐色ヲナセル短キ肉質突起ヲ有ス、氣門ハ黄色ヲ呈シ腹面及ヒ脚ハ草綠色ヲナス、頭部ハ白色ニシテ心臟形ヲナシ褐色ノ紋理ヲ有ス、十分成長スレハ體長八分三厘ヨリ一寸ニ至ル。  
蛹 褐色ニシテ翅鞘ハ暗褐色ヲ呈ス。二個ノ頭鞘ハ尖リテ外方ニ曲ル。

習性經過 成蟲ハ本邦ニテ七八月ニ出現ス、歐洲ニテ幼蟲ハカシハ、ハンノキ等ノ葉ヲ食フカ通常葉ノ一部分或ハ全部ヲ綴リテ其内ニ棲息シ自己ノ體ヲ覆フニ足ル部分ノミヲ殘シテ其餘ヲ食食ストイフ。

分布 歐羅巴。東部西比利亞ウスリー、アムール。朝鮮。日本北海道函館、本州日光、碓井、追分、東京。

### 十 ウスオビカギバ屬 *Drepama*, Schrank.

メーリツクノ記セル此屬ノ特徴左ノ如シ。

成蟲 一頭部ハ平滑物ハ發育ス、雄ノ觸角ハ兩輪齒狀ニシテ末方ハ簡單ナリ、後脚脛節ニハ中距ト後距トヲ有ス、前翅ノ第六脈ハ第七脈ノ基部ヨリ出ツ。後翅ノ第八脈ハ第七脈ノ起點ヲ過キテ是ニ接近ス。

分布 歐洲。亞細亞。北米。

種類 此屬ニテ本邦ニ産スルモノ一種アリ。

## 十二 ウスオビカギバ (新稱)

學名 *Drepana harpagula*, Esper.  
第三圖版 第二十圖。

成蟲 雄、頭部ハ茶褐色ニシテ頸部ハ黃褐色ヲ呈シ複眼ハ黑色ナリ、觸角ハ其軸黃褐色ニシテ輪齒ハ暗灰色ヲ呈ス、唇鬚ハ黃褐色ナリ。胸部ハ淡茶褐色ニシテ多少黃褐色ヲ混ス、脚ハ黃褐色ナリ。腹部モ亦黃褐色ヲ呈ス。前翅ハ淡黃褐色ニシテ多少紫灰色ヲ帶ヘル部分アリ、前翅ハ内横線及ヒ外横線共ニ橄欖色ニシテ齒狀ヲナス、横脈上ヨリ第二脈ニ至リ橄欖色ノ耳形紋アリ、其内ニ黃褐點ヲ印ス、其後方ニ同色ノ不明波狀アリ、外横線ノ外方第三脈ト第五脈トノ間ニ橄欖色斑アリ、其内外ヲ限ルニ暗黑色ノ二新月紋ヲ以テス、亞外緣線列ハ第二脈ヨリ第七脈ノ間ニ新月形ノ灰白線ヲ列ネ、其外方ハ紫灰色ヲ呈ス、外緣線ハ紫褐色ナリ、縁毛ハ地色ニ紫褐色ヲ混ス。後翅モ前翅ト同色ニシテ且前翅ノ如キ内外横線アリ、中室端ニハ黃褐色ノ圓紋ヲ有シ中心ニ鈍白色ヲ點ス、外横線ノ外方ニ多少黃褐色ヲ混ス、縁毛ハ黃褐色ナリ。裏面ハ一樣ニ淡黃褐色ナリ。

體長 三分。翅張 一寸一分。

此種ノ成蟲以外ニツキテハ余未タ之ヲ檢セサルニヨリ歐洲學者ノ記セル所ヲ引用セン。

幼蟲 一胸部ハ紫褐色ニシテ第三胸節背ニ褐色ノ肉質突起ヲ有シ其末端二分セリ、腹部ハ黃色ニシテ背條紫褐色ヲ呈シ側面モ紫褐色ニシテ特ニ腹部第二、三節ニテハ上方ニ突出ス、尾突起ハ長クシテ赤褐色ヲ呈ス、頭部ハ黃色ヲ帶ヒテ顛頂片ニハ角狀突起ヲ有ス、十分成長スレハ八分五厘乃至一寸ニ至ル。

蛹 一褐色ニシテ白色ヲ粉布ス。

習性經過 本邦ニテハ其成蟲七八月頃ニ出現ス、(歐洲ニテ幼蟲ハカバノキ、シナノキ、カシハ等ノ葉ヲ食フ)トイフ。

分布 歐羅巴。東部西比利亞(アムール)。日本(本州)追分、確井、日光。

## 十一 ギンモンカギバ屬 *Callidrypana*, Felder.

成蟲 觸角ハ兩輪齒狀ニシテ末方ハ鋸齒狀ヲナス、輪齒ハ雄ニ長ク雌ニ短シ、唇鬚ハ上反ス、中脚脛節ニ一對ノ後距ヲ後脚脛節ニ各一對ノ中距ト後距トヲ有ス。前翅ノ前緣ハ弧形ヲナシ、翅頂ハ鈎狀ヲナス、第六脈ハ中室ノ前角ノ少シク後方ヨリ單獨ニ出ツルカ、又ハ其基部第七、八脈ノ柄ト合シテ前角ヨリ出ツルコトアリ、(此等兩様ノ翅脈ハ往々同一種ニテ見ルコトアリ)第七、八脈ハ柄ヲ有シ第九、十脈モ柄ヲ有シ第八脈ト第九脈ト第九脈ト連続レテ小室ヲ形成ス。後翅ハ翅刺ヲ有シ第八脈ハ彎曲シテ其一部分第七脈ニ接近ス。

分布 印度。東部亞細亞。  
種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ三種アリ、其檢索左ノ如シ。

A 翅ハ淡黃褐色。

a 中室端ニ著シキ暗斑ヲ有ス。 **ギンモンカギバ** *C. argenteola*.

b 中室端ニ暗斑ヲ有セス。 **ウスイロカギバ** *C. palliolus*.

B 翅ハ紫灰色ニシテ黃色ノ二斜條ヲ有ス。 **ヤマトカギバ** *C. japonica*.

### 十三 ギンモンカギバ

ギンモンカギバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。

學名 *Callidrepana argenteol*, Moore.

第三圖版 第九圖。第十圖版 第二十六乃至第三十圖。

成蟲 雄、頭部黃褐色ニシテ前頭ハ褐色ヲ呈ス複眼ハ黑色ニシテ觸角及ヒ唇鬚ハ黃褐色ナリ。胸部ハ黃白色、脚ハ黃褐色ニシテ銀鱗ヲ撒布ス。前翅ハ前緣黃褐色ニシテ幽ニ黃褐色ノ内橫線ヲ見ルコトアルモ之ヲ缺クコト少カラス、中室端ニ著シキ茶褐色或ハ暗褐色ノ一斑アリ圓形或ハ腎形ヲナス、外橫線ハ二條ニシテ黃褐色ヲ呈シ翅頂ニ近ク發シ殆ント一直線ニ斜ニ後緣ニ至ル内方ノモノハ狭クシテ不明ナルコトアリ、翅頂ニ近キ外緣部ハ茶褐色ヲ呈シ亞外緣線列ニハ暗褐色ノ小點ヲ列ヌ但シ往々此等ヲ缺クコトアリ緣毛ハ前方黃褐色ニシテ後方ハ淡黃褐色ナリ。後翅ハ略前翅ニ同シキモ室端紋ヲ有セス。裏面ハ淡キ黃褐色ヲ呈ス。體長 三分五厘乃

四分。翅張 一寸一分乃至一寸三分。

習性經過 蛾ハ岐阜ニテ五月ト九月トニ出現スルニヨリ多分年二回發生スルナラン。

分布 印度。アルマ。ジャバ。中部及ヒ西部支那。日本(本州横濱、日光、追分、碓井、富士山、岐阜、野京都)。

野京都)。

附記 スツランド *Grand* ハ柏林博物館ニ在ル本邦横濱及ヒ日光採集ノ此種ノ雄ニテ其翅カ殆ント黃白色ヲ呈シ且中室端ノ暗斑ヲ缺ケルモノニ *ab. simplicaria* ノ名ヲ命セリ。

### 十四 ウスイロカギバ

ウスイロカギバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。同 續日本千蟲圖解

第一。

學名 *Callidrepana palliolus*, Motschulsky.

第三圖版 第六圖。

此種ハ前種ニ酷似セルモノニシテ著シク異レル點ヲ舉ケレハ唯前翅ニ暗色ノ室端點ヲ缺ケルニ過キス故ニストランドカ *argenteola*, *ab. simplicaria* トシタルハ或ハ此種ニアラサルカヲ疑フ、是ニツキテハ大ニ研究ノ餘地アレトモ余未タ此等ヲ連續スヘキ個體ヲ見サルニヨリ今日直ニ同種ト認定スルコトノ早計ナルコトヲ慮リ別種トシテ記載スルコト、セリ。

成蟲 雌雄、頭部ハ鈍白色ニシテ前頭部ハ淡茶褐色ヲ呈ス、複眼ハ黑色ニシテ觸角及ヒ唇鬚ハ黃褐色ナリ。胸部及ヒ腹部ハ黃白色ニシテ脚ハ黃褐色ナリ。翅ハ黃白色ニシテ基部ヨリ中央



ニ互リ又外横線ノ外方及ヒ翅頂ノ外縁ニ沿ヒ銀鱗ヲ散布ス。前翅ノ前縁ハ黄褐色ニシテ二條ノ内横線ハ淡黄褐色ヲ呈シ波狀ヲナス但シ時ニ不明ナルコトアリ。外横線モ亦二條ニシテ淡黄褐色ヲナシ内方ノモノハ淡クシテ狭ク外方ノモノハ濃クシテ廣シ。翅頂ニ近キ前縁ヨリ發シテ外方ニ向ヒ第七八脈ノ間ニテ角ヲナシテ斜ニ内方ニ向ヒ少シク波狀ヲナシテ後縁ニ至ル。此線ノ外方翅頂部ハ黄褐色ヲ呈ス。亞外縁線ハ淡茶褐色ニシテ鋸齒狀ヲナスモ往々脈上ニ唯小點ヲ印スルコトアリ但シ前方ニテハ不明ナルヲ常トス。縁毛ハ前方黄褐色ニシテ後方黄白色ナリ。後翅ニテハ後縁ニ近キ一部ニ唯淡黄褐色ノ外横線ヲ見ルノミ。縁毛ハ黄白色ナリ。裏面ハ黄白色ニシテ無紋理ナルコトアリ或ハ前翅ニ幽ニ淡黄褐色ノ外横線ヲ見ルコトアリ。體長 雄三分。雌三分四厘。翅張 雄九分五厘。雌一寸一分。

習性經過 蛾ハ北海道ニ於テ六月ヨリ八月ニ涉リテ出現ス本州ノ中部ニ於テモ略是ニ同シ。分布 日本(北海道函館)。本州(日光追分箱根追分富士山大山)。

### 十五 ヤマトカギバ

ヤマトカギバ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。

カギバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。

學名 *Callidrepana japonica*, Moore.

第三圖版 第一圖。

成蟲 雌雄 頭部ハ褐色ニシテ頸部ハ橙色ヲ呈ス。複眼ハ黑色ニシテ觸角ハ暗褐色ヲ呈シ唇鬚

ハ黄褐色ナリ。胸部ハ帶紫黄白色ナリ。脚ハ淡黄色ニシテ末方ハ多少煤色ヲ帶ブ。腹部モ同色ニシテ各節ノ後縁ニ黄線ヲ有ス。翅ノ彩色ニハ多少濃淡アリ濃色ノモノニテハ前翅帶紫灰色ニシテ前縁ハ黄褐色ナリ。内横線ハ黄色ヲ丙ニシテ黄褐色ヲ外ニシ前縁部ニテハ暗色トナル。此線ノ外方前縁部ニ暗點アリ。外横線ハ茶褐色ヲ内ニシ黄色ヲ外ニシテ翅頂ノ近クヨリ發シ弧形ヲナス。亞外縁線列ニハ暗點ヲ列スルモ往々之ヲ缺クコトアリ翅頂ニ近キ外縁部ハ茶褐色ヲ呈シ外縁部ハ暗褐色ナリ。縁毛ハ多ク地色ニ均シキモ往々白色ヲ混ス。暗色ノ室端點ヲ存スルコトアリ或ハ之ヲ缺クコトアリ。後翅ハ略前翅ニ均シキモ前縁部ハ黄色ヲ帶ヒテ線條ハ皆前縁ニ達セス。裏面ハ淡黄褐色ニシテ前翅ハ多少中央ニ暗色ヲ帶ヒ暗色ノ室端點ト外横線トヲ見ル。外縁線ハ暗褐色ナリ。縁毛ハ淡紫褐色ニ白色ヲ混ス。體長 雄三分乃至四分。雌三分五厘内外。翅張 雄九分五厘乃至一寸六分。雌一寸二分内外。

附記 ストランド Strand ハ前ニ述ヘタル亞外縁線列ニ八個或ハ其以内ノ暗點アルモノニブンクチフエラ(變形) *Punctifera* alb. ノ名ヲ命セリ。

幼蟲 體軀多少扁平ニシテ一見オビカギバ屬 *Falcaria* 又ハウスオビカギバ屬 *Drepama* ノモノト其形態ヲ異ニスルヲ知ルヘシ。頭部ハ胸部ヨリ幅狭ク淡褐色ニシテ濃色ノ網狀紋理アリ。顛頂片ノ下側ニ黑褐色アリ。前頭間片ニ八字形黑斑アリ。單眼ハ多數黑褐色ニシテ大頭縁ハ黑褐色ヲ呈ス。胴部ハ黄褐色ニシテ淡褐色ノ波狀縱線數條ヲ有スルヲ以テ全體多少橙褐色ヲ呈ス。第二三胸節背ニ各一本ノ黑色短横線アリ。兩端ハ多少膨大ス。亞背線列ニハ各節多クハ淡黄色ノ扁平顆粒三個ヲ有シ。黑短毛ヲ單生ス。第一胸節ノ前縁ニハ數個ノ黑點アリ。腹部第一二節ノ背側ニ各黑

圖六第  
蛹ヒ及蟲幼ノバキカトマヤ  
(圖原)大藏EDB.大然自CA

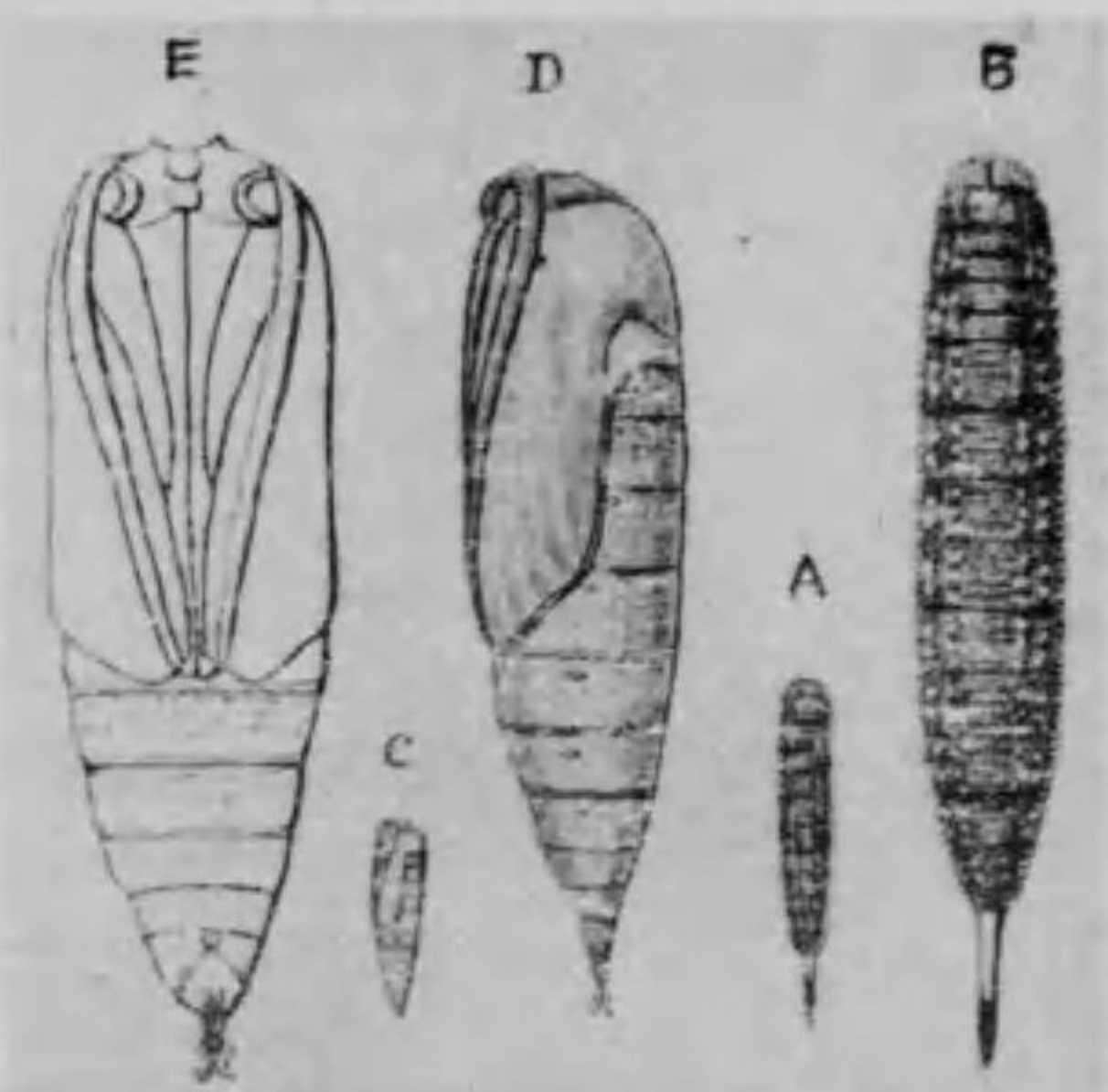


Fig. 6, Larva and pupa of Callidrepana japonica.  
A, C natural size; B, D, E enlarged.

點ヲ有シ第六腹節背ニハ八字形ノ黑點アリ第六七節ノ側方ニモ各黑點ヲ印ス氣門上線列ニハ鈍白色ノ扁平顆粒ヲ各節多クハ二個ヲ有ス氣門ハ黃褐色圓ヲ有ス氣門下線列ニハ鈍白色ノ顆粒ヲ列ヘテ少シク側方ニ突出ス胸脚ハ鈍白色ニシテ其基部ニ黑色縱線アリ尾狀突起ハ中庸ノ長サニシテ鈍白色ヲ呈シ末方ハ暗黑色ナリ。體長ハ頭ヨリ尾端マテ七分許既ニ營繭ニ着手セルモノヲ記載シタルニヨリ多少不完全ヲ免レ

ス。 蛹 鈍頭紡錘狀ニシテ淡黃褐色ヲ呈ス前方ハ褐色ヲ帶ヒテ前頭ニ著シキ黃白圓紋ヲ有ス頭部ノ觸角間及ヒ前胸背ニ短小ノ突起一對ヲ有ス腹部ニハ褐色ノ微刻點ヲ散布シ後方節ニ至ルニ從ヒテ其大サヲ減ス尾突起ハ濃褐色ニシテ數本ノ鈎狀剛毛ヲ生ス。體長三分七厘幅一分二三厘。

習性經過 蛾ハ岐阜ニ於テ四月中旬ヨリ七月下旬ニ亘リテ引續キ出現シ再ヒ九月下旬ヨリ十月中旬ニ亘リテ出現スルニヨリ少クトモ年二回ノ發生ナルコト明ナリ。幼蟲ハコナラノ葉ヲ喰ヒ十分成長スレハ葉ノ表面ノ中肋ノ兩側ヲ粗ク綴リテ粗繭ヲ作り其内ニテ化蛹ス余カ六月下旬ニ得タル幼蟲ハ六月廿八日ニ化蛹シ蛹期六日ニシテ七月四日ニ羽化シタリ發育ノ比較的早キコトヨリ考フレハ四月ヨリ七月ノ間ニ二

回ノ發生ヲナシ都合一年三回ノ發生ヲナスヤモ知ル可カラス。  
分布 日本本州千葉縣橫濱、岐阜。九州長崎。

十二 マヘキカギバ屬 Albaru, Walker.

成蟲 觸角ハ雄ニテ兩櫛齒狀ヲナシ雌ニテ剛毛狀ヲナシ纖毛ヲ生ス唇鬚ハ斜ニ前出シ第三節ハ尖リテ小ナリ。中脚脛節ニハ一對ノ後距ヲ後脚脛節ニハ各一對ノ中後距ヲ有ス前翅ハ前緣弧形ヲナシテ翅頂ハ鈎狀ヲナス第六脈ハ中室ノ前角ニ近ク獨立ニ發ス第七八脈ハ柄ヲ有シ第九十脈モ柄ヲ有シテ第八脈ト第九脈トハ纏ル、後翅ノ第八脈ハ彎曲シテ第七脈ニ接近ス。

分布 印度。東部亞細亞。  
種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ三種アリ其檢索左ノ如シ。

- A 翅ハ紫灰色或ハ暗青灰色ヲ呈ス。
  - 前翅ニ三條ノ暗橫線ヲ有ス ヒメハヒロカギバ A. parvula.
  - 前翅中央ニ黃灰色斑紋列ヲ有ス マヘキカギバ A. scabiosa.
- B 翅ハ淡黃褐色ヲ呈ス マンレーカギバ A. manleyi.

十六 マヘキカギバ

マヘキカギバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。同 續日本千蟲圖解第一。

ウスグロカギバ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。

學名 *Alhara aethiops*, Butler.

第三圖版 第二圖。第十圖版 第二十乃至第二十五圖。

成蟲 雌雄、頭部ハ茶褐色ニシテ頭部ハ橙色ナリ複眼ハ黑色ニシテ觸角ハ暗褐色ナリ。胸部及ヒ腹部ハ紫灰色ヲ呈ス。翅ハ紫灰色或ハ石盤石ヲ呈ス。前翅ハ前緣黃色ニシテ幽ニ波狀ヲナセル暗色ノ内横線及ヒ外横線ヲ見ル此等兩線ノ間ニテ亞中褶ヨリ第六脈ノ間ニ亘リ各脈間ニ黃灰色ノ橢圓紋アリ各紋ノ中央ハ多少暗褐色ヲ有ス亞外緣線ハ紫褐色ニシテ殆ント翅頂ニ近ク發ス此線ノ外方ハ濃色ナリ縁毛ハ地色ニ同シ。後翅ニハ幽ニ暗色ノ内横、中横、外横線ヲ見ル但シ後方ニテハ不明ナリ、黃灰鱗ヨリナル一個ノ室端點アルモ不明ナルコトアリ、縁毛ハ地色ニ同シ。裏面ハ黃灰色ニシテ前翅ハ翅頂ニ近キ部分黃褐色ヲ帶ヒ後緣部ハ白色ヲ帶フ、縁毛ハ黃灰色ナリ。體長 雄三分乃至三分二厘。雌三分二厘。翅張 雄一寸乃至一寸二厘。雌一寸五厘。

習性經過 余未タ此種ノ生活史ヲ知ラサレトモストランドのGrindノ記スル所ニヨレハ幼蟲ハ櫛ノ一種 *Quercus mongolica* ヲ食ヒテ八月ニ十分成長シ其葉ノ表面ノ縁ヲ一本ノ絲ニテ綴リ合セテ其間ニ身ヲ置キ化蛹シテ越冬ス。蛾ハ六月上旬ヨリ七月下旬マテ出現ス本邦ニテハ同一場所ニテ蛾カ四月及ヒ九月ニ採集セラレタルニヨリ少クトモ二回發生スルコト疑ナカルヘシ。分布 中央支那。アムール。朝鮮。日本(本州、信州、追分八月、飛騨、乘政(七八月交、岐阜附近六月)箕面(四月及ヒ九月)。九州。

## 十七 ヒメハイロカギバ

ヒメハイロカギバ 松村松年 續日本千蟲圖解第一。

學名 *Alhara parvula*, Loeb.

異名 *Drepama griseola*, Matsumura.

第三圖版 第三圖。

成蟲 雌雄、頭部紫灰色ニシテ前頭ハ多少灰色ヲ帶ヒ頭部ハ多少黃褐色ヲ混ス、複眼ハ黑色ナリ、觸角ハ灰色ニシテ腹面及ヒ基方ハ黃褐色ヲ呈ス。胸部ハ紫灰色ナリ。脚ハ黃褐色ニシテ灰色ヲ帶フ。腹部ハ淡黃褐色ニ灰色ヲ帶フ。前翅ハ紫灰色ニシテ前緣及ヒ前緣部ノ外方ハ多少黃褐色ヲ呈ス、内横線ハ暗色ニシテ略中室ノ前角ヨリ斜ニ後緣ニ至ル、外横線ト亞外緣線トハ暗色ニシテ共ニ翅頂ノ方向ヨリ發シ漸次距離ヲ廣クシテ斜ニ後緣ニ至ル、中室端ニ二箇ノ白點アリ、翅頂ニ接シ亞外緣線ノ前縁ニ當リ新月狀ノ黃白紋アリ其後方ハ黑線ニテ限ラル是ニ接シテ圓形ノ一暗紋アリ銀鱗ヲ點布ス、縁毛ハ地色ニ淡黃褐色ヲ混ス。後翅ハ前翅ヨリ淡色ニシテ内方ハ多少淡黃褐色ヲ帶フ、縁毛ハ淡黃褐色ナリ。裏面ハ前翅灰色ニシテ前緣部ハ黃褐色ヲ帶ヒ暗色弧形ノ外横線アリ。後翅ハ黃白色ニシテ外横線列ニハ各脈上ニ暗點ヲ印ス、縁毛ハ共ニ表面ニ同シ。體長 雄二分五厘。雌二分六厘。翅張 雄六分許。雌八分弱。

分布 中央及ヒ北部支那。アムール。日本(本州、飛騨、小坂(八月)、信州、追分(八月及十月)。同上高地(七月末)。九州(熊本)。

## 十八 マンレーカギバ

マンレーカギバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。  
學名 *Alburna manleyi*, Leech.

第三圖版 第五圖。

成蟲 雄 頭部ハ暗褐色ニシテ複眼ハ黑褐色ヲ呈シ觸角ハ褐色ナリ、胸部及ヒ腹部ハ暗黃褐色ニシテ脚モ亦暗黃褐色ナリ。翅ハ淡黃褐色ニシテ多少暗色ヲ帶フル部アリ、前翅ノ内横線ハク形ニシテ暗色ヲ呈シ中室端ニ暗褐點アリ、外横條ハ紫褐色ニシテ前縁ヨリ外方ニ走り第六脈ニ沿ヒテ濃厚トナリ外縁ニ達スルニ垂ントシテ鋭ク内方ニ折レ一直線ニ後縁ニ至ル、亞外縁線ハ紫褐色ニシテ少シク波形ヲナス、翅頂ニ近キ外縁部ハ紫褐色ヲ呈ス、外縁線ハ紫褐色ナリ、縁毛ハ紫褐色ニ黃褐色ヲ混ス。後翅ニハク形ノ内横線ト鈍キク形ノ中横線ト多少波形ヲナセル外横線、亞外縁線及ヒ外縁線トアリ皆紫褐色ヲ呈ス就中中横線最モ著シクシテ外横線最モ淡シ、室端點ハ暗色ニシテ小ナリ、縁毛ハ前翅ニ同シ。裏面ハ黃白色ニシテ前翅ノ大部分ハ煤色ヲ帶フ兩翅共ニ暗色ノ室端點ヲ有シ暗褐色ノ太キ外横線ト小キ亞外縁線トヲ有シ亞外縁線ノ外方ハ暗褐色ヲ帶フ縁毛ハ灰黃色ナリ。體長 三分。翅張 九分五厘。

分布 日本。(本州横濱。追分、八月。紀州、八月)。

十三 ウコンカギバ屬 (新屬) *Konjikia*, gen. nov.

成蟲 觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ末方ハ齒狀ヲナス、櫛齒ハ雄ニテ長ク雌ニテ短シ、唇鬚ハ上反ス、中

## 十九 ウコンカギバ

ウコンカギバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。  
キイロカギバ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。  
學名 *Konjikia crocea*, Leech.

第三圖版 第十九圖。第九圖版 第十圖乃至第十四圖。

後脚脛節ニハ各一對ノ後距ヲ有シ後脚ニ中距ヲ缺ク。前翅ノ前縁ハ弧形ヲナシ翅頂ハ著シク鈎狀ヲナス、第六、七、八脈ハ柄ヲ有シ、第九、十、十一脈モ柄ヲ有シ第九脈ト第八脈トハ連続テ長キ小室ヲ形成ス。後翅ハ第八脈ト第七脈ト連続ル。

蛹 頭部ニ一對ノ長キ角狀突起ヲ有ス。

模範種 ウコンカギバ。 *K. crocea*.

屬名ハ邦語ノ黄金色ニ因ム蓋シ模範種カ黃色ヲ呈スルニヨル。

分布 東部亞細亞。  
種類 此屬ノモノニシテ舊日本ニ産スルモノ一種アリ。

成蟲 雌雄、頭部ハ黃褐色ニシテ前頭ニ茶褐色横條アリ、複眼ハ黑色ナリ、觸角ハ黃褐色ニシテ櫛齒ハ多少暗色ヲ帶フ吻及ヒ唇鬚ハ黃褐色ナリ。胸部ハ黃色ナリ。脚ハ黃褐色ニシテ中、後脚ハ多少淡色ナリ。腹部ハ黃色ニシテ腹面ハ淡黃色ナリ。翅ハ黃色ニシテ前翅ニハ多少赤褐色ヲ混ス、前横線ハ齒狀ニシテ不明ナルコト多ク中横線ハ不正波形ヲナス後横線ハ波狀ニシテ多

第七圖



Fig. 7. Pupa of *Konjikia crocea* After Yano.

少不明ナリ此等ハ皆淡紫褐色ヲ呈ス中室端ニ二個ノ鈍白點アリ稀ニ三個ナルコトアリ外方ノモノ比較的大ナリ亞外縁線列ニハ暗褐點ヲ列ネ特ニ第四脈及ヒ第七脈間ニテハ暗褐圓紋トナリ外方ニ鈍白色ノ新月紋ヲ伴フ但シ後方ノ二個著シ此等ノ紋ノ外方ハ紫褐色ヲ帶フ縁毛ハ黄色ニシテ翅頂ニ近ク紫褐色ヲ呈ス。後翅ハ前縁部白色ヲ呈ス内横線外横線及ヒ亞外縁線ハ皆點列ニシテ暗褐色ヲ呈シ前方ハ不明ナリ中室端ニ暗褐色ノ8形紋アリ内部ハ白色ナリ縁毛ハ黄色ヲ呈ス。裏面ハ黄色ニシテ前翅ノ前縁部ニ鼠色ノ點狀外横線及ヒ亞外縁線ヲ見ル。體長

ウコンカギバ蛹

(矢野原圖)

雄三分五厘乃至四分。雌五分。翅張 雄一寸一分乃至一寸二分五厘。雌一寸三分五厘乃至一寸四分。習性經過 生活史ハ不明ナルモ幼蟲ハ多分クヌギノ葉ヲ食フナルヘシ。

蛹 ハ矢野ノ原圖ニヨレハ鈍頭紡錘狀ニシテ淡褐色ニ暗綠色ヲ混シ頭部ニ一對ノ異形角狀突起アリ短枝ヲ有シ末端ハ膨大シテ甚タ著シ腹背數節ニハ淡紅白色ノ環紋ヲ列ヌ(蛾ハ岐阜ニ於テ五、六月ト十一月ノ兩度ニ出現スルニヨリ年二回ノ發生ナルコト明ナリ)。

### 十四 ウスボシベツカフ屬 *Deroea*, Walker.

成蟲 觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ櫛齒ハ雄ニ長ク雌ニ短シ、吻ハ發育ス、中脚脛節ニハ一對ノ後距ヲ

後脚脛節ニハ各一對ノ中距ト後距トヲ有ス。翅ハ透明或ハ不透明ニシテ前翅ハ翅頂圓ク第六脈ハ雄ニテハ小室ヨリ發シ雌ニテハ小室ヨリ發スルコトアリ或ハ中室ヨリ發スルコトアリ第七脈ト第十脈トハ小室端ヨリ發ス。後翅ニハ翅刺ヲ有スルコトアリ或ハ之ヲ缺クコトアリ第八脈ハ第七脈ト強ク纏ル。

從來此屬ノ特徴中後翅ニ翅刺ヲ缺クコトハ要點ノ一トナレリ然ルニ邦産ノホシベツカフ *Phasma* ノ雄ニハ完全ナル翅刺ヲ存セリ雌ニツキテハ標本ヲ有セサル爲メ未タ之ヲ檢セス翅ハ鱗翅類ノ形態中比較的變化シ易キ部分ナルコト緒論ニモ述ヘタル通ナレハ翅刺ノ有無ヲ以テ直ニ別屬トスルハ少シク早計ニ失スル感アリ故ニ此ノ如キ場合ニハ寧ろ屬ノ特徴ヲ擴張スルヲ以テ當然ノ所置ナルヲ信シテ疑ハス、又ハンブリン等ノ舉ケタル特徴ハ前翅ノ第六脈ハ雄ニテハ小室ヨリ發シ雌ニテハ中室ヨリ發ス(トナレルモ是亦個體ニヨリテ多少ノ差ヲ見ルヘキニヨリ此點ニツキテモ少シク屬ノ範圍ヲ擴張シタリ)。

分布 舊北洲(日本、ヒマラヤ地方)、東洋洲(印度)。

種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ二種アリ一ハウスホシベツカフ *inconclua* ニシテ一ハホシベツカウ *Phasma* ナリ近世多數ノ學者ハ此兩者ヲ同一種ト見ルモ前述ノ如ク後者ハ翅刺ヲ有スルニヨリ明ニ前者ト區別スヘシ。

A 後翅ニ翅刺ヲ有セス、翅ノ紋理ハ甚タ淡シ。

ウスボシベツカフ *D. inconclua*.

B 後翅ニ翅刺ヲ有シ(少クトモ雄翅ノ紋理ハ顯著ナリ)。

ホシベツカフ *D. phasma*.

## 二十 ウスボシベツカフ

ウスボシベツカウ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。

學名 *Derocera incochulosa* Walker.

第三圖版 第八圖。第九圖版 第十五圖。

成蟲 雄 頭部ハ白色ニシテ複眼ハ黑色ヲ呈シ觸角ハ暗黒色ニシテ軸ハ白色ト交互ス。唇鬚ハ末節暗褐色ヲ帶フ。胸部ハ白色ニシテ肩板ニ多少黒毛ヲ混ス。脚ハ鈍白色ニシテ前脚ノ腿節ニハ黒縦線ヲ有シ跗節ハ暗色ヲ呈シテ各小節ニ白環ヲ有ス。腹ハ灰色ニシテ各節後縁ニ白條ヲ有ス。前翅ハ白色ニシテ半透明ヲナシ灰色ノ斑條ヲ有ス。亞基條ハ前縁ヨリ中室ノ後縁ヲ少シク過キテ消失シ其外方ニ之ト竝行セル同様ノ條アリ内横條モ略同様ナルカ後方ハ第一脈上ニ一圓紋ヲ印ス。中横條ハ分裂シテ圓紋トナリ一ハ前縁ニ接シ一ハ中室ノ前角上ニ次ハ中室ノ後角上ニアリ後者最モ大ニシテ紋中ノ脈ハ鈍白色ヲ呈ス。最後ノモノハ後縁ニ接ス。外横條ハ波狀ヲナスモ中途ニテ切斷シ亞外縁線ハ前者ニ接シテ多少點線列ヲナス。外縁ニ接シ各脈間ニ弦月斑ヲ有ス。但シ第三四脈間ニテハ不明ナリ。縁毛ハ白色ヲ呈ス。後翅ノ外横線、亞外縁線及ヒ外縁線列ニハ各脈間ニ各圓紋ヲ列ヌ。縁毛ハ白色ナリ。裏面ハ表面ニ比シテ紋理甚タ淡シ。體長三分餘。翅張 一寸一分許。

雌 雄ヨリ大形ニシテ翅ハ一層透明ニ紋理ハ極メテ淡ク往々無紋ニ近キモノアリ。體長

三分六厘。翅張 一寸二分許。  
分布 印度。日本本州、大山、追分(八月)、高尾山(五月)、九州。

## 二十一 ホシベツカフ

ホシベツカウ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。同 續千蟲圖解第一。

マダラウスギヌ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。

學名 *Derocera phasma*, Butler.

第三圖版 第十五圖。第九圖版 第十六圖乃至第二十圖。

成蟲 雄 頭部ハ白色ニシテ複眼ハ黑色ヲ呈シ觸角ハ暗褐色ニシテ軸ハ白色ト交互ス。胸部ハ白色ニシテ肩板ニ黒色ヲ混ス。脚ハ鈍白色ニシテ外側ハ暗黒色ヲ呈シ附各小節ニ白環ヲ有ス。腹部ハ灰色ニシテ各節後縁ニ白條ヲ有ス。翅ハ半透明白色ニシテ暗灰色及ヒ暗黒色ノ斑條ヲ有ス。亞基條ハ前縁ヨリ中室ノ後縁ヲ少シク過キテ消失シ其外方ニ略同様ノ一條アリ内横條モ略同様ナルモ後方ハ後縁ニ接シテ一圓紋ヲ印ス。此等ノ斑條ハ皆暗灰色ナリ。中横線列ニハ前縁ニ接シ一斑ヲ印シ中室ノ後角上ニ圓紋ヲ有ス。翅脈ハ此紋中ニテ白色ヲ呈ス。其前方ニ一圓紋アリ往々前者ト癒合ス。此等ノ斑紋ハ皆暗黒色ナリ。後縁ニ接シ暗灰ノ一紋アリ。亞外縁線ハ前縁ニ近ク著シキ鋸齒狀ヲナシ中途ニテ切斷シ後方ニテハ波形状ヲナシテ後縁ニ至ル。此紋中ニ鈍白横線ヲ有ス。外縁線ハ齒狀ヲナシ第三、四脈間ニテ不明ナリ。此等ノ條ハ皆暗黒色ナリ。縁毛ハ白色ニ暗黒色ヲ混ス。後翅ニハ稀ニ不明ノ内横條ヲ存ス。外横線、亞外縁線、及ヒ外縁線等ハ皆暗灰色

ニシテ多少點列狀ヲナス、縁毛ハ白色ナリ。裏面ハ略表面ニ同シ。體長 二分二厘乃至三分。翅張 九分乃至一寸〇五厘。

雌 余ハ未タ雌ヲ見サルモバツトラー Butler ノ原記載ニヨレハ「大形ニシテ虹様光彩ヲ有シ、紋理ハ淡シ。翅張ハ一寸二分五厘許」トアリ。

分布 日本(本州)日光(九月)横濱(飛騨)小阪(八月)信濃(追分七、八月)高尾山(八月)駒ヶ岳(八月)。

### 十五 インドカギバ屬 *Oreta*, Walker.

成蟲 觸角ハ雌雄共ニ鋸齒狀ヲナス、吻ヲ缺ク、唇鬚ハ短クシテ頭部ヲ超過セス第三節甚タ小ナリ。體ハ可ナリ肥大ナリ。脚ハ密毛ニテ被ハレ後脚脛節ニハ小サキ一對ノ後距ノミヲ存ス。前翅ハ翅頂鈎狀ニ曲ルモ末端ハ圓ミヲ帶フ第六脈ハ中室ノ前角ヨリ發シ第七、八脈ハ柄ヲ有ス第九、十、十一脈モ柄ヲ有ス、第九脈ハ七、八脈ト纏レテ長キ小室ヲ形成ス。後翅ノ第八脈ハ第七脈ニ接近スルモ癒合セス。

分布 舊北洲。東洋洲。新北洲。

種類 從來日本産トシテ知ラレタル此屬ノモノ五種アリ其檢索左ノ如シ。

A 翅ハ淡褐色ニシテ前翅ニ灰色ノ二斜線アリ。

ハヒロカギバ *O. turpis*.

B 翅ハ黄色或ハ赤褐色ヲ呈ス。

a 前翅ニハ翅頂或ハ其附近ヨリ後縁ニ斜ニ走ル黄條ヲ有ス。

a' 後角ニ近ク暗黒斑ヲ有ス。

インドカギバ *O. extensa*.

b' 後角ニ近ク暗黒斑ヲ有セス、稀ニ之ヲ有スルモ小ナリ。

アシベニカギバ *O. pulchripes*.

b 前翅ニハ翅頂或ハ其附近ヨリ後縁ニ斜ニ走ル暗黒線ヲ有ス。

a' 横脈上ニ灰白色ノ新月毛アリ。

アカカギバ *O. auripes*.

b' 中室端ニ暗黒色ノ圓斑アリ。

クロスチカギバ *O. calida*.

### 二十二 インドカギバ (新稱)

學名 *Oreta extensa* Walker.

第三圖版 第十四圖。

成蟲 雄 頭部ハ赤橙色ニシテ複眼ハ暗黒色ヲ呈シ觸角ハ黄褐色ナリ。胸部ハ淡赭褐色ニシテ頸板及ヒ肩板ハ黄白色ヲ帶フ其腹面及ヒ脚ハ橙赤色ニシテ脚ノ各脛節外側ニ黒線ヲ有ス。前翅ハ赤褐色ニシテ前縁及ヒ基部ハ多少黄色ヲ帶フ横脈上ニ二個ノ白點ヲ有ス、殆ント翅頂ヨリ斜ニ後縁ノ略三分二ノ所ニ至ル黄條アリ多少後方ニ其幅ヲ加フ此條ノ内外ハ多少暗線ニテ限ラル、モ後外方ニテハ之ヲ缺ケリ後角ニ近ク一暗斑アリ、縁毛ハ地色ニ多少暗赭褐色ヲ混ス。

後翅モ赤褐色ニシテ中央部ハ多少黄色ヲ帯ヒ全體ニ多少暗色ノ小點ヲ撒布ス横脈上ニ二個ノ白點ヲ有ス縁毛ハ大略地色ニ均シ。裏面ハ前翅橙赤色ニシテ多少暗點ヲ撒布シ翅頂ヨリ斜ニ後縁ニ至ル不明ノ暗條アリ翅頂ニ近キ外縁部ニ暗斑ヲ有ス後翅モ橙赤色ニシテ中央部ハ多少黄色ヲ帯ヒ全體ニ多少褐色點ヲ撒布ス。體長 四分五厘内外。翅張 一寸二分五厘内外。

雌、雄ニ比スレハ著シク肥大ニシテ彩色ハ大同小異ナルモ前翅ノ前縁基部ハ淡紅白色ヲ呈シ後角ニ近ク灰色鱗ヲ撒布ス脚ハ黄色ニ赤橙色ヲ混ス。體長 四分六分。翅張 一寸七分内外。

右ハ余カ手ニセル標本ニツキテ記載シタルモ此種ノ彩色ハ甚タ變化多キモノナレハ或ハ黄色ノ部分多クシテ赤褐色ノ部分少キモノアリ或ハ全ク一様ノ彩色ヲナセルモノアリトイフ。

幼蟲 歐洲學者ノ記スル所ニ據レハ幼蟲ハ「ジャバニ於テ四五月ノ頃サンタンクワ屬 *Lycia* (茜草科)ノ一種ヲ食ヒ十分成長スレハ葉ヲ捲キテ繭ヲ營ム」トイフ。

習性經過 本邦ニ於ケル生活史ハ不明ナリ但シ蛾ハ九州ニ於テ八月ニ出現ス。

分布 印度。セイロン。フルマ。ジャバ。臺灣。琉球。日本(九州長崎縣)。

### 二十三 アシベニカギバ

アシベニカギバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。同 續日本千蟲圖解第一。

キハダカギバ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。

キオビカギバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。同 續日本千蟲圖解第

一。

キマダラカギバ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。

學名 *Oreta pulchripes*, Butler.

異名 *Oreta calceolaria*, Bat

第三圖版 第十一圖。

アシベニカギバ一名キハダカギバ *O. pulchripes* トキオビカギバ一名キマダラカギバ *O. calceolaria* トハ共ニバツトラニヨリ別種トシテ發表セラレタリ。從テリーチ Leach モ此等兩者ノ彩色紋理ニ甚タシキ變化アルコトヲ觀察シナカラ始メハ此等ヲ別種トシタリ然ルニ其後キマダラカギバハ全クアシベニカギバノ變形ナルコトヲ斷シテ此等ヲ一種ニシタリ。最近スツラ *And Strand* モ亦此等ヲ一種トセリ余ハ未タ此等ヲ飼育シタルコトナキニヨリ根抵アル論據ヲ有セサレトモ多數ノ標本ニツキテ之ヲ觀察スル時ハ此等ノ間ヲ連續セシムヘキ個體ノ存在セルヲ見ルニヨリ前二學者ノ意見ニ從フコト、セリ。

成蟲 前述ノ如ク此種ハ色彩紋理ニ甚シキ變化アルカ其因リテ來ル所ハ主ニ褐色ト黄色トノ割合ノ多少ニ歸ス。

雌、雄、頭部ハ橙赤色ニシテ後頭ハ黃褐色ヲ帯フ複眼ハ黑褐色ヲ呈シ觸角ハ黃褐色ナリ。胸部ハ赭褐色ニシテ頸板ハ多少黄色ヲ帯フ。脚ハ橙赤色ニ黄色ヲ混シ中後脚脛部ノ外側ニ一本ノ黑縦線ヲ有ス。腹部ハ赭黄色ニシテ腹面ハ橙黄色ヲ呈ス。翅ハ赤褐色ニシテ暗點ヲ多少規則的ニ撒布ス。往々橄欖色ヲ帯フルコトアリ前翅ハ前縁黄色ニシテ前縁部ハ多少紅白色ヲ帯フ。



基部淡色ナル時ハ中央ノ地色ハ廣帶狀ヲナス、横脈條ニク形ノ鈍白紋アリ又其後方ニ一鈍白點ヲ印ス、翅頂ヨリ後縁ノ中央ヨリ少シク外方ニ走ル黄色ノ斜條アリ少シク波狀ヲナス、後角ニ近ク暗斑ヲ有スルコトアリ、縁毛ハ黄褐色ナリ。後翅ハ暗點ヲ數列ニ布ケルコト多少前翅ヨリモ著シ、横脈上ニ二個ノ鈍白點ヲ有スルコトアルモ或ハ之ヲ缺ク、縁毛ハ黄褐色ナリ。裏面ハ黄褐色或ハ黄橙色ニシテ暗點或ハ褐點ヲ撒布ス、前翅ニ暗色ノ中横條アリ少シク波狀ヲナス。今前ノ如キ彩色ノモノカ前翅ニテハ基部ニ黄色ヲ加ヘ、翅頂ヨリノ黄色斜條カ其外方ニ其黄色ヲ増シ、後翅ニテハ基部ノミ赤褐色ヲ呈シテ大部分黄色ヲ呈スル時ハ前ニ舉ケタルキオビカギバト稱セル一變形 *forma Calceolaria* トナル尙此變形中ニモ多少ノ差アリテ黄色ノ部分ニハ全ク暗色ノ點列ヲ缺ケルモノアリ。裏面ハ殆ント表面ニ均シキモ一般ニ黄色ニ富メリ。體長 雄四分乃至四分三厘。雌四分二厘乃至四分五厘。翅張 雄一寸乃至一寸一分五厘。雌一寸一分乃至一寸二分。

尙ホ琉球ニ産スル一變種ニシテキオビカギバニ類似スルモ前翅ハ其色鈍クシテ後角ニ近ク二黒點ヲ有シ後翅ハ翅頂褐色ニシテ中央ニ暗點ヲ有スルモノアリ之ヲ *Lochoorina Swinh.* ト名ツク。幼蟲 歐洲學者ノ記スル所ニヨレハ、幼蟲ハ灰色、褐色及ヒ赤色等ヲ混シテ大理石様紋理ヲ呈ス、アムール地方ニテハ六月ニ出現シガマズミ屬 *Yibumia* ノ葉ヲ食ヒ通常一頭ツ、葉ノ表面ニ居ルヲ見ルヘシ化蛹ノ際ニハ葉ノ一部ヲ捲キテ圓筒狀トナシ其兩端ヲ閉サスニ白色絹網ヲ以テス。

習性經過 蛾ハ六月ヨリ九月ニ涉リテ出現ス、多分年ニ少クトモ二回ノ發生ヲナスナランブラ

イヤーニ據レハ、幼蟲ハ野葡萄ノ葉ヲ食フトイフ。

分布 東部西比利亞(アムール、ウスリー)。西支那。日本、北海道。本州(日光九月)、東京、鴻巣(六月)、横濱、追分(七八月)、飛騨、乘政(七八月)。琉球。

## 二十四 アカカギバ (新稱)

學名 *Oreta auripes*, Butler.

第三圖版 第十一圖。

成蟲 雌 頭部ハ朱赤色ヲナシ後頭ハ橙褐色ヲ呈シ唇鬚ハ淡赤色ニシテ觸角ハ黄褐色ナリ。胸部ハ淡黄褐色ニシテ其腹面ハ淡赤色ヲ呈ス。脚ハ赤色ニシテ前脚脛節ノ胼片ハ黒色ニシテ末端黄色ヲ呈ス。腹部ハ黄褐色ニシテ其腹面ハ赤褐色ナリ。前翅ハ褐色ニシテ基部ハ多少黄色ヲ帶ヒ前縁ノ中央ハ橙赤色ニシテ末方ハ黄色ナリ、全面ニ濃褐色點ヲ撒布ス、中室端ニ暗灰色ノ新月狀點アリ其後方ニ又同色ノ二點アリ、外横線ハ黄色ニシテ前縁ヨリ斜ニ外方第六、七脈ノ間ニ至リ角ヲナシテ内方ニ向ヒ斜ニ後縁ニ至ル此線ノ内外ニハ多少暗灰線ヲ伴ヒ前縁部ニテハ此線ノ内方ニ新月狀ノ暗斑アリ、縁毛ハ暗褐色ナリ。後翅ハ褐色ニシテ中央ハ多少黄色ヲ帶ヒ濃褐色ヲ撒布ス、中室端ニ暗灰點アリ其後方ニ同色ノ一點アリ、縁毛ハ暗褐色ナリ。裏面ハ前翅赤橙色ニシテ暗點ヲ撒布シ、外縁線ハ暗色ヲナス、翅頂ノ後方外縁ニ沿ヒ暗色ヲ帶フ、縁毛ハ暗褐色ナリ、後翅ハ略表面ニ同シクシテ赤色ヲ帶ヒ中室端ニ灰色點アリ。體長 四分五厘。翅張一寸三分。

第八圖  
ハギカロイヒハ  
(圖原-ラトツバ)



Fig. 8. Oreta turpis.  
After Butler.

余ハ未タ此種ヲ手ニシタルコトナキニヨリバツトラー Butler ノ原記載ヲ引用セン。  
成蟲 淡褐色ニシテ光澤アリ、外縁部ハ黒點ヲ撒布ス、縁毛ハ暗茶褐色ナリ、前翅ニハ灰色ノ斜線  
二本アリテ翅頂ニ向ヒ暗黒色ヲ呈ス、翅頂ニ近ク黒鉛色ノ短條アリ、翅  
頂ニ於ケル前縁及ヒ翅頂ノ後方彎曲部ノ縁毛ハ黒色ナリ。後翅ハ前  
縁部淡色ニシテ翅頂部ハ比較的暗色ヲ呈ス。胸部ハ赤褐色。腹部ハ  
淡褐色ニシテ尾部總毛ハ黄色ヲ呈ス。裏面ハ黄褐色ニシテ灰色點ヲ  
散布ス、縁毛ハ褐色ナリ。翅張 一寸〇七厘許。  
産地 横濱。

附記 此種ハ非常ニ稀ナルモノト見エ最初ニ採集セラレタル模範標本カ大英國博物館ニ在ル  
外ニ未タ他ニテ採集セラレタルヲ聞カス。

### 二十六 クロスチカギバ

クロスチカギバ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。同 昆蟲世界第四百十  
二號。

ガマズミノイモムシテフ 佐々木忠次郎 日本樹木害蟲篇下卷。

フタツメカギバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。同 續日本千蟲圖解

第一。

學名 Oreta calida Butler.

第三圖版 第十三圖。第十圖版 第七乃至第十三圖。

成蟲 雌雄、頭部及ヒ胸部ハ暗紅褐色ニシテ複眼ハ黒色ヲ呈シ觸角ハ黄褐色ナリ。脚ハ橙褐  
色ニシテ中、後脚脛節ノ外側ニ黒縦線ヲ有ス腹部ハ暗赤褐色ニシテ側部ハ多少淡シ。翅ハ褐色、  
黄褐色又ハ暗赤褐色ニシテ帶紫暗點ヲ多少點列狀ニ撒布ス、前翅ハ内横線紫黒色ニシテ多少齒  
牙狀ヲナス、略中央ニ茶褐斑アリテ其中央新月形ノ小白點ヲ印ス但シ此斑紋ハ羽化ノ始メニ顯  
著ナルモ後ニハ朦朧トナリ易シ、翅頂ニ近キ前縁ヨリ紫褐色ノ外横線ヲ外方ニ向ケテ發シ第六  
七脈ノ間ニテ銳角ヲナシ内方ニ向ヒテ殆ント一直線ニ後縁ニ至ル、此線ハ外方ニ黄褐線ト暗褐  
線トヲ伴ヒ暗褐線ハ翅頂ニ近ク外縁ニ向ヒテ曲ル縁毛ハ黒色ト黄褐色トヲ混ス。後翅モ前翅  
ト同色ニシテ紫黒點ヲ散布セルカ特ニ中央ヨリ外方ノ點ハ多少點列ヲナセリ、内横線及ヒ中横  
線ハ共ニ紫褐色ニシテ多少彎曲シ後縁部ニ分明ナリ但シ往々不明ナルコトアリ、縁毛ハ茶褐色  
ナリ。裏面ハ表面ニ比シテ黄色或ハ橙色ヲ帶ヒ暗點ヲ散布ス、前翅ニハ紫褐色ノ外横線ヲ後翅  
ニテハ同色ノ中央線ヲ見ル。體長 雄四分内外。雌五分五厘内外。翅張 雄一寸一分内外。  
雌一寸四分内外。  
卵 橢圓狀ニシテ么微ノ突起ヲ密布シ初メ黄色ニシテ後褐色ニ變ス長徑〇六ミ、メ許。

分布 支那。日本(本州)日光(八月)伏木(七月)箕面(八月)播磨。

### 二十五 ハヒロカギバ (改稱)

ハヒロカギバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。

學名 Oreta turpis, Butler.

幼蟲 體色ハ幼齡ト老齡ノモノトニヨリ差異アリ又同齡ノモノニモ多少ノ變化アルモ之ヲ總括スレハ幼齡ニ三様ト老齡ニ二様アルヲ見ル幼齡ノ時ノ三様トハ黃褐及ヒ綠ノ地色ニ黑褐色ノ斑紋ヲ有スルモノニシテ老齡ノ時ノ二様トハ綠色ノ地色ニ暗褐色部ノ多キト少キトニアリ幼老期ヲ通シテ此幼蟲ノ有セル形態ハ頭部ノ左右顛頂片ニ各一個ノ短角突起ヲ有セルト胸部第一節ノ背上ニ二個ノ短突起第三胸節背ニ一個ノ肉角突起ヲ有セルト中庸ノ尾狀突起ヲ有セルコト是ナリ又紋理ノ共通セルハ腹部ノ側方ニ於ケル黑褐色或ハ紫褐色ノへ字形條ナリ今十分生長シタルモノノ普通形ヲ述ヘンニ頭部ハ暗褐色ニ黃褐色ヲ混シ黃灰色ノ顆粒ヲ散布ス胸部ハ綠色ニシテ胸部第一二節背ハ暗褐色ヲ呈シテ第一節ノ短突起ハ黃褐色ナリ第三節背ノ肉角突起ハ暗褐色ニシテ小顆粒ヲ密布ス腹部第一節乃至第七節ノ背面一帶ハ暗褐色ヲ呈シテ胸部第三節ヨリ腹部第六節ニ亘リ不完全ナル暗褐色ノ亞背線ヲ見ルヘシ腹部第一節ノ側部ニ短キ暗褐色ノ斜條アリ前下方ヨリ後上方ニ走ル第二節ヨリ第三四節ニ亘リ黑褐或ハ紫褐色ノ斜條アリ第四節ノ亞背線ニ達セントシテ再ヒ下方斜ニ第五六節ニ走ル是即チ前述ノへ字形條ナリ尾狀突起ハ暗褐色ヲ呈シ淡黃色ノ二環ヲ旋ラシ小顆粒ヲ密布ス各節ハ多ク三個ノ橫皺ヲ有ス基線列ハ縱褶ヲナシテ前方及ヒ後方各節ハ白色或ハ黃色ヲ呈シ腹部第二乃至第六節ノ此部分ハ淡紅色ヲ呈シテ白顆粒ヲ散布ス腹面ハ灰白色ナリ十分生長スレハ長サ一寸三四分尾狀突起ノ末端マテニ達ス。

蛹 橢圓狀ニシテ化蛹ノ始メテ淡黃色ナルモ漸次黑褐色ニ變シ腹部ハ多少黃褐色ヲ帶フ頭部ニハ一對ノ短キ針狀突起ヲ有ス頭部及ヒ胸部ニハ黃粉或ハ白粉ヲ裝フ長徑五六分。

習性經過 未タ一年間ノ經過ヲ明ニセサルモ年ニ二回發生或ハ三回(スルコトハ明ニシテ幼蟲ハ四月上旬ニ出現シカマズミゴマキサンゴジュ等ノ忍冬科ノ植物ノ葉ヲ食フ四月末乃至五月中旬ニ至リ老熟スレハ葉ヲ捲キテ鞘狀物ヲ形成シ其内方ニ繭ヲ績ク繭ハ上方廣ク下方尖リテ略倒圓錐狀ヲナシ餘リ厚カラサルモ罅隙ヲ存スルコトナシ白色ニシテ光澤ヲ有スレトモ捲葉内ニ在ルヲ以テ一見之ヲ知り難シ營繭ヨリ化蛹マテニハ二三日間ヲ要シ蛹期ハ略二週間ナリ從テ羽化期ハ五月中旬ヨリ六月上旬ニ及フコレ第一回ノ蛾ナリ蛾ハ羽化後間モナク産卵シ之ヨリ孵化シタル幼蟲ハ再ヒ老熟營繭シテ化蛹シ七月下旬乃至八月中旬ニ第二回ノ蛾ヲ發ス然ルニ九月下旬ヨリ十月上旬ニ復蛾ヲ見ルコトアルニヨリ個ハ多分第三回發生ノ蛾ナラン越冬ノ狀態ハ明ナラサレトモ十二月ニ一回此蛾ノ採集セラレタルコトアルヨリ察スレハ或ハ成蟲ニテナスナラン。

分布 日本(北海道。本州東京横濱岐阜追分(七月)箕面(八月))。

## 十六 アカウラカギバ屬 *Hypsonadius*, Butler.

成蟲 觸角ハ鰓片狀ヲナス唇鬚ハ小ニシテ基節最モ長ク末節最モ小ナリ吻ヲ缺ク。體軀ハ肥大ナリ。脚ハ腿節ヨリ跗節ニ至ルマテ毛ニテ被ハレ中脚後脚ノ脛節ニハ一對ノ短小ナル後距ヲ有ス。前翅ハ前縁ノ基部少シク彎出シソレヨリ直線ヲナシ翅頂ニ近ツクニ從ヒ著シク弧形ヲナス翅頂ハ鈎狀ヲナスモ雌ニテハ著シカラス外縁ハ少シク彎入ス第五脈ハ第四脈ニ接近シテ發ス第六脈ハ中室前角ノ少シク後方ヨリ發ス第七八脈ハ柄ヲ有シ第九十十一脈モ亦柄ヲ有

第九脈ト第八脈トハ縫レテ狭長ナル小室ヲ形成ス。横脈ハ中央ニ角ヲ有ス。後翅ハ略三角形ヲナシ前縁ハ殆ント一直線ヲナシ外縁ハ弧形ヲナシ後縁ハ少シク彎入ス翅刺ヲ缺ク。第四脈ト第五脈トハ中室ノ後角ヨリ發ス横脈ハ角ヲ有ス。

分布 日本。

種類 舊日本産ニテ此屬ノモノ一種アリ。

二十七 アカウラカギバ

アカウラカギバ 長野菊次郎 日本鱗翅類汎論。

ムナベニトガリバ 松村松年 日本昆蟲總目錄第一。

ムナベニカギバ 松村松年 昆蟲分類學。同綴日本千蟲圖解第一。

學名 *Hypsomadius insignis*, Butler.

第三圖版 第十七圖。第十圖版 第十四乃至第十九圖。

成蟲 雄 頭部ハ紅色ニシテ複眼ハ黑色ヲ呈シ觸角ハ黃褐色ナリ。胸部ハ帶紫灰白色ニシテ頸板ハ多少淡色ナリ。腹面ハ赤色ニ淡黃褐色ヲ混ス。脚ハ緋色ニ黃褐色ヲ混ス。腹背ハ帶紫灰白色ニシテ基節ニ弦月形ノ黒斑ヲ印シ腹面ハ緋色ナリ。翅ハ帶紫灰白色ニシテ多少不規則ニ暗褐色ヲ撒布ス。前翅ハ前縁黃褐色。内横線ハ茶褐色ニシテ鋸齒狀ヲナシ前方ハ不明ナリ翅頂ヨリ後縁ノ殆ント中央ニ走レル紅褐色ノ一線アリ少シク弧形ヲナス。翅頂ニ近キ前縁部ハ多少紫褐色ヲ帶フ縁毛ハ黃褐色ナリ。後翅ハ前縁部帶紅黃灰色ヲ呈シ弧形ノ内横線ト鋸齒狀ノ中横

第九圖  
アカウラカギバノ幼蟲及蛹  
(矢野原圖)



Fig. 9.  
Larva and pupa of  
*Hypsomadius insignis*.  
After Yano.

線トハ茶褐色ニシテ共ニ前方ハ不明ナリ縁毛ハ黃褐色ヲ呈ス。裏面ハ赤橙色ニ多少紫色ヲ帶ヒ暗灰色點ヲ多少規則的ニ撒布ス。前翅ハ翅頂ニ近キ部分黃色ニシテ幽ニ翅頂ヨリ後縁ニ至ル斜線ヲ見ルヘシ。體長 五分乃至六分。翅張 一寸三分五厘乃至一寸五分。

雌 彩色紋理ハ雄ニ同シキモ前翅ノ外縁ハ雄ニ於ケルカ如ク彎曲セサルニヨリ翅頂ハ甚シク鈎狀ヲナス。體長 五分半。翅張 一寸五分乃至一寸六分。

幼蟲 矢野宗幹ノ原圖ニ據レハ頭部ハ暗褐色ニシテ顛頂片ニ角狀突起ヲ有シ額片ハ白色ヲナス胸部ハ帶紫暗褐色ニシテ側面ハ前半紫灰色ヲ呈シ後半ハ黃灰色ヲ呈ス。腹部第七節以下ノ腹面ハ黑褐色ナリ第三胸節背ニ暗褐色ノ一突起ヲ有シ背線ハ黑褐色ナリ。亞背線ハ暗藍色ニシテ不規則ニ波狀ヲナス。尾狀突起ハ長クシテ淡紅紫色ヲ呈シ基部ト未方トハ暗褐色ニシテ中央ハ黑褐色ナリ。此他幼蟲ノ體色ニハ赤色ヲ帶ヒタ

ルモノ暗色ヲ帶ヒタルモノ等種々アリトイフ。

蛹 矢野ノ原圖ニ據レハ長橢圓狀ニシテ茶褐色ヲ呈シ腹面ハ翅鞘ヨリ腹部第七節ニ至ルマテ多少灰黃色ヲ帶フ頭部及ヒ胸背ニハ淡黃粉ヲ裝フ體長七分餘ナリ。

習性經過 蛾ハ岐阜ニ於テ六月ト八月トニ採集スヘキニヨリ少クトモ年二回ノ發生ナルヘシ幼蟲ハ矢野ノ調査ニ據レハユズリハノ葉ヲ食フトイフ。

PLATE I.

第一圖版

名和昆蟲研究所報告 第貳號 (終)

分布 日本(本州、橫濱、東京(八月)、岐阜、九州)。



C. NAGAKU DEL.

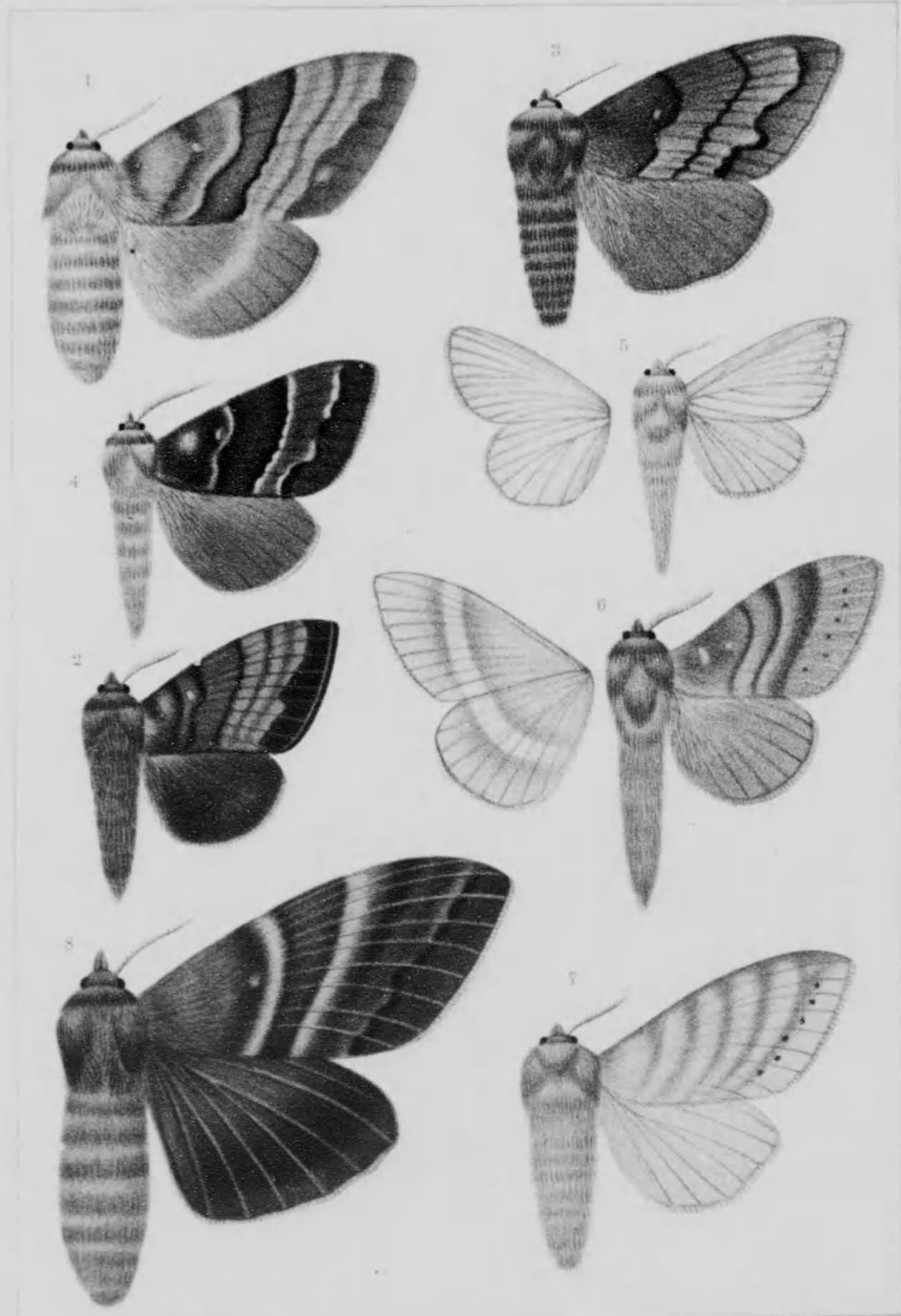
第一圖版説明  
 (各圖皆自然大)

EXPLANATION OF PLATE I.  
 (All figures natural size)

- 1. オビカレハ 雄.....Malacosoma nenstria testacea, ♂.
- 2. オビカレハ 雌..... ♀ ♀ ♀ ♀.
- 3. ミヤケカレハ 雄.....Takanea miyakei, ♂.
- 4. ギンモンカレハ 雄.....Eriogaster argentomaculata ♀, ♂.
- 5. タケカレハ 雄.....Cosmotriche albomaculata, ♂.
- 6. ヨシカレハ 雄.....Epinaptera ilicifolia japonica, ♂.
- 7. ヒメカレハ 雌.....Cosmotriche potatoria, ♀.
- 8. カレハガ 雄.....Gastropacha quercifolia, ♂.
- 9. ホシカレハ 雄.....Gastropacha populifolia, ♂.
- 10. リンゴカレハ 雄.....Odonestis pruni, ♂.
- 11. マツカレハ 雄.....Dendrolimus spectabilis, ♂.
- 12. マツカレハ 雄..... ♀ ♀ ♂.
- 13. マツカレハ 雌..... ♀ ♀ ♀.
- 14. マツカレハ 雌..... ♀ ♀ ♀.

PLATE II.

第  
二  
圖  
版



W. SAUNDY DEL.

第二圖版說明  
 (各圖皆自然大)

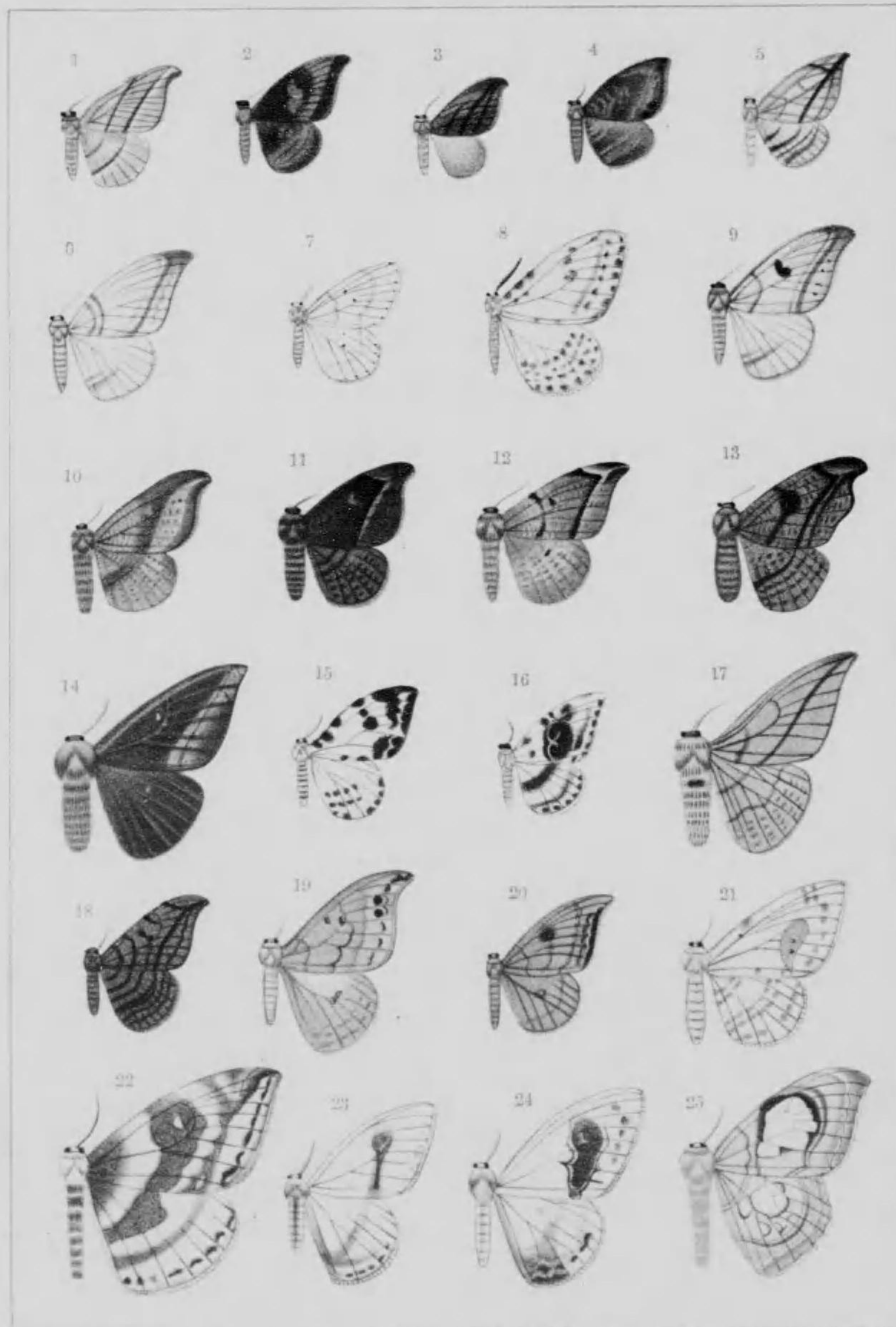
EXPLANATION OF PLATE II.  
 (All figures natural size)

- 1. クヌギカレハ 雌.....Dendrolimus undans excellens, ♀.
- 2. クヌギカレハ 雄..... ♂
- 3. ツガカレハ 雌.....Dendrolimus Superans, ♀.
- 4. ツガカレハ 雄..... ♂
- 5. ムザカレハ 雄.....Dendrolimus ochroleucus, ♂.
- 6. ヤマダカレハ 雄.....Kunugia yamadai, ♂.
- 7. ヤマダカレハ 雌..... ♀
- 8. イハサキカレハ 雌.....Dendrolimus iwaskii, ♀.



PLATE III.

第  
三  
圖  
版



K. NAKANO DEL.

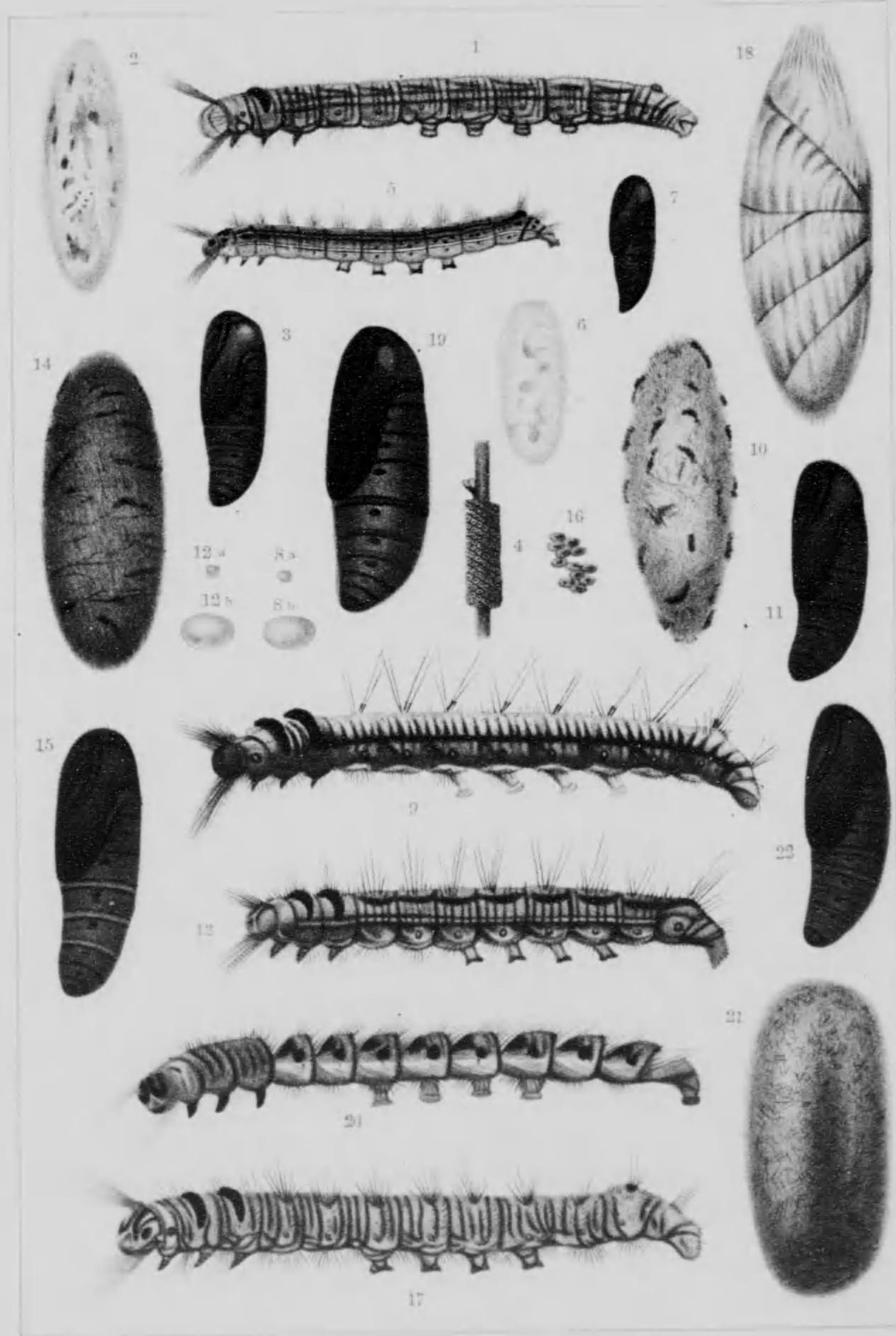
第三圖版説明  
 (各圖皆自然大)

EXPLANATION OF PLATE III.  
 All figures natural size)

1. ヤマトカギバ 雄.....Callidrepana japonica, ♂.
2. マヘキカギバ 雄.....Albara scabiosa, ♂.
3. ヒメハヒロカギバ 雄.....Albara parvula, ♂.
4. キンスザカギバ 雄.....Mimoszethes argentilinearia, ♂.
5. マンレーカギバ 雄.....Albara manleyi, ♂.
6. ウスイロカギバ 雄.....Callidrepana palleolus, ♂.
7. フタテンシロカギバ 雄.....Leucodrepanilla sacra, ♂.
8. ウスボシベツカフ 雄.....Deroea inconclusa, ♂.
9. ギンモンカギバ 雄.....Callidrepana argenteola, ♂.
10. アシベニカギバ 雄.....Oreta pulchripes (calceolaria), ♂.
11. アシベニカギバ 雄.....Oreta pulchripes, ♂.
12. アカカギバ 雌.....Oreta auripes, ♀.
13. グロスザカギバ 雄.....Oreta calida, ♂.
14. インドカギバ 雌.....Oreta extensa, ♀.
15. ホシベツカフ 雌.....Deroea phasma, ♀.
16. マダラカギバ 雌.....Callicilix abraxata, ♀.
17. アカラウカギバ 雄.....Hypsemadlius insignis, ♂.
18. オビカギバ 雄.....Falcaria curvatula, ♂.
19. ウコンカギバ 雄.....Konjikia crocea, ♂.
20. ウスオビカギバ 雄.....Drepana harpagula, ♂.
21. ヒトツメカギバ 雄.....Auzata superba, ♂.
22. オホカギバ 雄.....Euchera capitata, ♂.
23. ウスギヨカギバ 雄.....Macrocilix mysticata, ♂.
24. モンウスギヨカギバ 雄.....Macrocilix maia, ♂.
25. スカシカギバ 雄.....Macrauzata fenestraria, ♂.

PLATE IV.

第  
四  
圖  
版



K. NAGANO DEL.

第四圖版説明

(8b及12bヲ除ク外皆自然大)

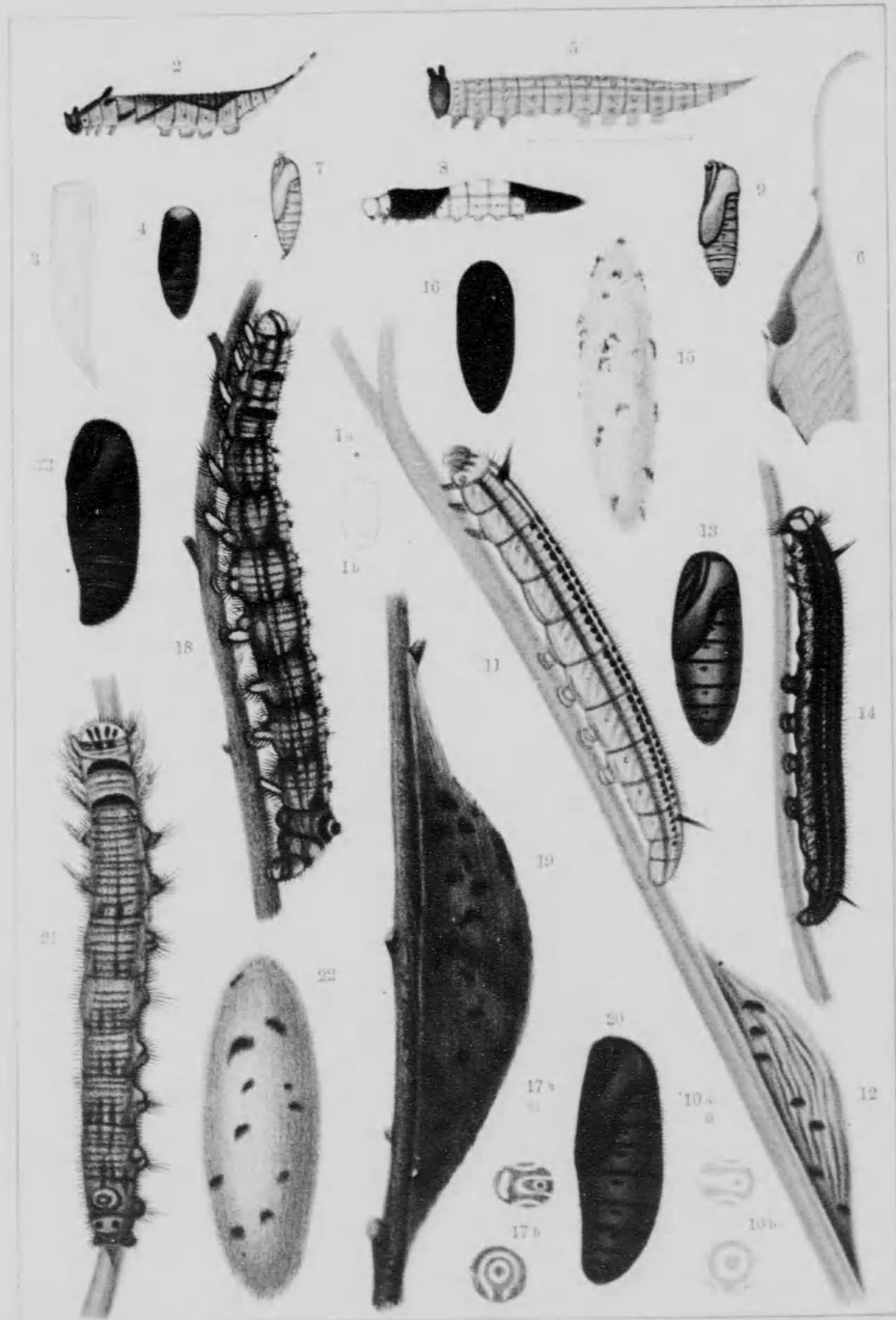
EXPLANATION OF PLATE IV.

(All figures natural size except figs. 8b, 12b)

- 1. リンゴカレハ幼蟲……………Larva of *Odonestis pruni*.
- 2. 同 繭……………Cocoon ク ク ク
- 3. 同 蛹……………Pupa ク ク ク
- 4. オビカレハ 卵塊……………Eggs of *Malacosoma neustria testacea*.
- 5. 同 幼蟲……………Larva ク ク ク ク
- 6. 同 繭……………Cocoon ク ク ク ク
- 7. 同 蛹……………Pupa ク ク ク ク
- 8. マツカレハ 卵(自然大及ビ膨大)……………Eggs of *Dendrolimus spectabilis* (natural size and enlarged).
- 9. 同 幼蟲……………Larva ク ク ク
- 10. 同 繭……………Cocoon ク ク ク
- 11. 同 蛹……………Pupa ク ク ク
- 12. ツガカレハ 卵(自然大及ビ膨大)……………Eggs of *Dendrolimus superans* (natural size and enlarged).
- 13. 同 幼蟲……………Larva ク ク ク
- 14. 同 繭……………Cocoon ク ク ク
- 15. 同 蛹……………Pupa ク ク ク
- 16. クマギカレハ 卵……………Eggs of *Dendrolimus undans excellens*.
- 17. 同 幼蟲……………Larva ク ク ク ク
- 18. 同 繭……………Cocoon ク ク ク ク
- 19. 同 蛹……………Pupa ク ク ク ク
- 20. ヤマダカレハ幼蟲……………Larva of *Kunugia yamadai*.
- 21. 同 繭……………Cocoon ク ク ク
- 22. 同 蛹……………Pupa ク ク ク

PLATE V.

第五圖版



K. NAGANO DEL.

第五圖版說明

(1b, 5, 10b, 17b 圖ヲ除ク外皆自然大)

EXPLANATION OF PLATE V.

(All figures natural size except figs. 1b, 5, 10b, 17b.)

1. クロスヤカギバ 卵(自然大)……Eggs of *Oreta calida* (natural size and enlarged)
2. 同 幼蟲……………Larva ク ク ク
3. 同 繭……………Cocoon ク ク ク
4. 同 蛹……………Pupa ク ク ク
5. ヒトツメカギバ 幼蟲(廓大)……………Larva of *Auzata superba* (enlarged).
6. 同 繭……………Cocoon ク ク ク
7. 同 蛹……………Pupa ク ク ク
8. スカシカギバ 幼蟲……………Larva of *Macrauzata fenestraria*.
9. 同 蛹……………Pupa ク ク ク
10. タケカレハ 卵(自然大)……Eggs of *Cosmotriche albomaculata* (natural size and enlarged).
11. 同 幼蟲……………Larva ク ク ク
12. 同 繭……………Cocoon ク ク ク
13. 同 蛹……………Pupa ク ク ク
14. ヨシカレハ 幼蟲……………Larva of *Cosmotriche potatoria*.
15. 同 繭……………Cocoon ク ク ク
16. 同 蛹……………Pupa ク ク ク
17. カレハガ 卵(自然大)……Eggs of *Gastropacha quercifolia* (natural size and enlarged).
18. 同 幼蟲……………Larva ク ク ク
19. 同 繭……………Cocoon ク ク ク
20. 同 蛹……………Pupa ク ク ク
21. ホシカレハ 幼蟲……………Larva of *Gastropacha populifolia*.
22. 同 繭……………Cocoon ク ク ク
23. 同 蛹……………Pupa ク ク ク

PLATE VI.

第  
六  
圖  
版



K. NAGANO DEL.

第六圖版說明  
(各圖皆原大)

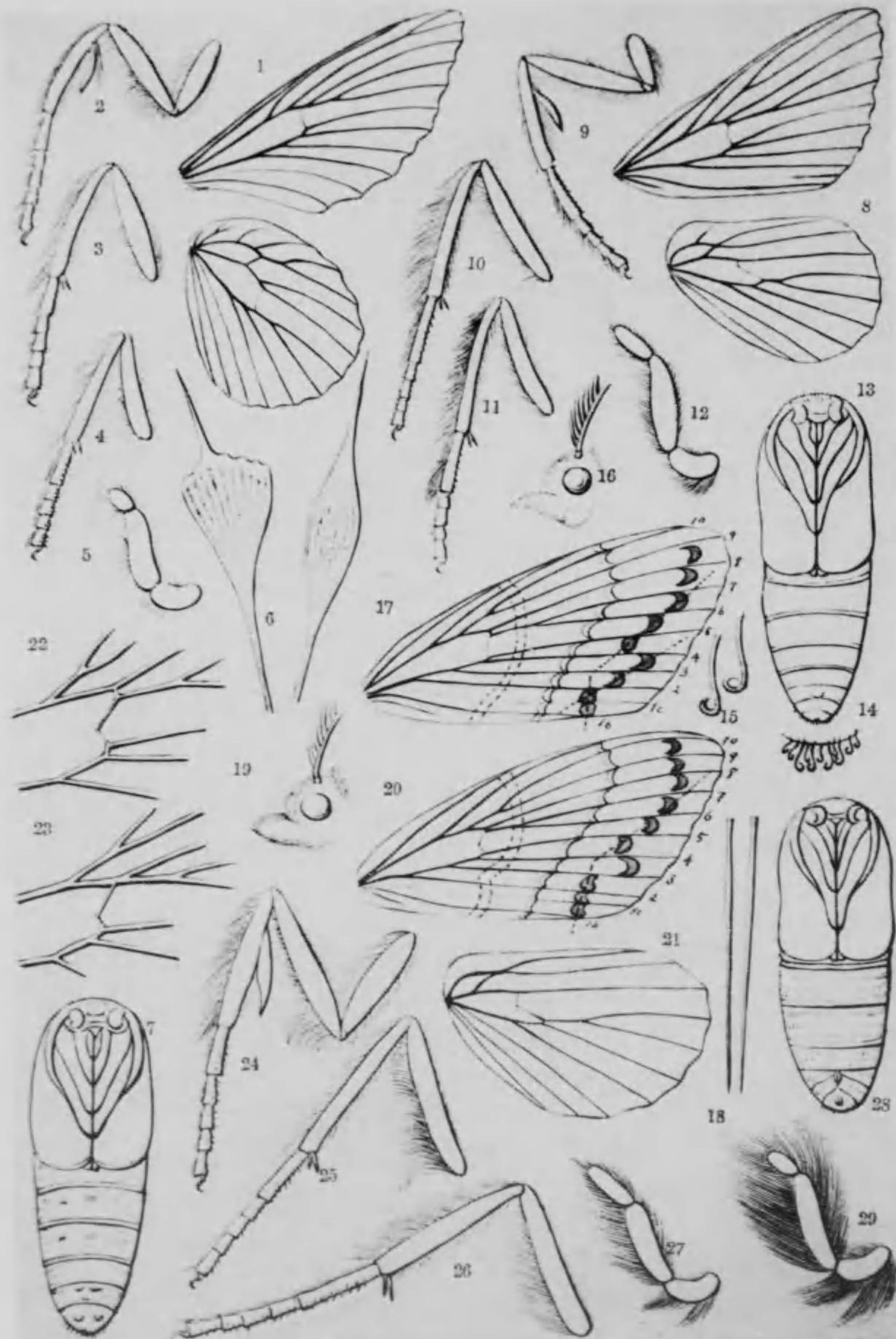
EXPLANATION OF PLATE VI.  
(All figures enlarged.)

- |     |         |         |   |
|-----|---------|---------|---|
| 1.  | オビカレハ   | 唇鬚      | Palpi of <i>Malacosoma neustria testaceo</i> .    |
| 2.  | 同       | 脈相      | wings   |
| 3.  | 同       | 前脚      | Fore leg  |
| 4.  | 同       | 中脚      | Mid leg   |
| 5.  | 同       | 後脚      | Hind leg  |
| 6.  | 同       | 雄觸角一部分  | Part of the antenna (male)                        |
| 7.  | 同       | 觸角一節齒   | Single filament from the antenna                  |
| 8.  | 同       | 蛹腹面     | Pupa (Ventral view)                               |
| 9.  | ギンモンカレハ | 唇鬚      | Palpi of <i>Eriogaster argentomaculata</i> (?)    |
| 10. | 同       | 脈相      | Wings   |
| 11. | 同       | 前翅脈相一部分 | Part of the Fore wing's venation                  |
| 12. | 同       | 前脚      | Fore leg  |
| 13. | 同       | 中脚      | Mid leg   |
| 14. | 同       | 後脚      | Hind leg  |
| 15. | タツカレハ   | 脈相      | Wings of <i>Cosmotriche albomaculata</i> .        |
| 16. | 同       | 前脚      | Fore leg  |
| 17. | 同       | 中脚      | Mid leg   |
| 18. | 同       | 後脚      | Hind leg  |
| 19. | 同       | 蛹       | Pupa (Ventral view)                               |
| 20. | 同       | 蛹末節剛毛   | Anal bristles of the pupa                         |
| 21. | 同       | 唇鬚      | Palpi   |
| 22. | ミヤタカレハ  | 唇鬚      | Palpi of <i>Takanea miyakei</i> .                 |
| 23. | 同       | 脈相      | Wings   |
| 24. | 同       | 前脚      | Fore leg  |
| 25. | 同       | 中脚      | Mid leg   |
| 26. | 同       | 後脚      | Hind leg  |
| 27. | ヒメカレハ   | 唇鬚      | Palpi of <i>Epicnaptera ilicifolia japonica</i> . |
| 28. | 同       | 前脚      | Fore leg  |
| 29. | 同       | 中脚      | Mid leg   |
| 30. | 同       | 後脚      | Hind leg  |
| 31. | 同       | 脈相      | Wings   |



PLATE VII.

第七圖版



K. KAGANO DEL.

第七圖版說明

(各圖皆廓大)

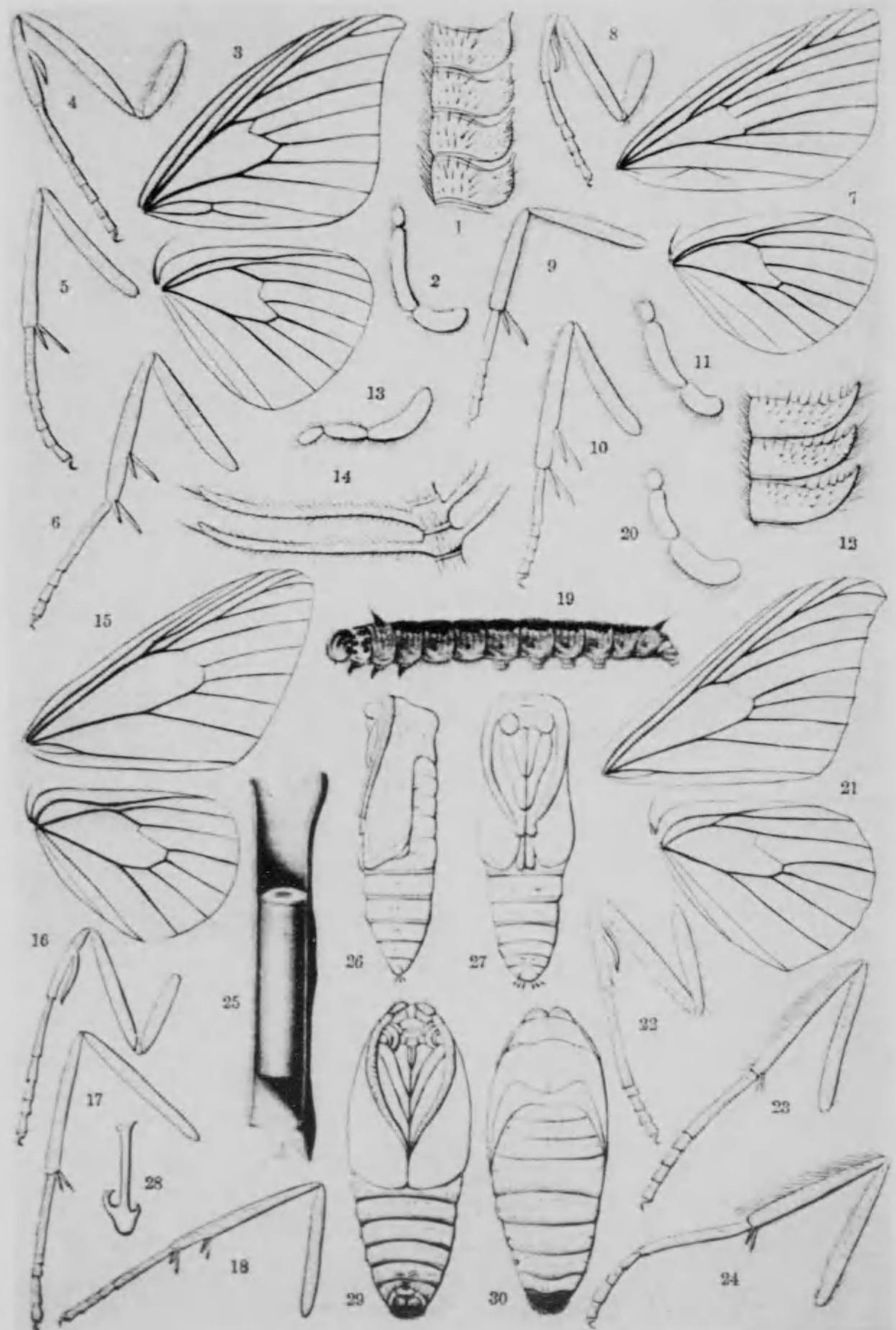
EXPLANATION OF PLATE VII.

(All figures enlarged)

- |            |                   |   |
|------------|-------------------|---|
| 1. カレハガ    | 脈相.....           | Wings of <i>Gastropacha quercifolia</i> .               |
| 2. 同       | 前脚.....           | Fore leg ♪ ♪ ♪  |
| 3. 同       | 中脚.....           | Mid leg ♪ ♪ ♪   |
| 4. 同       | 後脚.....           | Hind leg ♪ ♪ ♪  |
| 5. 同       | 唇鬚.....           | Palpi ♪ ♪ ♪   |
| 6. 同       | 幼蟲ニ生ズル鱗状毛ノ末部..... | Scale-like hairs (terminal portion) of the larva. ♪ ♪ ♪ |
| 7. 同       | 蛹(腹面).....        | Pupa (ventral view) ♪ ♪ ♪                               |
| 8. ヲソコカレハ  | 脈相.....           | Wings of <i>Odonestis pruni</i> .                       |
| 9. 同       | 前脚.....           | Fore leg ♪ ♪ ♪  |
| 10. 同      | 中脚.....           | Mid leg ♪ ♪ ♪   |
| 11. 同      | 後脚.....           | Hind leg ♪ ♪ ♪  |
| 12. 同      | 唇鬚.....           | Palpi ♪ ♪ ♪   |
| 13. ホシカレハ  | 蛹(腹面).....        | Pupa (ventral view) of <i>Gastropacha populifolia</i> . |
| 14. 同      | 蛹ノ尾端.....         | Anal end of the pupa ♪ ♪ ♪                              |
| 15. 同      | 蛹ノ尾端剛毛.....       | Anal hooks of the pupa ♪ ♪ ♪                            |
| 16. マツカレハ  | 頭部側面.....         | Head (lateral view) of <i>Dendrolimus spectabilis</i> . |
| 17. 同      | 前翅脈相.....         | Fore wing ♪ ♪ ♪   |
| 18. 同      | 幼蟲ノ刺毛.....        | Nettling hairs of the larva ♪ ♪ ♪                       |
| 19. ツガカレハ  | 頭部側面.....         | Head (lateral view) of <i>Dendrolimus superans</i> .    |
| 20. 同      | 前翅脈相.....         | Fore wing ♪ ♪ ♪   |
| 21. 同      | 後翅脈相.....         | Hind wing ♪ ♪ ♪   |
| 22. 同      | 雄前翅脈相一部分.....     | Part of the fore-wing's venation (male) ♪ ♪ ♪           |
| 23. 同      | 雌前翅脈相一部分.....     | Part of the fore-wing's venation (female) ♪ ♪ ♪         |
| 24. 同      | 前脚.....           | Fore leg ♪ ♪ ♪  |
| 25. 同      | 中脚.....           | Mid leg ♪ ♪ ♪   |
| 26. 同      | 後脚.....           | Hind leg ♪ ♪ ♪  |
| 27. 同      | 唇鬚.....           | Palpi ♪ ♪ ♪   |
| 28. 同      | 蛹(腹面).....        | Pupa (ventral view) ♪ ♪ ♪                               |
| 29. ナイダカレハ | 唇鬚.....           | Palpi of <i>Kunugia yamadai</i> .                       |

PLATE VIII.

第  
八  
圖  
版



K. NAGANO DEL.

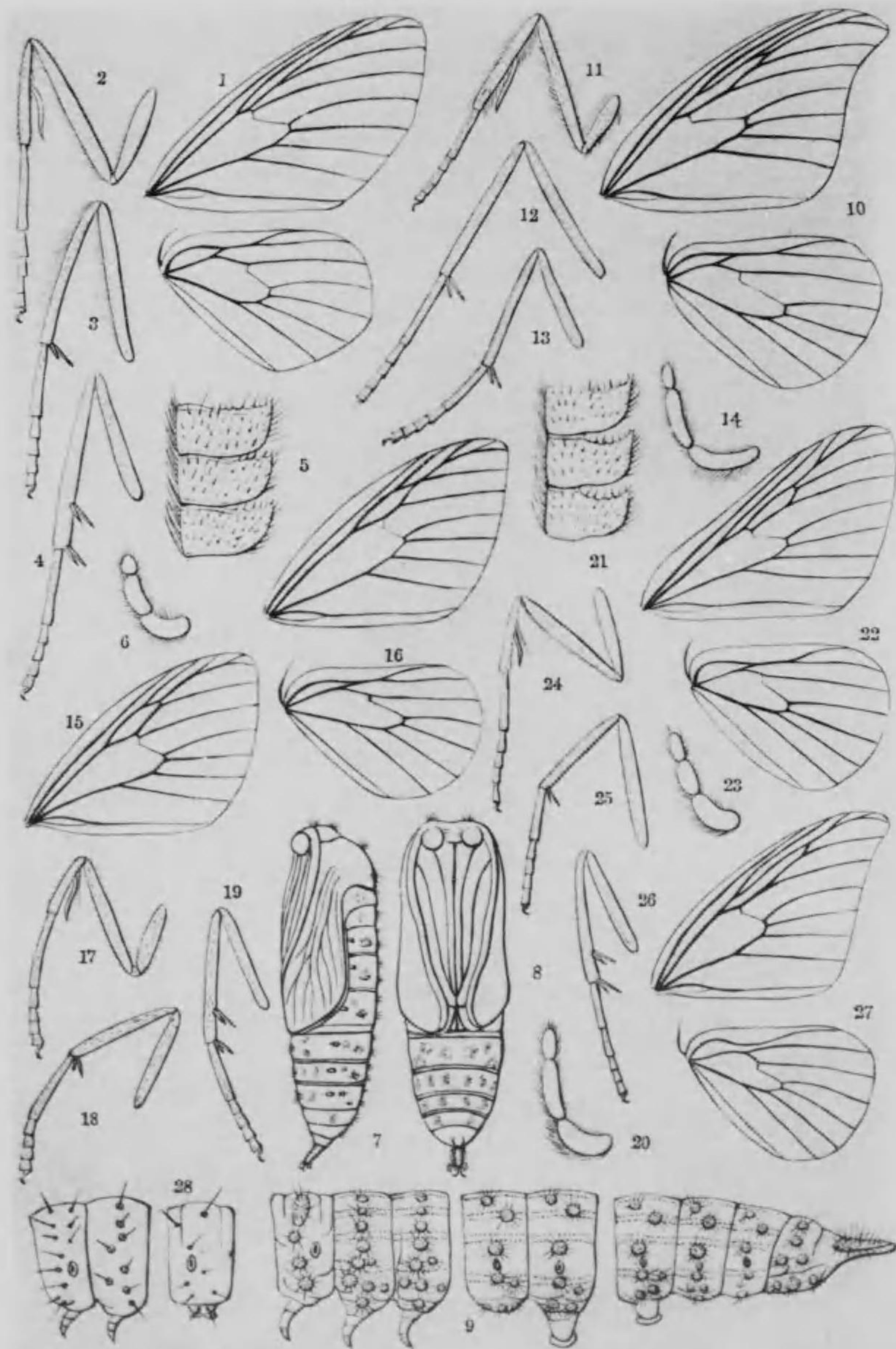
第八圖版說明  
(第十九、二十五圖ノ外皆原大)

EXPLANATION OF PLATE VIII.  
(All figures enlarged except figs. 19, 25)

- |     |                |  |   |   |   |
|-----|----------------|--|---|---|---|
| 1.  | オホカギバ 雄觸角ノ一部分  | Part the of antenna (male) of Eucheria capitata. |   |   |   |
| 2.  | 同              | 唇鬚   | Palpi                                   | ク | ク |
| 3.  | 同              | 脈相   | Wings                                   | ク | ク |
| 4.  | 同              | 前脚   | Fore leg                                | ク | ク |
| 5.  | 同              | 中脚   | Mid leg                                 | ク | ク |
| 6.  | 同              | 後脚   | Hind leg                                | ク | ク |
| 7.  | ギンスヰカギバ        | 脈相   | Wings of Mimozethes argentilinearia.    |   |   |
| 8.  | 同              | 前脚   | Fore leg                                | ク | ク |
| 9.  | 同              | 中脚   | Mid leg                                 | ク | ク |
| 10. | 同              | 後脚   | Hind leg                                | ク | ク |
| 11. | 同              | 唇鬚   | Palpi                                   | ク | ク |
| 12. | 同              | 雄觸角ノ一部分  | Part of the antenna (male)              | ク | ク |
| 13. | ウスギメカギバ        | 唇鬚   | Palpi of Macrocilix mysticata.          |   |   |
| 14. | 同              | 雄觸角ノ一部分  | Part of the antenna (male)              | ク | ク |
| 15. | 同              | 脈相   | Wings                                   | ク | ク |
| 16. | 同              | 前脚   | Fore leg                                | ク | ク |
| 17. | 同              | 中脚   | Mid leg                                 | ク | ク |
| 18. | 同              | 後脚   | Hind leg                                | ク | ク |
| 19. | タケヒメカレハ幼蟲(自然大) | Larva of Cosmotriche laeta (natural size)        |   |   |   |
| 20. | スカシカギバ         | 唇鬚   | Palpi of Macrauzatha fenestraria.       |   |   |
| 21. | 同              | 脈相   | Wings                                   | ク | ク |
| 22. | 同              | 前脚   | Fore leg                                | ク | ク |
| 23. | 同              | 中脚   | Mid leg                                 | ク | ク |
| 24. | 同              | 後脚   | Hind leg                                | ク | ク |
| 25. | 同              | 繭  | Cocoon                                  | ク | ク |
| 26. | 同              | 蛹(側面)  | Pupa (lateral view)                     | ク | ク |
| 27. | 同              | 蛹(腹面)  | Pupa (ventral view)                     | ク | ク |
| 28. | 同              | 蛹末節ノ鈎  | Anal hook of the pupa                   | ク | ク |
| 29. | ヤマダカレハ         | 蛹(腹面)  | Pupa (ventral view) of Kunugia yamadai. |   |   |
| 30. | 同              | 蛹(背面)  | Pupa (dorsal view)                      | ク | ク |

PLATE IX.

第九圖版



K. NAGANO DEL.

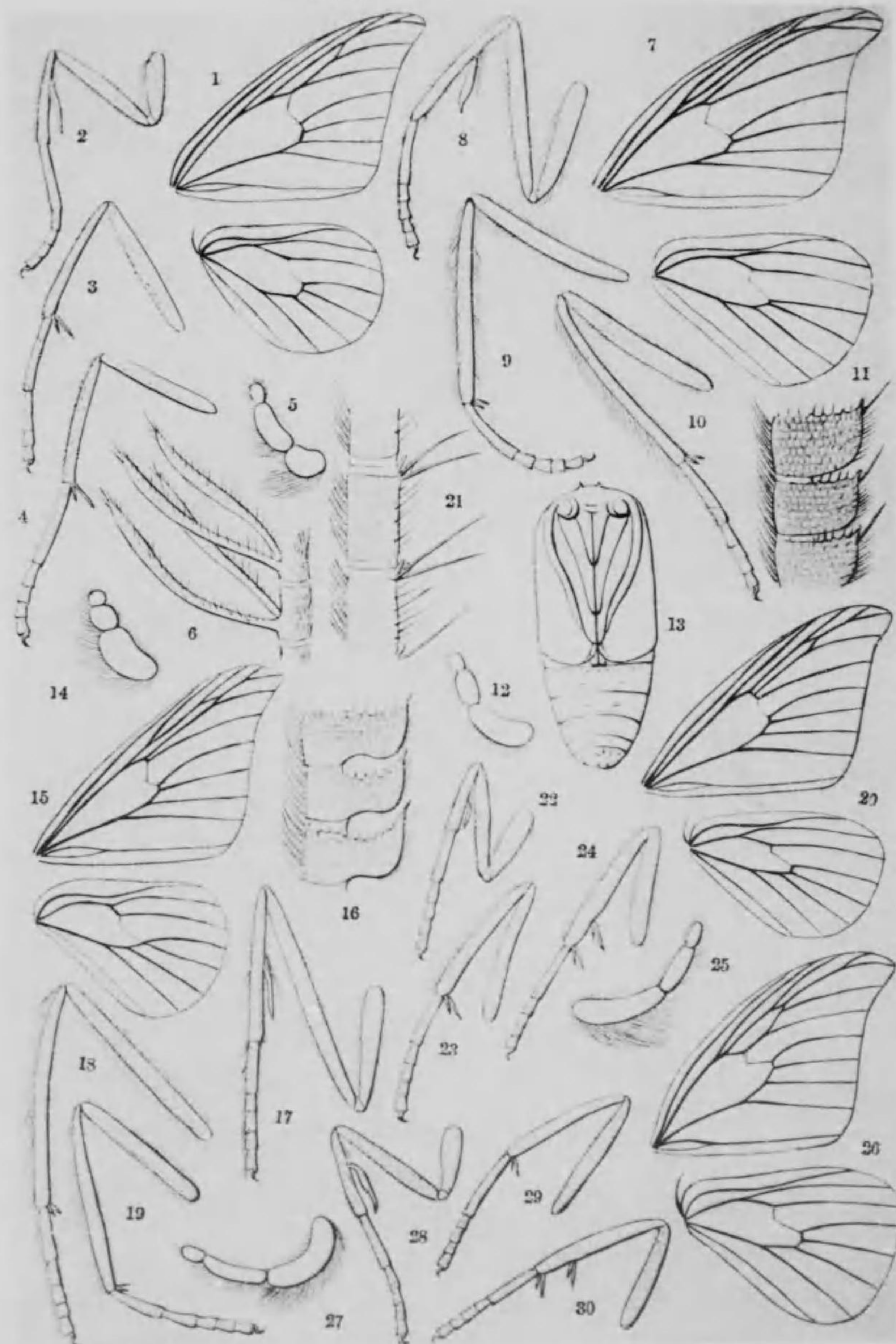
第九圖版說明  
(各圖皆廓大)

EXPLANATION OF PLATE IX.  
(All figures enlarged)

- |    |                     |             |       |  |
|----|---------------------|-------------|-------|--|
| 1  | ヒトツメカギバ             | 脈相          | ..... | Wings of <i>Auzata superba</i> .   |
| 2  | 同                   | 前脚          | ..... | Fore leg ♀ ♀ ♀   |
| 3  | 同                   | 中脚          | ..... | Mid leg ♀ ♀ ♀  |
| 4  | 同                   | 後脚          | ..... | Hind leg ♀ ♀ ♀   |
| 5  | 同                   | 雄觸角ノ一部分     | ..... | Part of the antenna (male) ♀ ♀ ♀   |
| 6  | 同                   | 唇鬚          | ..... | Palpi ♀ ♀ ♀  |
| 7  | 同                   | 蛹 (側面)      | ..... | Pupa (lateral view) ♀ ♀ ♀  |
| 8  | 同                   | 蛹 (腹面)      | ..... | Pupa (ventral view) ♀ ♀ ♀  |
| 9  | 同                   | 幼蟲ノ胸部及ヒ腹部數節 | ..... | Thoracic and some abdominal segments of the larva ♀ ♀ ♀                                      |
| 10 | ウコンカギバ              | 脈相          | ..... | Wings of <i>Konjikia crocea</i> .  |
| 11 | 同                   | 前脚          | ..... | Fore leg ♀ ♀ ♀   |
| 12 | 同                   | 中脚          | ..... | Mid leg ♀ ♀ ♀  |
| 13 | 同                   | 後脚          | ..... | Hind leg ♀ ♀ ♀   |
| 14 | 同                   | 唇鬚          | ..... | Palpi ♀ ♀ ♀  |
| 15 | ウスホシヘツカフ            | 前翅脈相        | ..... | Fore wing of <i>Dorosa inconclusa</i> .  |
| 16 | ホシベツカフ              | 脈相          | ..... | Wings of <i>Dorosa phasma</i> .  |
| 17 | 同                   | 前脚          | ..... | Fore leg ♀ ♀ ♀   |
| 18 | 同                   | 中脚          | ..... | Mid leg ♀ ♀ ♀  |
| 19 | 同                   | 後脚          | ..... | Hind leg ♀ ♀ ♀   |
| 20 | 同                   | 唇鬚          | ..... | Palpi ♀ ♀ ♀  |
| 21 | フメテンシロカギバ觸角一部分      | .....       | ..... | Part of the antenna of <i>Leucodrepanilla sacra</i>  |
| 22 | 同                   | 脈相          | ..... | Wings ♀ ♀ ♀  |
| 23 | 同                   | 唇鬚          | ..... | Palpi ♀ ♀ ♀  |
| 24 | 同                   | 前脚          | ..... | Fore leg ♀ ♀ ♀   |
| 25 | 同                   | 中脚          | ..... | Mid leg ♀ ♀ ♀  |
| 26 | 同                   | 後脚          | ..... | Hind leg ♀ ♀ ♀   |
| 27 | マダラカギバ              | 脈相          | ..... | Wings of <i>Callicilix abraxata</i> .  |
| 28 | スカシカギバ幼蟲ノ第一二胸部及第四腹部 | .....       | ..... | 1st, 2nd thoracic and 4th abdominal segments of the larva of <i>Macrauzata fenestraria</i> . |

PLATE X.

第十圖版



K. NAGANO DEL.

第拾圖版説明  
(各圖皆廓大)

EXPLANATION OF PLATE X.  
(All figures enlarged)

- 1. オビカギバ 脈相.....Wings of *Falcaria curvatula*.
- 2. 同 前脚.....Fore leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 3. 同 中脚.....Mid leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 4. 同 後脚.....Hind leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 5. 同 唇鬚.....Palpi ㄉ ㄉ ㄉ
- 6. 同 雄觸角ノ一部分.....Part of antenna (male) ㄉ ㄉ ㄉ
- 7. クロスザカギバ 脈相.....Wings of *Oreta calida*.
- 8. 同 前脚.....Fore leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 9. 同 中脚.....Mid leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 10. 同 後脚.....Hind leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 11. 同 雄觸角ノ一部分.....Part of antenna (male) ㄉ ㄉ ㄉ
- 12. 同 唇鬚.....Palpi ㄉ ㄉ ㄉ
- 13. 同 蛹(腹面).....Pupa (ventral view) ㄉ ㄉ ㄉ
- 14. アカウラカギバ唇鬚.....Palpi of *Hypsomadius insignis*.
- 15. 同 脈相.....Wings ㄉ ㄉ ㄉ
- 16. 同 雄觸角ノ一部分.....Part of antenna (male) ㄉ ㄉ ㄉ
- 17. 同 前脚.....Fore leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 18. 同 中脚.....Mid leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 19. 同 後脚.....Hind leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 20. マヘキカギバ 脈相.....Wings of *Albara scabiosa*.
- 21. 同 雌ノ觸角一部分.....Part of antenna (female) ㄉ ㄉ ㄉ
- 22. 同 前脚.....Fore leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 23. 同 中脚.....Mid leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 24. 同 後脚.....Hind leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 25. 同 唇鬚.....Palpi ㄉ ㄉ ㄉ
- 26. キンモンカギバ 脈相.....Wings of *Callidrepana argenteola*.
- 27. 同 唇鬚.....Palpi ㄉ ㄉ ㄉ
- 28. 同 前脚.....Fore leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 29. 同 中脚.....Mid leg ㄉ ㄉ ㄉ
- 30. 同 後脚.....Hind leg ㄉ ㄉ ㄉ



大正六年十二月二十日印刷  
大正六年十二月廿五日發行

岐阜縣岐阜市公園

財團  
法人 **名和昆蟲研究所**

右代表者

編輯兼發行者 **名和靖**

岐阜縣安八郡大垣町大字郭百五十三番戶  
西濃印刷株式會社代表者

印刷者 **河田貞次郎**

岐阜縣岐阜市七軒町二百五十四番地

印刷所 **西濃印刷株式會社  
岐阜支店**

岐阜縣岐阜市松下町百七十一番地

賣捌所 **名和昆蟲工藝部**

	誤		正																	
第三圖版說明	124	118	114	109	104	98	85	82	73	61	61	55	46	23	23	13	6	頁		
圖說中	Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia			
圖說中	Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia			
第三圖版說明	Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia		Konjia			
13	タロメカキバ		タロメカキバ		タロメカキバ		タロメカキバ		タロメカキバ		タロメカキバ		タロメカキバ		タロメカキバ		タロメカキバ			
一五	「哈ント一定セルモノニシテ強ヒテイヘハ」		「ハント一定セルモノニシテ強ヒテイヘハ」		「ハント一定セルモノニシテ強ヒテイヘハ」		「ハント一定セルモノニシテ強ヒテイヘハ」		「ハント一定セルモノニシテ強ヒテイヘハ」		「ハント一定セルモノニシテ強ヒテイヘハ」		「ハント一定セルモノニシテ強ヒテイヘハ」		「ハント一定セルモノニシテ強ヒテイヘハ」		「ハント一定セルモノニシテ強ヒテイヘハ」			
一五	「ハ屬十五種アリシガ今又二新屬二新種ヲ加ヘテ十屬十七種トナル」トアレテ「九屬十五種アリシガ其一屬ヲ改メテ新屬トシ更ニ二新屬ト二新種トヲ加ヘタルニヨリ都合十屬十七種トナル」ト訂正ス		「ハ屬十五種アリシガ今又二新屬二新種ヲ加ヘテ十屬十七種トナル」トアレテ「九屬十五種アリシガ其一屬ヲ改メテ新屬トシ更ニ二新屬ト二新種トヲ加ヘタルニヨリ都合十屬十七種トナル」ト訂正ス		「ハ屬十五種アリシガ今又二新屬二新種ヲ加ヘテ十屬十七種トナル」トアレテ「九屬十五種アリシガ其一屬ヲ改メテ新屬トシ更ニ二新屬ト二新種トヲ加ヘタルニヨリ都合十屬十七種トナル」ト訂正ス		「ハ屬十五種アリシガ今又二新屬二新種ヲ加ヘテ十屬十七種トナル」トアレテ「九屬十五種アリシガ其一屬ヲ改メテ新屬トシ更ニ二新屬ト二新種トヲ加ヘタルニヨリ都合十屬十七種トナル」ト訂正ス		「ハ屬十五種アリシガ今又二新屬二新種ヲ加ヘテ十屬十七種トナル」トアレテ「九屬十五種アリシガ其一屬ヲ改メテ新屬トシ更ニ二新屬ト二新種トヲ加ヘタルニヨリ都合十屬十七種トナル」ト訂正ス		「ハ屬十五種アリシガ今又二新屬二新種ヲ加ヘテ十屬十七種トナル」トアレテ「九屬十五種アリシガ其一屬ヲ改メテ新屬トシ更ニ二新屬ト二新種トヲ加ヘタルニヨリ都合十屬十七種トナル」ト訂正ス		「ハ屬十五種アリシガ今又二新屬二新種ヲ加ヘテ十屬十七種トナル」トアレテ「九屬十五種アリシガ其一屬ヲ改メテ新屬トシ更ニ二新屬ト二新種トヲ加ヘタルニヨリ都合十屬十七種トナル」ト訂正ス		「ハ屬十五種アリシガ今又二新屬二新種ヲ加ヘテ十屬十七種トナル」トアレテ「九屬十五種アリシガ其一屬ヲ改メテ新屬トシ更ニ二新屬ト二新種トヲ加ヘタルニヨリ都合十屬十七種トナル」ト訂正ス		「ハ屬十五種アリシガ今又二新屬二新種ヲ加ヘテ十屬十七種トナル」トアレテ「九屬十五種アリシガ其一屬ヲ改メテ新屬トシ更ニ二新屬ト二新種トヲ加ヘタルニヨリ都合十屬十七種トナル」ト訂正ス		「ハ屬十五種アリシガ今又二新屬二新種ヲ加ヘテ十屬十七種トナル」トアレテ「九屬十五種アリシガ其一屬ヲ改メテ新屬トシ更ニ二新屬ト二新種トヲ加ヘタルニヨリ都合十屬十七種トナル」ト訂正ス	
三	「ラスネヂヂ、ピロロル」		「ラスネヂヂ、ピロロル」		「ラスネヂヂ、ピロロル」		「ラスネヂヂ、ピロロル」		「ラスネヂヂ、ピロロル」		「ラスネヂヂ、ピロロル」		「ラスネヂヂ、ピロロル」		「ラスネヂヂ、ピロロル」		「ラスネヂヂ、ピロロル」			
五	Laspodeza bicolor		Laspodeza bicolor		Laspodeza bicolor		Laspodeza bicolor		Laspodeza bicolor		Laspodeza bicolor		Laspodeza bicolor		Laspodeza bicolor		Laspodeza bicolor			
一五	quercifolia		quercifolia		quercifolia		quercifolia		quercifolia		quercifolia		quercifolia		quercifolia		quercifolia			
五	previvensis		previvensis		previvensis		previvensis		previvensis		previvensis		previvensis		previvensis		previvensis			
八	マツム		マツム		マツム		マツム		マツム		マツム		マツム		マツム		マツム			
一〇	「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」			
一四	「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」		「ツガ、モミ、マツ」			
一六	Hite-cycle		Hite-cycle		Hite-cycle		Hite-cycle		Hite-cycle		Hite-cycle		Hite-cycle		Hite-cycle		Hite-cycle			
一八	「四屬」		「四屬」		「四屬」		「四屬」		「四屬」		「四屬」		「四屬」		「四屬」		「四屬」			
一	シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム			
四	シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム		シ其一屬ヲ新屬トシ外ニ二新屬ト改ム			
五	マハカキバ		マハカキバ		マハカキバ		マハカキバ		マハカキバ		マハカキバ		マハカキバ		マハカキバ		マハカキバ			
九	argenteal		argenteal		argenteal		argenteal		argenteal		argenteal		argenteal		argenteal		argenteal			
九	enlarged		enlarged		enlarged		enlarged		enlarged		enlarged		enlarged		enlarged		enlarged			

ERRATA

Page	Line		
1	Bottom	for teh	read the
4	2	♀ Family	♀ Family
6	21	♀ Zunsai	♀ Junsai
11	2	♀ iliciforia	♀ ilicifolia
16	13	Omit ? Dolosa	
16	18	after Fentoni, add ? Dolosa	
21	12	before Dendrolimus add 15	
21	25	for 15	read 16

A-1200  
あ

BULLETIN  
OF THE  
NAWA ENTOMOLOGICAL LABORATORY

NO. 2

GIFU, JAPAN

DECEMBER, 1917



BULLETIN  
OF THE  
NAWA ENTOMOLOGICAL LABORATORY

NO. 2

---

A STUDY OF THE  
JAPANESE LASIOCAMPIDAE AND DREPANIDAE

BY

KIKUJIRO NAGANO

---

GIFU, JAPAN

DECEMBER, 1917